満洲日報
十月一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橘本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社満洲日報社

蘇聯の進出に對抗し舊東北軍を新疆移駐
南京政府の一石二鳥策

【上海特電一日發】ソウエートの新疆省經略は着々進捗し最近共産黨的色彩を有する華僑約二萬を集めてこれを新疆省塔城方面に移植する計畫を立てた、これに對して當地の回教徒は不安を抱き國民政府に對してその對抗策を請願して來たので政府は協議の結果、舊東北軍が既に結束力を失ひ中央に反抗する氣力なきに乘じてこれを新疆省に移駐して邊防に當らしめ、併せてソウエートを牽制する策を取るに決した、しかし十萬餘の大兵であつて輸送も容易でないと見られるが、政府はこの機會に一擧に舊東北軍處理を斷行する決心である

日印新條約締結討議
日印條約一ケ月延長協定成立
きのふの第三次會商

【シムラ三十日發國通】三十日の日印會商で日印條約一ケ月延長の暫定協定成立したので討議は新條約締結の本質的問題に入り、我方より綿糸布關税引下の提案をなし輸出統制の用意あることを表明した之に對し印度は考慮する事を約し本日は散會したが、印綿ボイコット問題には觸れなかつた模樣だ

【シムラ三十日發國通】三十日の第三次日印會商は午前十一時より開會、愈々本格的討議に入るので双方代表頗る緊張した面持で會議に臨んだが、殊に本日より印度政廳側首席代表ボア商務長官も始めて出席し双方代表の顔觸れが揃つたので極めて實の入つた討議が行はれた、會議冒頭に日本側より提議した現行條約延期問題が議に上つたが、右に關しては既にロンドンにおいて松平大使と英外務當……七割五分の關税は高きに失するを以て之を五割に引下げられたしとの提案を爲し、それに就いて日本側は輸出統制の用意ある事を表示した、之に對し印度側は即答を與へず慎重考慮すべき事を約して正午散會、次回は十月三日再開の筈

コムミユニケ

【シムラ三十日發國通】三十日の第三次日印會商後、左の如きコムミユニケを發表さる

本日の日印會商は日印新條約に關する審議を行ひ、期間中現行條約を存續する可能性に關するものであつた、而して現行條約廢棄通告は期限滿了の十月十日以前に最終決定に到達する如きことはあるまいといふのが双方の認むるところであつた、更に印度側から

一、現行條約は十月十日より向ふ一ケ月有効とす

二、其後延長か否かは交渉進展の程度に照らし考慮さるべし

との提案あり、日本代表はこの提案を受諾する用意ある旨言明した、從つてこの協定は外交文書の交換によつて努力發生する筈、更に日本代表は綿製品に關する或種の提案をなし印度は考慮中である

佛投資團の希望と滿鐵の態度慎重
昨日重役會議に附議

フランス投資團代表ドリヴイエ氏はその後引つゞき大連ヤマトホテルに滯在、屢々山崎滿鐵理事と會見して

交渉を進

めてゐたが、二十八日は飛行機にて奉天に赴き駐奉フランス領事と打合せをなして二十九日再び飛行機にて歸連、三十日は午前中滿鐵本社に柄北滿地方視察の途より歸任した八田副總裁を訪れて會談少時にして引揚げた、この結果に基き滿鐵では同日午後二時より重役會議を開き本問題につき種々討議するところがあつたが、本問題は副總裁が北滿視察に上る前にフランス側より具體的提議あり、これに對し滿鐵では新京方面とも打合せ又山崎理事が專門委員格で下協議を行つてゐるので滿鐵側より

諾否回答

をなす順になつて居りそれだけに慎重な態度を持してゐる模樣である、なほフランス側の提案及びこれを中心として下協議の内容は極秘に附せられてゐるが、大體フランス側は同國の有力な經濟團體たる海外發展協會が母體となつてフランス側の法律による一個の對滿投資會社をつくり、これが滿鐵と共同投資の形式によつて滿洲國の法律による企業會社を設立する計畫らしく、即ちフランスより資本と人とを持つて來て事業を營みそれによつて利潤を得んとするにある、しかして傳へられるところによれば滿洲國および特務部では本計畫に對し門戸開放の見地より好意を有し右企業會社に對して相當纏まつた事業を請負はしむる内意を傳へて居るといはれ

第一着手

の工事としてはハルビンの水道工事があげられてゐるが、投資團側では引續き各種の事業に關與したき希望を有してゐると、なほ新企業會社はフランスと滿鐵との資本より成るが、大部分はフランス側が出すべく、滿鐵は比較的少額の出資をなすにとゞまり主として事業の手引き、調査、連絡等の任務に當るべく、滿洲國としては建國以來最初の外資流入であり滿鐵としても前例ない事業なのでその成否は興味をもつて見られてゐる

黒龍江上流を觀る
スンガリーよりアムールへ
（下の二）
滿洲海軍部司令部 海軍一等水兵 板津芳一手記

黒河第三旅司令部に男三名、女三名捕はれて居た、その女の一人は二十歳位で兩親は蘇支戰爭前に滿洲國内に逃れて居る、彼女は「ソウエート」聯邦では「マッチ」工場で强制勞働に服して居た月給五〇留で朝夕の食事は政府より支給するものを食つて居たが、晝食は自分持で工場内で二留で食べれるが、月に節約しても一〇留だけ不足する、日用品、着物などを買ふと思へば、晝食を廢めなくてはならぬ、或日夕食に受けた「パン」一片を洗濯中であつたため、食はず棚に上げて置いて洗濯後取りに行つたらば、もう無くなつて居たと云ふことである。

彼の女はこんなに働いても充分に喰へない國に居るより隣の滿洲國に行けば懐しい父母も居るし、食べるだけでも食べられると思つて前後の考へも無く岸邊にあつた木片によつて流れて來たと言つて居た。

……◇……

次の事は黒河對岸「ブラゴエシチエンスク」にあつた事である、「ブラゴエシチエンスク」の副領……に食を與へる事が出來ないため長格の家族の誰かが、食料支給の傳票樣の切符其の日一度受け取つたものを書き直して食料配給所に持つて行つたが、配給所に於て發見し取り上げて主人に來る樣申し渡した、主人は家族の言にてそれを知り困却の末三日間食はずに居たが遂に一家全部自殺したと云ふ、倚同人は「ソウエート」聯邦内に於ても有數の共産黨主義者であつた、月給五〇〇留を受けて居たが家族が多く物價が高いため月五〇〇留では家族が滿足するだけ充分……

斯る悲慘な事が起きたのである。

……◇……

今一つは國境脱出の喜劇……十月の終り頃には黒龍江は結氷める、この結氷期間河の中……所の氷に穴をあけて兩國の住民は大きな水汲みに來る、住民は……馬車に積んで居て水槽に水を……て居る、或る時水槽の中へ妻をつめ込んで自分は馬の口をとらまんまと滿洲國に逃れたと云ふ「ゲ、ペ、ウ」の目をくらました後數回これをまねたが「ゲ、ペ、ウ」に發見されて捕へられ、射殺されたりして、不成功に終つたと云ふことである、この事を考へても共産黨主義がいかに惡いかは想像がつく。

電報料引下要望と拓務、遞信當局態度
櫻内陳情代表歸來談

滿洲電信電話會社の電信料引下げ運動のため在滿實業家を代表して中央に陳情中であつた大連五品理事長櫻内辰郎氏は一日入港のはこん丸にて歸連したが船中語る

十九日東京着以來二十日日本商議役員會に出席、電信料問題につき協議の結果、日本商議では電信料の引上げは日滿貿易の發達を阻害すること大なりとして電信料引下陳情をなすことを決議、各省に陳情致しました、一方私は二十一日永井拓相に陳情しましたが拓務省では影響の意外に大なるに驚き料金還元に極力努力するやう言明致しました遞信省では然し先方より新料金制定の事情を詳細説明し今暫く會社の業績が擧がるまで待つてくれるやう懇談を受けました、然し今日私は此等の事情を詳しく聽取すればする程今回の料金の引上は穏當でないと云ふことを痛感致しました、内地の民間では大阪、神戸、名古屋の各商議始め大阪日滿經濟協會、神戸におけるラシヤ商組合、鐵工組合、ゴム工業組合、海陸産物組合、輸出絹織物組合、貿易組合呼輪業組合等は擧つて滿洲側に應じて起ち料金引下げの運動を起しました

米露最近の態度
日本人の宣傳は線香煙花式
頭本元貞氏來連談

滿洲に關する歐米人の認識を是正すべく事變以來十數種に亘つてパンフレットを編纂、新興滿洲國の爲に大いに盡すところある我國英文學界の耆宿頭本元貞氏は一日入港の香港丸で來連した、船中語る

事變後毎年來てゐる、昨年は一月に來たがまだ建國匆々で混亂を極めてゐた、今度の來滿こそ何かしつかりした收穫がある樣な氣がする、全く個人の資格で來たもので發達過程の滿洲をよく見た上引つゞき書きたいと思ふ、日本人はどうも宣傳と云ふものについても線香花火式で一度宣傳をしたり演説をしたりして事足れりとする惡習があるが、宣傳なんてものは手を緩めずに次から次へグンく押して行かねばいけない、その意味から私も滿洲國の動きにつれて宣傳したいと思ふ、新京、ハルビン邊りまで行くが出來たら熱河へも行きたいと思つてゐる、歐米における對滿認識は最近大分好くなつて來た、アメリカの如きは雜誌新聞などの論調も大分變つて例のスチムソンの如きも小非道くやられてゐる、廣田外相には會つてゐないが、聲明されたところによると飽までアメリカと協調して行く方針らしいが、非常に好いことだと思ふ、上海事件に際し皇軍が手際の好い引揚げ方をしたのもたしかに効果的だつた、恐らくキウバへはアメリカの軍隊が上陸するやうになると思ふが、その時こそ日本が滿洲でやつた行爲が判然と理解出來ると思ふ、外蒙を手に收めたロシアがどこまで手を伸ばして行くか疑問だがロシアがおつかなびつくりしてゐる有樣はよくわかる

駐波公使後任
伊藤述史氏決定

【東京一日發國通】河合公使の逝去によりポーランド公使後任につき國際聯盟帝國事務局次長伊藤述史氏を任命するに決定し、アグレマン到着を待つて發令することゝなつた、事務局次長の事務は當分ベルギー大使館參事官横山正幸氏をして代行せしめる

菱刈關東長官

【新京電話】關東廳政務監督の爲旅大方面に旅行中であつた菱刈關東長官は三十日午後七時五十分發參謀、鹽原、鶴見兩秘書官、今岡副官を從へ新京に歸任した

諧謔小説『青空ホテル』
近日から本紙朝刊連載

本紙朝刊八面に目下連載中の畷耕一氏作「颱風圏内」は好評のうちに愈々完結するので次は新進諧謔小説家として鋭才を現して來た近江帆三氏の力作「青空ホテル」を近日から掲載いたします、挿畫は吉邨二郎氏に委囑し兩者相俟つて紙面に朗かなユーモアを横溢さすことにしましたから御愛讀下さい。（寫眞は近江氏凹版は吉邨氏）

作者の言葉

「青空ホテル」といつても別段ルンペンの生活を描くわけではない。

われく〳〵は青空の圓蓋の下の、大きなホテルの居住者である。このホテルの中では、さまぐ〳〵の居住者がさまぐ〳〵の生活をやつてゐる。その生活の中から、ユーモラスな場面を失敬して來て、こつそりと讀者の皆樣に提供して、お勤めの疲れ、お仕事の疲れを慰めようとするのが私の心願である。どれほどの話題を提供することが出來るか、ちよつと心配であるが、男一匹、腕によりかけて笑の爆彈をせつせと製造しようと思ふ。

どうか、横にでもなりながら、お樂にお讀み下さい。

新京地方委員選擧

【新京電話】首都新京としての最初の意義ある地方委員選擧は愈々一日午前八時より新京室町小學校講堂において投票を開始されたが今回は定員十六名に對し立候補者二十六名あり且つ候補者中前任者は三名、元委員一名の外は全部新顔で本年有權者確定數二千八百八十四名の投票をより多く獲得の爲過去一ケ月間新京始まつて以來の猛烈なる選擧戰が演ぜられその結果は非常に興味を以て見られてゐるが一日は快晴に惠まれ且つ日曜日のこととて投票者の出足も頗る好調で、午前中に投票せる者既に半數を超えたが午後五時締切直後直に開票のはず

市政記念の祝典
けふ民政署貴賓室で擧行
十年勤續者を表彰

大連市政第十七回記念祝典は十月一日午前十一時半より民政署貴賓室にて開催、小川市長始め市理事者および市吏員、大内市會議長始め市會議員、各區長ら約二百名、御影池民政署長、同各課長も臨席し十年勤續者たる衛生課巡視の施源次郎氏に表彰状を授與し、小川市長より被表彰者に一場の訓示を與へて被表彰者より答辭あり右表彰式終つて直に市會議場に市政記念祝宴を開き小川市長の挨拶ありたるのち大内市會議長の發聲にて大連市の萬歳を三唱し十一時撤宴した

▲太田久作氏（鐵路總局次長）一日午前九時發はとにて歸任
▲都築勝一郎氏（新潟港務所長）一日午前十一時出帆の大連丸にて上海へ

うすりい丸船客

【門司特電一日發】三日大連入港豫定うすりい丸主なる船客諸氏北大教授理學博士鈴木醇、東外語校長戸澤正保、滿洲國航空會社柴田秀雄、滿洲電信上野藏、日滿觀光會社佐野茂、司法保護事業幹事長齋藤仙太郎、本基、寫眞業佐野濱次郎、會員上戸野孝、三菱井上毅、野彦市、硝子業清水臺二、中原敏、長谷川吉次、吉田親數、部鷹之助

村田博士講演

滿洲學例會は二日午後四時半大連圖書館に於て開催、左記の講演あり一般の來聽を希望すと
「熱河省の古建築物に就て」工學博士村田治郎

東天紅 (215)
田中純 作　林一三 畫

貞操の危機（三）

「まア、わたし、飛んだおしやべりをしちやつたわれ」

それから十五分ばかりも話すと晶子はさう言つて、急に立ち上つた。

「まア好いぢやありませんか」

相良は、もつと詳しく神田家の窮境に就て聞きたかつたので、彼女を引き止めたが、晶子は

「いえ、わたし、今日はさうゆつくりして居られないの。これから實は、そのことで少し用事があるのだから。――いづれ、そのうちに、詳しくあなたに話す時があると思ふけど、今日はたゞ、神田さんが困つてゐらつしやることだけを、あなたに話さうと思つて寄つて見たの」

彼女はさう言つて、そゝくさと出て行つた。

しかし、晶子が歸つて行つて、ただ一人になると、相良は、神田家のことが、氣にかかつて仕方がなくなつて來た。彼には、文子の貞操云々のことは、少しも氣にかかけて見ることにした。

鮎子に電話をかけて見ることにした。

「あゝ、相良さん？どうなすつて？」

電話が通じると、鮎子はすぐにそんな風に聲をかけた。

「あゝ、鮎子さんですね。僕、實は、今日の午後、ちよつと用事が出來たので、御約束のラグビイに行けなくなつたのですが」

「あら。つまんないわれ。一體、どうなすつたのよ。急に御用事が出來るなんて……」

相良はよつぽど、鎌倉に行くのだと言つてしまはうかと思つたが鎌倉に行くと言へば、彼女も屹度一緒に行かうと言ふに違ひない。一緒に行かれては、詳しい話しを聞くわけに行かない――さう思つたので

「いや、ちよつと、會社の方に急用が出來たと言つて、今、呼び出しの電話がかゝつたものですから」

「まア。會社なんて、隨分橫暴ねえ。そんな呼び出しになんぞ、應

遺書と陳述に基づき今後の取調方針協議
高井檢察官日曜日にも休まず けふ午後訊問を開始

怪奇を極める桃色の博士邸殺人事件に對し、明確なる法のメスを揮つてその眞相を握らんとする大連檢察局高井檢察官は日曜にもかゝはらず一日午前十時五分登廳、同十五分電話を以て谷川沙河口司法主任を呼びよせ、人目を避けて法院二階の一室に閉ぢ籠り一時間に亘つて密談を遂げた後、高井檢察官は直に自動車にて沙河口署に赴き、留置場において兒玉博士の最近の言動に關する報告を受けた、右谷川司法主任との會談は嚴秘に附されてゐるが、確聞するところによれば、最初谷川主任より三十日到着した勝美夫人の遺書を高井檢察官に手交し、遺書の内容について協議し、更に博士の陳述と比較を行つた結果いよ〳〵高井檢察官が出馬し、午後自ら博士に對する第一回の訊問を開始することゝなつた

馬欄河で兇器さがし
けふ兒玉博士を引つれて

高井檢察官の訊問を受けることゝなつた悲劇の主人公兒玉博士は一日午前十一時二十分若崎刑事の手により秘密裡に留置場より引出され自動車にて兇器を投げ捨てた馬欄河の現場に赴き、投下當時の狀況を約十五分にわたり訊問されたが、その後沙河口署には歸らず、沙河口署の自動車二一五號にて直接檢察局に入つた、博士は自首當時のセルの單衣を着流してゐたが手足は南京蟲にさされた後が赤くなり、顏色のみ蒼ざめ、見る人をしてそゞろに哀れを覺えさせてゐた

午前中は發見せず
更に第二段の搜査

青柳賞の生命を絶つた血染めの兇器搜査は一日午前七時三十分より馬欄河富士根橋下の流れをせき止めて寺内刑事指揮の下に行はれた果して博士が陳述した如く兇器が短刀であるか否か、又博士の陳述通り橋下に投げ込まれてゐるか……兇器の發見は博士の立場を左右するものとして極めて注目され富士根橋上には怪事件に興味を持つ人々で黒山を築いてゐた、寺内刑事は始め土俵、トタン等に依つて水をせき止め苦力十餘名を指揮して水をかい出し、大々的に搜査を進めてゐたが、不幸にも水壓が強いため堰が打ち切れ最初の一回は失敗に終つたので更に兒玉博士を現場に連れ來り當時の模樣を詳細に聽取したが、午後より第二段の搜査手段を講じ、徹底的搜査を行ふことゝなつた

そぶりにもみせなかつた
藤森夫人談

勝美夫人と血のつながりにある滿鐵囑託藤森千秋氏を伏見町宅に訪れると千秋氏夫人は流石に蒼白の面持で語る

最近はずつと往來をしてゐませんでしたが遠い親戚でも親類關係が少いので小母さん〳〵さいつてなづいてゐました、こんな大それた問題を惹き起さうなんて夢にも知らず、勝美が十三日うすりい丸で離滿の時は埠頭まで見送つたのです、その日の朝突然自動車で兒玉博士と一緒に宅に寄つて「小母さん私一寸日本に行きますの」と挨拶されたので吃驚してゐると「丁度一人乘れるから乘つていらつしやらない」とさそはれたので實は同乘して埠頭まで行つたんです、荷物は極く少く柳行李一箇トランク一つにハンドバッグとパラソル、それに雨降用の洋傘を持つてゐました、あゝした大きな事件を犯したなんて事はそぶりにも見せず別れて行つたんでしたが、あとから新聞を見て全く膽を潰した樣なわけです、親戚だと〳〵といろ〳〵云はれるので私達までが肩身の狹い思ひを致してゐます、中園なんて男の人は少しも知りません、同時に歸國してから一度もたよりはありませんでした

家庭を顧みず魔がさしたのか
大連行きは友人へお詫に
博士の從弟 兒玉眞造氏談

【門司特電一日發】大連兒玉博士邸殺人事件に驚いて急遽大連に向ふ博士の從弟兒玉眞造(四三)氏は本日門司發うすりい丸船室で語る

全く世間に對し面目ない事件を起して驚いてゐます、私の大連に行くのはこれまでいろ〳〵誠が御世話になつた方々へお詫をするだけの目的ですが、あちらへ行つたら自然誠とも會ひませうし、且つ勝美の

離婚問題 から彼此用事も出來て自然滯在が長びくかも知れません、勝美の親戚のものは大連に誰も行きますまい、勝美の叔父さんといふのが高野に行つたさうです、博士は私より六月早く生れた同年の從兄弟で幼い時から一緒に育ちよく彼の性質も知つてゐますが幼い時から學究的で物を研究し初めると一心になつて他を顧みないといふ風でした、勝美と結婚後鄕里に一緒に歸つて來た時の模樣でも二人の仲はむつまじい方で、たゞ博士は子供の時吃りだつた關係と學究的性格から平素口數は少い方でしたが物を云ふ時は微笑を泛べて語る方ですから勝美に對して

冷やかな 感じを與へるとか冷淡だといふことはないと思ひます、毎年學會出席のため內地に歸つたやうですが、かうして家をあけたり、また何か研究し初めると勝美の對手にならないといふやうなことから一家に魔がさしたのではないでせうか、突然起つた慘劇に直面した博士としては冷靜に考へるなどいふ餘裕はない、彼の性格から察しても彼は呆然自失したが僅に自

【寫眞】馬欄河の兇器搜査(上)と高井檢察官(沙河口署を辭する處)

分の地位一家の名譽など思つてかくせるものならかくしたいとそれだけの考から渦中に

捲こまれ たものだらうと思つてゐます、私は靑柳だの中園だの事件後新聞で初めて知つた名前です

柳咲子一行
今朝入港ほんこん丸で 關係者に迎へられ來連

滿洲各地巡業實演の目的で芝居上手な松竹下加茂スター柳咲子中川芳江の一行は松竹大阪支社中山氏につれられ湊明子その他映畫關係者並に咲子主演の「奴道成寺」に出演する快樂藝妓連中に迎へられ一日午前八時半入港ほんこん丸で華々しく來連した中山氏は語る

始めて來ましたが案外暖かです

れ、柳さんは松竹入社以來十三年です、最近身體が弱くて「夕凪双紙」主演以來休んでゐましたが滿洲各地からの懇望もありましたので來られたのです、すつかり船にやられて御覽の樣に弱つてます、だし物は得意の所作事舞踊「奴道成寺」です、大連には五日間ゐます、奉天、撫順、新京、ハルビン、朝鮮各地を廻つた後歸りたいと思つてゐます(寫眞中央は柳咲子)

車次逮捕さる 【大阪三十日發國通】神戶首事件解決のキイを握る者として搜査中の車次久一(三三)は三十日午前十時大阪住吉區のルンペン小屋に潛伏してゐたのを住吉署員が發見逮捕した

滿日盃爭奪の

實滿庭球爭覇戰
三對一で實業リード

本社主催滿日盃爭覇の第四回大連滿鐵對大連實業のヴエタラン硬球庭球戰は一日午前九時より彌生町三井物産コートにおいて擧行、三戰二敗のあさを受ける實業軍は阿部、三浦の滿鐵陣を一氣に粉碎して同率に漕ぎつけんとベスト・メンバーで戰ひに臨んだ結果、シングルスの午前中の戰績3—1でリードし優勢を示す、戰績左の如し

實業			滿鐵
木本	2—6		○阿部(鐵道)
(三井物産)	6—1		
	5—7		
	1—6		
○長田(三井物産)	6—3		田中(鐵道部)
	3—6		
	6—3		
○稻坂(東京電氣)	6—0		江口(總務部)
	6—2		
○小笠原(國際運輸)	6—0		山田(總務部)
	8—6		

滿洲共産黨事件

强硬派の小林も遂に轉向聲明
けふ田村辯護士宛に

第二次滿洲共產黨獄中被告として收容されてゐる松崎簡、廣瀨進等五名のうちその態度の强硬派と認められ今日まで回答を留保中の勞働運動等實際運動にも從つたこともある小林周三(二七)はその後醱成された轉向氣運と佐野、鍋山等の轉向に刺戟され一日朝田村辯護士宛て共產黨脫黨の聲明書を送つて來た、卽ちコミンテルンの指導によつて我々が動くべきものでないもつと國民的訓練が肝要で全くソ聯の傀儡に甘んじてゐたものであるといふ意味が書き列れてあると

に向ひ心理的に非常に動搖して しかも佐野鍋山等の轉向で一層その色が深い折柄、彼等に自省の期間を與へる事は必要だと信じ延期を申請したものである

デマを信ずるな
轉向を有意義にしたい
田村辯護士語る

轉向問題デマにつき田村辯護士は心もち流言に對し迷惑げに語る

どうも噓ッはちが眞實らしく報ぜられる事は迷惑至極だ、しかも全然反對の事が傳へられるに至つては問題である、夫々就職してゐたものもあり、いづれも眞面目に考へてゐるのに飛んでもない事だ、私から訂正したいと思ふ

公判の延期理由 は要するに彼等の轉向が確實なればその事實をもつと確めて、場合によつては公訴權を放棄しても好いと云ふ迄話が有利に進みつゝあるのだ、その意味で轉向を重大にとりあげて大きい見地から見て貰ひたい、それには裁判を延期して貰ひたいと申請しこれに對しては大體贊成されたのである次に

第二の理由 として中心人物たる松崎簡等と轉向派を別箇に公判に附す事は不合理だ、御承知の如く滿洲地方事務局と日本共產黨との關聯が非常にこの問題を重要なものにするか否かの分岐點になるので、それを知つてゐる松崎等を放つておいては全然駄目だと信じる、それに今

松崎や廣瀨 等が轉向氣運

山下本壘打王のお目出度
結婚季節のトップ打者

結婚シーズンのトップを切つた快ニュース——慶應在學當時より日本の生んだベーブルースとしてその殺人的打擊を謳はれ、實滿戰の花形としてファンには馴染深い滿倶選手山下實君(二七)の結婚については各方面で噂されてゐたが、今回楓町四四宇野武治氏長女初子さん(二二)との婚約整ひいよ〳〵來る十七日の吉日を選んで猪子運輸課長夫妻媒介の下に大連神社にて盛大な華燭の典を擧げることゝなつたこの名選手を見事射止めた初子さんは昭和四年彌生高女卒業の麗人で記者が訪問するとさすがに嬉しさうに語る

あらつもう解つたのですか感想つて……別にありません、母が山下さんの人格にほれこんだのですわ…私…勿論好意を持つてゐます、併し私單に野球選手としての山下さんが好きではなく人間としての山下さんが好きなの…この二月頃から交際してゐます、いゝえ決してそんなローマンスなんて……あの人が打つ時それあ心配ですわ、でも擊感がありますわ、お急ぎにならなけりやもつと話しますのに……(寫眞は山下君と初子さん)

變な家宅侵入 原籍石川縣金澤市現住所市內聖德街一五ノ九番地民政署勤務の柿本二郎(二二)(假名)は不心得にも聖德街の某滿鐵重役の家に忍び込み家人の者に怪しげな振舞に及ばんとして騷がれ逃走したが、家宅侵入によつて訴へられ沙河口署に留置嚴重取調べ中である

沖ツ海死去 【萩三十日發國通】東京大角力一行は二十九、三十兩日山口縣下萩にて興業中本日未來の橫綱と期待される沖ツ海(福岡縣中牟田出身)(二四)は幕下四名と共に手料理の鰒を食した處間もなく五名共苦悶を始め附近病院に收容手當したが沖ツ海は三十分後死亡し他は生命を取止めるらしいがその死は各方面に惜しまれてゐる

西部大連軟式庭球大會
快晴に惠まれ白熱化す

本社西部大連支局主催の西部大連軟式庭球大會は一日午前九時より霞町倶樂部橫のコートで擧行した定刻川島西部支局長の挨拶あり前年度優勝チームより優勝旗、優勝盃の返還式あつて直に試合に入つたが、絶好の快晴に惠まれて出場選手の意氣頓に揚がり熱戰を展開した、午前中における第一回戰の成績左の通り

第一回戰

橋本 津川(工場)	4—1	平井 小笠原(野掘)
橋本 林(聖德街)	4—2	宮根 菊川(工場)
鈴木 坂井(工場)	4—0	大橋 水谷(大商)
米地 森川(工場)	4—1	伊庭 中谷(聖德街)
山田 北島(工場)	棄權	大下 福田(工場)
佐藤 岡山(霞町)	4—1	野口 原田(ツバメ倶)
川端 月輪(工場)	4—1	黑川 山本(ツバメ倶)
和田 近藤(大正小)	4—1	藤川 大和田(大商)
松山 山田(大正小)	4—3	坂井兄 坂井弟
檜垣 湯田(大正小)	4—0	松角 笠(工場)
鶴田 大津	4—1	德永 三根
橋本 生駒	4—1	木村 和泉
雨部 丸山	4—1	濱坂 山ノ內

腕の冴に見せて
秋空に木魂する銃聲勇まし
けふの全滿射擊大會

關東廳、滿鐵兩學務課並びに大連市民射擊會三共同主催及び關東軍本社共同後援の第七回全滿洲射擊大會は一日午前八時より大連春日池畔大連市民射擊會射場において六十九個班、三百四十五名の大多數射手參加の下に擧行、畏くも斯道奬勵のため御下賜になつた伏見宮博義王殿下優勝盃爭覇の全滿洲射擊大會とて各班とも精銳をすぐつて參加し、日頃の練磨充分現れ第一部(軍人警官班)における旅順體育協會班は平均得點三十一點二の好成績を示して全參加班の首位を占め、これに續いて旅順要塞二十九點二、金州分會二十九點四大連第一分會二十八點六と接戰し第二部(生徒、靑訓生徒班)においては大廣場靑訓班三十點六〇で第一位を占め大連一中二班二十六點六〇、大連二中二十點六〇とこれに續くも午後には滿鐵射擊會、水上警察署、東公園町分會等優勝候補が出場するので混戰を豫想されて居り非常なる興味を呼び、安藤旅順要塞司令官、岩井少將等官民多數知名士の參觀多く秋空爽涼銃聲するごく射場にこだまして勇壯の氣射場を壓した

大連神社の秋祭り

一日の大連神社秋季大祭本祭は日曜に惠まれて早朝より神前に額づき家運長久を祈念する老若男女跡を絶たず式典は午前十時より開始水野社司以下神職一同、御影池民政署長、大連市長(近藤收入役代理)滿鐵總裁(竹中理事代理)石井大連警察署長、山內電信電話會社總裁ら所定の位置につき、大內市會議長、石本氏子總代を首め數多總代も拜殿に嚴然と控へ、式は修祓、開扉、獻饌、祝詞、玉串奉奠、撤饌、閉扉と次を逐うて嚴かに執行され十時五十分終了した——なほ午後は境內にて神樂、奉納能樂など催され夜にかけて一段と參拜者の數を增した

正金大勝す
銀行團リーグ戰

大連銀行團主催の秋季リーグ戰第一日目たる正金銀行對朝鮮銀行戰は一日午前十時三十分より實業球場にて佐藤滿銀支配人始球式後鮮銀先攻で開始したが十一A對一で正金大勝した、閉戰零時二十五分(兩軍バッテリー正金長谷川、大坪、鮮銀大井、下川)

鮮銀	000	000	001	1
正金	430	011	20A	11

長崎直航 基隆、高雄行
山西丸

大連發 十月四日午前十時
長崎着 六日午後三時一泊
基隆着 十日早朝午後出帆
高雄着 十一日午前

	長崎	基隆	高雄
特等	三〇圓	六五圓	七五圓
並等	一二圓	二五圓	一八圓

埠頭廿四區より出帆 廿區前に切符發賣所あり

大連汽船株式會社 電話七一三一番

演藝慰問使

鄕土の滿洲派遣部隊を慰問するため茨城縣町村會より派遣された演藝慰問使都築春彈の一行四名は琵琶、浪曲曲藝、滑稽等笑ひの種をどつさりもつて三十日入港のたこま丸で來連した、一行は直ちに新京の軍司令部を訪問旅程を定めて約二ケ月の豫定で慰問旅行をなする筈である

支那人男縊死

一日早朝市內寺內通大阪商船前の共同便所內に一見五十歲前後の氏名不詳の支那人男の縊死體を發見直ちに大連署より檢視の上宏濟善堂に引渡した尙原因は厭世の爲らしいと

●●●●●●

養命酒の滿洲進出 信州伊那の谷鹽澤家で三百年來家傳秘法の精力の基赤まむし酒「養命酒」は從來主として內地方面に販賣されてゐたが今回弘く滿洲に販路を開拓する爲め發賣元の東京養命酒本舖より三田支配人、淸水擴張部主事が來連、日本賣藥會社を滿洲總代理店として大々的宣傳販賣をする ここに手配し、目下奔走中である

天氣豫報 二日

北西の風(晴)一時曇

滿潮(午前九時一〇分 午後九時二五分)
干潮(午前二時三〇分 午後三時一〇分)

各地溫度 (一日午前十一時)

大連	二五	奉天	二〇
旅順	二四	新京	一六
營口	二四	新義州	一八

瓦斯電球交換料値下

眞空電球より瓦斯入電球への移向は近年電球界に於ける一大趨勢であります。これは能率惡き電球から能率良き電球への移向であります。弊社では此の趨勢に順應し、皆樣の御要望に副ふべく從來の瓦斯電球の交換料を十月一日より左記の通り犧牲的に値下斷行して皆樣に奉仕することになりました。折角御愛用の程懇願致します。

種類	容量W	現在 本店	現在 支店	改正 本店	改正 支店
內面半艶消	三〇	•二〇	•二五	•一八	•二三
透明	三〇	•二五	•三〇	•二三	•二八
透明又は半艶消	四〇	•二五	•三〇	•二三	•二八
同	六〇	•三〇	•三五	•二五	•三〇
同	一〇〇	•四五	•五〇	•四〇	•四五
透明	一五〇	•七五	•八五	•七〇	•八〇
同	二〇〇	一•一〇	一•二〇	•九五	一•一〇
同	三〇〇	一•五〇	一•七〇	一•三五	一•五〇
同	四〇〇	二•一〇	二•三〇	一•八五	二•〇〇
同	五〇〇	二•七〇	三•〇〇	二•四〇	二•七〇
同	七五〇	三•七〇	四•一〇	三•三〇	三•七〇
同	一、〇〇〇	四•五〇	五•〇〇	四•〇〇	四•五〇

備考 一〇及二〇ワットハH・B球(洋梨眞空半艶消)にて値段從來通

昭和八年十月一日

南滿洲電氣株式會社

善鬼惡鬼（215）

平山蘆江 作　刈谷深隍 繪

二つの骸（五）

女郎屋へ二人が着いた時はすつかり朝になつてゐたのだが、夜の遅い遊女屋は、まだ夜中同然だつた。

併し、金太郎は勝手を知つてゐる。

裏口へまはつて、寝ず番の爺いを起して、おはまの寝間の前へ案内さした。

おはまはいつもの通り、離れに一人で寝てゐた。

「御新造さん〳〵」

外から聲をかけると

「誰だい」とすぐに返事があつた。

「私でございます」

「傳右衛門かえ」

おはまは、傳右衛門が、かへつて來たのかと思つたらしい。金太郎が何ともいはない中に、雨戸を開けた。

寝まき姿のなまめかしさで、ぬれ縁にすらりと立つて

「早かつたねえ」と云つた。

「お早うございます」

さういつて、廊先で腰をかゞめてゐる金太郎を見ると

「何だい、金太か」と苦笑ひをした。

「早朝からおさわがせしまして相済みません。御新造さまが、小梅へお出かけになられえ中と思ひまして、お伺ひしたんでございますが、とんだ御迷惑を——」

しきりに詫び入つてゐる金太を

おはまはニコ〳〵して見下してゐる。

「急用といふのは何だえ」

「實は鐵五郎親分と、傳右衛門さんが二人づれで、けさ、渡し場までおいでなさいましたので」

「まア、氣の利かない。お前さんのうちへ行つたのかい」

「へイ、女郎屋を夜明けに起しちや、都合のわるい事がおありださうで——」

「ぢや、その事を知らせに來たの」

「いゝえ、御新造さんをお迎ひに上りました。千住の岸へ舟を着けて御座います。御都合がよろしかつたら、すぐにお乗んなすつて下さいまし」

おはまは一寸首をかしげた。

「私が行く事はないだらう。どうせうちへ戻つて來る人たちだ——」

「へイ、それがその、こちらへお見えになる前に、内々の御都合がおありのやうで」

金太は、相手の機嫌を損なはないやうにと、おど〳〵しながら、一生懸命にお世辭をつかつた。

「私や、まだ眠たいね。こつちで待つてゐるから、お前さん、すぐに引かへして、二人を連れて來ておくれ」

「へイ、それがその、さういふわけにいかねえとか仰しやつて—」

金太は泣き聲を出して、おはまを引出さうとした。金太がベソをかけばかくほど、おはまは面白がつて

「好いから、二人をつれておいでよ」

云ひ離すと、離れの中へ入つて了つて、雨戸を引よせた。

尤も、引よせつぱなしの雨戸だから、二三寸は隙間を殘してはあつた。中には、籠行燈がなまめかしくついてゐて、まだ夜の景色であつた。

「御新造さん、御迷惑でござんせうが、親方に叱られますので—」

「私や、もう少し眠たいんだよ」

「へイ——」

中では、何かもの音がしてゐる。もう一度床へ入つたのかと、

「困つたなア」

金太郎は思つた。

金太郎は、途方にくれて立ちすくんだ。

「金太」と、突然、中から

「へイ」

「一寸ここへ入つておくれ」

「へイ」

「かまはないからお入りつたら」

「へイ」そつと雨戸をあけると、寝てゐると思つたおはまは、起きて、着物を着てゐるのだつた。

「お前の力で、この帶をしめておくれ」

左程厚い帶でもないのに、金太に手傳はせて、あゝでもないかうでもないと、いぢりまはしながら果は金太の手に自分の手を持合せながら

「さあ、かうして、きゆつとしめておくれ」と云つた。

「おぎんさんはいくつにおなりだつけね」とも云つた。そして、金太郎の刷毛先を指先でなほしてやりながら

「お前が迎ひに來たんだから行つてあげるんだよ」とにッこり笑つた。

MOHAN

煖房界の最高權威　價格低廉　品質優良
煤煙防止の模範　取扱簡易　焚付簡單

モハンストーブ

満蒙の天地に活躍せらる、皆様の
防寒活動素としてのモハン!!

満洲國中國 總代理店
大德洋行
大連市監部通
電話五七三三番

特約店

大連 千村商店
大連 福田金物店
大連 高井商店
大連 船塚洋行
大連 德本洋行
大連 中山洋行
大連 宮崎洋行
大連 三上商店
大連 久富商店
旅順 久富商店
營口 大瀬洋行
營口 達見洋行
鞍山 盛海洋行
遼陽 北海屋商店
奉天 千村洋行
奉天 三省洋行
撫順 田中金物店
安東縣 澁谷商店
鐵嶺 石松商店
開原 田口商店
四平街 大和洋行
公主嶺 伊藤商店
新京 天野商店
天津 大澤洋行
青島 大青洋行
ハルビン 松浦商行
ハルビン 松島商會
錦州 千村洋店
濟南 協華電機行
齊々哈爾 昭和祥
吉林 増島洋行

(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)

朝夕刊共二十頁

發行所 大連市東公園町 満洲日報社

外相の新外交政策を軍部、大藏も大體賛同

近く成案を得た上實行

【東京一日發國通】對露、對米、對支外交調整を以て現下の非常時外交を打破せんと決意した廣田外相が就任以來抱懷する外交は國防と不可分なりとの所信を先づ荒木陸相、次いで植田參謀次長、大角海相、高橋軍令部次長等と順次會見、軍部の意向を質し、更に三十日には高橋藏相を訪問の上財政問題を中心に種々意見交換して新外交政策の樹立に努力しつゝあつたが、大體意見一致を見たので近く成案を得次第宮中に參內、天皇陛下に伏奏したるのち本月中旬興津に園公を訪問諒解を得た上愈々外相はその經綸を實行する段取となつた

新外交政策の大綱

一、滿洲事變を契機とする非常時外交は外務、軍部の連繫が必要で聯盟脫退後、軍縮會議を前にして愈々その要あり

一、邦品進出防遏政策に對抗して經濟政策の確立が目下の急務だ

一、此等の對策樹立に明年度新規要求二千九百萬圓は是非必要だ

【東京一日發國通】廣田外相は就任以來荒木、大角、高橋三相と會見して外交方針を披瀝したが大綱において三相意見一致した模樣である、卽ち對米露支外交はその方針で進められたが一九三五年の…共に重光次官以下局部長に具體案の作成を命ずる事にならうと

米穀を液化し軍需品として貯藏

愈よ具體的に研究

【東京一日發國通】米穀對策の一として米穀をアルコール化してガソリン代用に使用し、或は之を軍需品として貯藏する案は既に永井拓相が過般の閣議において主張した所だが、更に米穀調査委員會顧問朝鮮殖產銀行頭取有賀光豐氏は目下開催中の米穀顧問會議においてこれが具體化を力說した結果、多數の贊成を得、米穀幹事會において具體的に硏究する事になり、來る三日の顧問會には再び論議される事となつた、これに對し拓務省としては若し合理的に實施の途が立てば來年度から直に實施してもよいとの贊意を表し又陸海軍當局も國家的見地から同計畫の具體化に多大の期待を懸けてゐる模樣であるから、これが成行については各方面から重視せらるゝに至つた有賀氏の說は大體左の通りである

一、米一石よりはアルコール三斗强生產され一斗の市價は六圓乃至七圓なるを以て米と殆んど同價格である

一、アルコールはガソリン代用となるからガソリンの不足を補ふことが出來る

一、米及び籾の貯藏には巨大なる倉庫を要するもアルコールには差したる大規模のタンクを必要としない

一、此等のアルコールの燃料化と共に軍需品として陸海軍に貯藏を依賴する事は國策としても重要な事である

躍進するわが貿易

第三、四半期末の成績

【東京一日發國通】九月下旬を以て終つた第三、第四半期末までの我對外貿易は

輸出	十三億五千百萬圓
輸入	十四億二千萬圓
合計	二十七億七千百萬圓

で入超累計六千九百萬圓となつてゐるが、前年同期入超一億一千四百萬圓に比較するに實に四千五百萬圓の大減少で、尙これを本年上半期入超最高記錄五月中旬の二億一千百萬圓に比すると實に一億四千二百萬圓も縮めるに至つたので五月下旬出超に轉じて以來の輸出進展は驚くべきものがある、殊に下半期に入つてからの七、八、九月の第三、四半期における貿易は輸出入共に左の如き進展振りを示し近來のレコードを破るに至つた昨年度のそれを遙かに突破し輸出において三十四%輸入において七十%の增加を示すに至つた

▲七年度（單位千圓）

輸出	三八八、二一八
輸入	二三七、二八八
出超	一五〇、九三〇

▲八年度

輸出	五二一、一五三
輸入	四〇四、四三八
出超	一一六、七一四

政民の東海大會

夫々黨の方針を强調

【東京一日發國通】政友會の本年度地方大會第一聲たる東海大會は一日午後一時津市において開催鈴木總裁始め五千餘名出席、先づ宣言決議を滿場一致可決、次いで鈴木總裁は滿場の拍手に迎へられて登壇、今後の政局に處する政友會の態度方針を聲明した後山崎達之輔、大口喜六兩氏の演說あり盛裡に二時終了した

決議

一、自主的外交を本に經綸の計樹つべし

一、列强の大勢に對應して國防充實すべし

一、世界經濟戰を重點として產組織を改善すべし

一、低金利政策の徹底を期す

一、米價引上を斷行すべし

一、行政と教育制度の根本的改革を實行すべし

一方民政黨東海大會は十一日名古屋で開催若槻總裁はじめ出席し左の方針を强調の筈

一、社會不安の除去

一、選擧法の改正に依り立憲政治の信用を高め擁護せねばならぬ

一、內外情勢を考慮して國防を充實せねばならぬ

一、そのためには公債增發も已むを得ぬ

一、聯盟脫退後の帝國外交は自主的立場堅持と共に公正に出ればならぬ

滿洲へ自衞移民三千名を送る

拓務省明年度の計畫

【東京一日發國通】拓務省では自衞移民の成功に鑑み明年度は一躍三倍の二千二百戶約三千名を送る計畫を立て、既に右に伴ふ豫算を大藏省に提出了解を求めつゝあるが、右に關聯し移民地の中心地帶たる佳木斯附近に大規模の收容所を新設するに決定し豫算二十萬圓を計上追加要求をなした、なほ第一、二次移民が內地で準備訓練を受けて現地に赴き結果不良なりしに鑑み如上の新計畫を進むるに至つたものである

米の海軍擴張は已むを得ぬ

日米戰爭說は痴人の夢

米海軍長官ス氏語る

【ホノルル三十日發國通】米國海軍長官スワンソン氏を乘せた軍艦インデアン・アポリス號は三十日朝ホノルルに入港した、ス長官は語る

余はロンドン海軍條約の最大限度迄米國の海軍力を擴張される事を信ずるものである、勿論列强が縮小を行へば米國も敢て擴張を行はないが現下の情勢では擴張は已むを得ないところである、日米關係は最近頗る好轉して居り兩國間の戰爭說は痴人の夢に等しい、余が今度ハワイを訪問したのは軍事視察で政治的の意味はない（寫眞はスワンソン長官）

戰債支拂問題中心に英米の外交戰を展開

英使節けふ着米と共に

【東京特電一日發】紐育來電によれば戰債問題について英國の使節フレデリツクレイスロス氏が二日アメリカ着の上、この問題を中心に英米外交戰が展開する、英國は四十六億弗の戰債の內一割だけを現金で拂ふといふ、その理由はローザンヌ會議でドイツ賠償金すら九割を切捨たのだから戰債もその通りにまけろ、英國はフランスよりも高利を拂ひ而も一九三二年には九千五百萬ドル、この六月は一千萬ドルを拂つて居るから、我慢してもよからう、殊にアメリカは英國に對して輸出超過ではないかといふ、これに對し米國は賠償と戰債とは別問題だ、利子は高くない、戰債利子はアメリカ政府が民間から借りた公債よりも低利だと反對して居るので、一致は困難だが、英國の償還金が十億內外に落つき利子も多少負けて貰ふ事にならうとの觀測もある

廣田外相に竢つ對蘇關係の調整

(三)

新村龍二

次にソウエート聯邦との關係はどうか。此處にはまだ領土を繞る問題はないが、國境における紛爭は絕えない。そして北鐵交涉はその開始以來三ケ月にもなるが、なほ目鼻がつかぬのみか、蘇滿双方の立場は益々硬化してゐる。そればかりか、モスクワよりの新聞電報は北鐵管理局長權限問題と關聯してモスクワ政府は北鐵賣買交涉を打切る用意を有する旨を暗示したことさへ報じた。

かゝる報道に對して我々は少しもハラ〳〵する必要はない。だがかくの如くソウエート聯邦政府の態度が硬化したことにはそこに種々の理由がある。それは最近ソウエート聯邦の國際的位置が著しく非孤立化したことである。フランス及びフランス系統諸國との接近、イタリーとの通商條約改訂及び不侵略條約締結、アメリカ政府のソ聯承認態度確定等々ソ聯邦は遂次國際連繫狀態に進みつゝある。

何故にこのやうな成功を收めつゝあるか。それに就てはソ聯邦が一國社會主義建設に精進し始めたこと、平和政策を持續してゐること、軍備を充實したことなどが擧げられてゐる。だが是等理由のうちで一國社會主義建設の問題は大した理由とはなつてゐないやうに思はれる。抑々ソウエート聯邦が一國社會主義の建設に精進し始めたのは一九二四年レーニンの死後間もなくスターリンが一國社會主義建設可能の理論を展開した時からの事で、何も最近のことではないからである。さればソ聯外交成功の原因はその平和政策と國防の充實にあると考へられる。元來孰れの國も平和政策を口にしなかつたり戰爭政策を說いたりするものはない。從つて平和政策はその國の行動實踐がそれに伴はなければ何人もこれを信ずるものはない。ところでソウエート聯邦は今の處ヨーロッパ及び西亞諸國に對してその平和政策を實行してゐる。だが如何に平和政策を執つても、その國の軍備が脆弱であれば、何人も敢てこれと親善關係を結ぶ必要を感じないだらう。この意味において輿へられた國が國際關係において孤立化するも、反對にまた非孤立化するも、武力の躍進に依存するところが多いといはなければならない。

廣田外相は先に擧げた就任當日の聲明において

世界全般から見れば國際聯盟だけが平和維持の機關であるとは考へられぬ。米國、ソウエート聯邦の如き大國は國際聯盟の外にあり、しかも是等の國は初めから聯盟に加入してゐないが國家は隆々と發展しつゝあることソ聯邦の國力を高く評價してゐる。

ソウエート聯邦の軍備に就てはこれを買ひ被る要はないが、されどとて多寡を括つてはならないと思ふ。殊にその空軍は近年迅速に充實されつゝある。ソ聯陸海軍人民委員長ヴオロシーロフは「よりよき空軍を持つものは空中において より强いのだ」この事は…流儀を應用してゐるのかも知れない。これソウエート聯邦が日本の對滿工作に對する必要以上の警戒から出でたものであるかも知れない、また近時は世界各國實力の配備を以て外交々涉を牽制するのが流行であるから、ソ聯邦も北鐵交涉にこの流儀を應用してゐるのかとも察せられる。若し然りとすれば、それは徒らに日本の對抗警戒を强化せしむるのみである。

孰れにせよ、蘇滿國境を挾んで接續する日ソ關係は急速な整備を要求してゐる。卽ち後者であるとすれば、その複雜な關係を整備するには明白な頭腦と優れた手腕を要する。廣田外相はこの日ソ關係に處して〃眞實の國際主義と國家主義とを如何に調和させるか〃我々の外相に對する期待は甚大である。（九・二五）

顧代表の言動に反省を求む

廣田外相、南京政府に

【東京一日發國通】聯盟における日支紛爭は帝國政府の聯盟脫退せると、同事件は聯盟理事總會に附議されてゐるのであるから聯盟側では目下開會の理事會及び通常總會には同問題は取扱はざる方針となつてゐるが、二十九日の理事會席上顧維鈞代表は又も同問題を持出してゐるので廣田外相は次の如き見地から有吉公使を通じて南京政府へ抗議と反省を求むべく三十日訓令を發した

一、現在日支關係は停戰協定成立以來極めて友好關係にあり、殊に支那政府は口に親日を標榜し居るに拘はらず裏面において正反對の態度をとると思惟せらるゝことは日本政府の遺憾とするところである

一、現在の友好的日支關係を惡化せしむる如き顧維鈞の態度を若し南京政府の默認するところなるにおいては帝國政府もこれに對する斷乎たる處斷をとる用意を有す

一、日本政府が親善增進に努力しつゝあるに拘らず、前述の態度を南京政府がとるにおいては進行中の棉花購入問題を始め停戰協定履行其他諸問題に帝國政府は再考慮の止むなきに至るべし

一、この際南京政府においては日支友好關係增進極東平和の爲、かゝる反日的態度を嚴重愼まるるやう反省を求む

新京地委選擧結果

【新京電話】一日午後四時締切つた地方委員の選擧の開票は選擧場たる室町小學校講堂にて警察官及立會人列席の上、午後五時半より開票同八時半終了したが、當選者は滿鐵保線區の宮崎調明氏を最高點者として左の十六氏であつた

二七三點	宮崎調明
一七五點	中山忠恕
一六七點	山口義人
一六〇點	五味武太郎
一五七點	沼田勇
一三七點	大原萬千百
一二七點	德丸助太郎
一一〇點	勘崎仙英
一〇八點	加藤金保
九三點	佐藤宇次太郎
八四點	上田賢象
八〇點	孫化南
七九點	伊藤正夫
六一點	閻榮臣
四七點	劉鳴岐
三三點	黑田誠

尙投票總數千四百四十九票のうち有効數千九百六票で中には「新京には責任なし」「私慾を離れて選擧せよ」等の無効投票をなした者もある

奉天地方委員當選者

【奉天電話】一日施行された奉天地方委員改選の結果當選者は左の二十氏である

二七五點	鎌田正暉
二五三點	佐伯直平
二三四點	金丸富八郎
二一五點	磯部浜沼
二〇五點	那須要
一八七點	岩本宗太郎
一八五點	小林岩藏
一七六點	伊東善吉
一六九點	荒木馨
一四四點	安部袈裟男
一二六點	鹽尻彌太郎
一二六點	伊東長次
一二四點	齋藤邦造
一一五點	佐竹武志
一一〇點	宮川隆
一〇九點	伊東祐丘
九九點	中田卯吉郎
八〇點	高垣信造
八〇點	小森清次
六〇點	鯉沼忍

日滿文化協力委員

【東京特電一日發】日滿兩國の文化協力促進に關する日滿兩國委員は左の如く決定した

▲日本側　文學博士 服部宇之吉、工學博士 關野貞、文學博士 池內宏、同 濱田耕作、同上 羽田亨、帝室博物館美術課長 溝口禎治

▲滿洲側　鄭孝胥、羅振玉、寶熙、熙洽、臧式毅、袁金鎧、榮厚、許徐棻

日印暫定協定案

四日樞府會議に上程

【東京一日發國通】シムラ會商中の日印條約延長に關する日印暫定協定案は既に外務省より二上樞府議長の手に廻附し下審査を求めたが二日持廻り閣議又は三日の定例閣議に附議し正式決定次第直に樞府御諮詢を奏請する手筈となつてゐる、依つて樞府は同案の御下げ渡しを俟ち來る四日定例本會議に緊急上程卽決可決される模樣であるので、上奏御裁可を仰げば廣田外相は松平駐英大使に訓電を發し直にサイモン外相との間に正式調印を行ひ同時に効力を發生せしむる事となる筈である

牧野大佐赴任

【奉天電話】滿洲國陸軍中央訓練處幹事牧野大佐は今回吉林警備司令部附となり、一日午後三時半井上守備隊司令官、二瀦堂特務機關長始めその他日滿官民多數の見送りを受け赴任した

鳴る非常時の鐘に先づ生活を改善

滿鐵獨身宿舍が提携

【奉天電話】各地滿鐵獨身宿舍は從來各地毎に幹事會が中心となつて事務を斡旋してゐたが、近時の時局に鑑み獨身者は一層國家的社會的使命を痛感すると共に各個人の生活改善に相互協力する外、日常の生活問題を話合ふ所の全滿の滿鐵獨身宿舍聯合會が必要だとの說昂まり一日午前十時からヤマトホテルで各地代表者約六十名參集これが創立に關する打合會を開いたが、午前中は各地の情勢報告及び規約の協議あり午後は懇談會に移つた

不戰區內の掃匪準備

【天津三十日發國通】于學忠は楊村第百八師より改編し不戰區內に派遣した特殊保安隊一千餘名が灤縣において通過を阻止された爲め別に塘沽駐屯部隊より五百名を便衣にして昌黎に第百九師改編の騎兵隊と……より特務隊を組織し豫備保安隊としてゐるべしと命令し、楊村駐屯部隊中より……て待機せしめてゐる

廣東軍の空軍擴充計畫

【東京一日發國通】海軍省着電によると、廣東軍は最近空軍の擴充を企圖し一年計畫で現有飛行機百機の倍加運動を起しこれには多數の英米人顧問が招聘されてゐる、なほ支那人飛行家養成のため九龍廣德飛行場に飛行學校を建設するがそのため英國の航空元帥ヒギンズ卿が二十九日九龍に到着した

ソ政府の抗議的聲明

我外務省不問

【東京一日發國通】二十九日ソウエート政府が二十八日の廣田、ユレニエフ會見の內容に抗議的聲明を附し發表せる事に對し、外務省では左の通り一笑に附して居る

ソウエート側北鐵幹部逮捕問題は滿洲國の司法權發動で、ソウエート政府の英國ビツカース社員逮捕事件と同性質だ、日本が北鐵に關する蘇滿交涉を決裂させ、北鐵を奪取せんとするなどは全く偏見だ

錦州農事試驗場開場式

【錦州特電一日發】錦縣小嶺子農事試驗場の開場式は一日午前十時より開催されたが、來賓として徐奉天省實業廳長、橫田少佐を始め日滿伯主計長、錦縣知事、佐人約七十名で式は先づ徐廳長の訓示に始まり臧奉天省長、溝知事、林滿鐵總裁の祝辭及び祝電披露あつて後祝宴に移つたが近來にない盛會であつた

輝やく武勳を樹て、坂本將軍凱旋の途に
きのふ思出の錦州出發

【錦州特電一日發】昨年十二月大命を拜し滿洲に出動以來土匪の討伐並びに熱河の聖戰に幾多の作戰記錄を殘し赫々たる武勳を戰史上に輝かした第六師團長坂本中將は佐々木參謀長、池田副官以下幕僚を隨へ一日午前十一時四十五分發列車で思ひ出多き錦州を出發凱旋の途についた、是より先驛頭には平田○團長、辻飛行○隊長、郷兵站部支部長、後藤領事、松木警察署長、濱口民會長、滿洲國側から馮知事、宮警務局長を始め要人多數の見送りあり數萬の日滿市民驛頭を埋め空には二臺の飛行機歡送飛行をなし萬歳の聲ホームを壓して頗る盛んであつた

銃後の後援を更めて深く感謝す
坂本將軍の感想談
きのふ錦州出發凱旋に際して

【錦州特電一日發】昨冬以來吉林敦化、東邊道の土匪討伐を始め熱河聖戰、河北作戰に參加し南征北伐に寧日なかつた第六師團は赫々たる武勳を殘して內地に凱旋することになり既に先發隊は出發したが師團司令部は一日午前十一時四十五分發列車で殘留部隊は二、三四の三日間に亙つて各思ひ出多い滿洲を引揚げて出發凱旋することになつた、凱旋に際し坂本師團長は三十日記者團に對し左の如く感想談を試みた

在滿中は日滿兩國官民より絶大なる御同情、御鞭撻を蒙りお蔭を以て何等後顧の憂なく今日に至りたるは將兵一同感激に堪へない、今次師團の歸還に當り、第一回の輸送部隊は既に當地を出發したが、途中到る處盛大なる歡迎を受けた由誠に

感謝に堪 へず、且つ光榮至極に存ずる次第である、多勢の事であり、定めし御迷惑であつたらうと思ふ、玆に第六師團將兵一同を代表し謹みて御禮を申上げる、これも目下入院加療中の傷病者並に陣歿犠牲者のお蔭であるが今日凱旋に當りこの光榮を共にし得ざる犠牲者、就中陣歿者を偲びその遺族の心情を思ふとき、徒らに凱旋氣分に陶醉することは出來ない、實に斷腸の念に耐へないものである、顧れば出動の間部下の將兵は聖諭を奉じ全力を致してよく軍人たるの本分を竭してくれた、只師團長の統率宜しきを得なかつた爲め多數の犠牲者を出したがこれは何とも申しわけなく恐懼する次第である、今や時局は愈々重大となり

擧國一致 してその使命に邁進せねばならない危急の秋である、我等師團の將兵はこの際更に覺悟を新にし油斷なく明日の御備へを整へることが、今日の御同情に酬い御期待に副ふ所以の途であり、又亡き戰友の靈を慰むるせめてもの手向けであると信ずるものである、將來益々鞭撻を加へられ軍民一致の實を擧ぐることにお力添へを願ふと同時に重ねて從來の御同情に對し厚く感謝の意を表す、貴紙を通じて宜しく御傳へを乞ふ（寫眞は坂本將軍）

實業軍打擊振ひ滿鐵軍敗る
第一回實滿軟式野球

本社主催の第一回大連滿鐵對大連實業の實滿對抗軟式野球試合第一回戰は、一日午後二時四十分より滿倶球場にて二神（球審）吉田、兒玉（壘審）三氏審判、伊藤滿鐵社員會幹事長始球式後實業先攻の下に開始したが、實業劈頭二點を先取して好調を示したるに反し、滿鐵各打者とも振はず實業軍は更に六回徳永の三壘打をきつかけとして攻撃振ひ一擧四點をあげて大勢を決し、八回また三點を加へ計九點を擧げたるに反し滿鐵僅かに八回裏一點を得て漸く零敗をまぬかれ、九對一で實業大勝した閉戰四時四十分

實業	200	004	030	9
滿鐵	000	000	010	0

◇一回 實業齋藤平田ともに四球徳永二飛後齋藤一死滿壘續く圓城寺の遊撃右拔く單打で齋藤平田還り久甫二進し、松島左線寄り單打で再び一死滿壘となり津村投ゴロで久甫本壘封殺、圓城寺松島それ／＼進んだが寛左飛▼滿鐵宗正右前單打中野四球と續いたが神部の三匍に宗正神部重殺を喫し、川井田二匍

◇二回 實業鷲見四球齋藤左飛平田二飛後鷲見三盗して刺される▼滿鐵藤田中前單打に出でたが二盗に刺され、藤原三匍惡投に生きたがこれまた二盗して刺され高下右前單打重松投ゴロ

◇三回 實業徳永久甫ともに遊匍圓城寺三匍▼滿鐵左右田三振宗正四球中野投匍に宗正二進神部三振

◇四回 實業松島中飛津村三匍寛もまた三匍▼滿鐵川井田三遊間單打に出でたが藤田の遊匍で二壘封殺藤原遊飛高下の三匍で藤原二壘封殺

◇五回 實業鷲見投飛齋藤投匍平田三匍▼滿鐵重松一邪飛左右田遊飛宗正四球中野三匍

◇六回 實業徳永左越三壘打久甫三匍圓城寺打者のとき徳永投手牽制球に三本間に挾まれたが、捕手惡投に還り圓城寺遊匍一壘落球に出で、二盗、松島津村と連續四球で一死滿壘となり寛の左前單打で圓城寺還り津村二三進（この時滿鐵高下退き野間投手となり川井田一壘に藤原二壘に交代）鷲見投匍に松島本壘に封殺されたが齋藤の中前單打に津村寛と還り平田三匍▼滿鐵神部遊匍川井田投邪飛藤田一匍

◇七回 實業（滿鐵重松退き入江捕手となる）徳永捕邪飛久甫二飛圓城寺四球松島二匍▼滿鐵藤原左飛野間投匍入江右飛

◇八回 實業（滿鐵右翼高橋に代る）津村三越單打に出で二盗寛の三匍で鷲見三匍一失で津村三進、鷲見二盗後齋藤三振したが平田の代打益田一壘左拔く單打で津村鷲見ともに還り、益田二盗の際捕手惡投で三進徳永の左前單打に益田還り久甫遊匍で漸く止む▼滿鐵（實業久甫左翼に益田右翼となる）高橋宗正中野と連續四球で無死滿壘、神部三匍に高橋本壘封殺されたが川井田の三匍で宗正還り中野神部それ／＼進壘藤田二飛滿鐵絶好のチャンスも僅かに一點

◇九回 實業圓城寺投邪飛松島投匍津村の代打杉本三邪飛▼滿鐵（實業松島退き井上投手となる）藤原三振野間四球入江遊飛高橋一匍

（實業）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
6 齋藤	4	1	1	0	1	1	1	3	2	0
7 平田	3	1	0	0	1	0	1	1	0	0
9 （益田）	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
8 徳永	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0
97 久甫	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0
3 圓城寺	4	1	1	0	1	0	1	10	1	0
1 松島	4	0	1	0	0	0	1	1	3	0
1 （井上）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 津村	3	2	1	0	1	0	1	3	2	0
2 （杉本）	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
4 覓	4	1	1	0	0	0	0	6	1	0
5 鷲見	3	1	0	0	1	0	1	1	5	1
計	36	9	8	0	6	1	7	27	14	1

▲三壘打―徳永▲併殺―實業1（鷲見―圓城寺）▲試合時間二時間

（滿鐵）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
7 宗正	1	1	1	0	0	0	4	2	0	0
8 中野	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0
6 神部	4	0	0	0	0	1	0	0	3	0
13 川井田	4	0	1	0	0	0	0	6	3	0
5 藤田	4	0	1	0	0	0	0	1	6	0
34 藤原	4	0	0	0	0	1	0	10	1	1
4 高下	3	0	1	0	0	0	1	3	0	0
1 （野間）	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
2 重松	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1
2 （入江）	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1
9 左右田	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9 （高橋）	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	29	1	4	0	0	3	8	27	16	3

滿日優勝盃實業軍の手に
第四回實滿庭球戰

一日午前中三對一の後を承けた滿日優勝盃爭覇硬式庭球戰は引續き彌生町物産コートで行はれたが、滿鐵側奮闘してシングル三對三と漕ぎつけたがダブルスで全敗を喫し、結局實業六、滿鐵三で實業の復讐成り二勝二敗の同率となり、本社優勝盃は實業軍の頭上に輝いた、戰績左の如し

シングルス（實業―滿鐵）

×木本（三井）三―六、六―一、五―七 阿部◎（鐵道）
×渡邊（三井）三―六、七―五、六―三 三浦◎（商事）
×藤田（東棉）一―六、五―七 百田◎（商事）
◎長田（三井）六―三、六―三 田中×（鐵道）
◎稲坂（東電）六―〇、六―二 江口×（總務）
◎小笠原（國際）六―〇、八―六 山田×（總務）

ダブルス

◎木本・渡邊（三井）六―一、六―四 阿部・三浦（鐵道・商事）×
◎藤田・稲坂（東棉・東電）六―四、八―六 百田・田中（商事・鐵道）×
◎長田・龜本（三井）六―一、六―二 江口・山田（總務）×

滿洲國體育大會

【新京電話】第二回滿洲國體育大會第三日目の蹴球戰は一日午前九時新京特別市對北滿特別區の一戰から新京西公園グラウンドにて開催された、成績左の如し

▲北滿特別區3（前半0―0 後半3―0）0新京特別市
▲關東州5―1吉林省
關東州5（前半3―1 後半2―0）1吉林省

なほ列車事故の爲競技不參加となつた北滿特區選出選手の參考記錄の競技を行つたが、北滿特區の任光華は女子六十米で七秒五の記錄を出し大會第一日目の記錄を破つた

【新京電話】第二回滿洲國體育大會第三日目關東州對北滿特區蹴球戰は一日午後二時半から西公園運動場にて開催されたが三對零で關東州勝つ、成績左の如し

關東州3（前半1―0 後半2―0）0北滿特區

【新京電話】第二回滿洲國體育大會は關東州對北滿特別區の蹴球戰終了に次いで滿洲國對オール奉天のエキジビション、ラグビー、蹴球戰を以て午後五時二十分全競技を盛會裡に終了したが、本大會における成績は關東州軍が陸上競技、蹴球、籠球の三競技に優勝し、北滿特別區は排球に、吉林は女子排球に優勝した、全種目を通じた成績では吉林二十八點を擧げて他軍を拔いて優勝し、次位は北滿特別區で二十三、五點、第三位は新京で二十一、五點、關東州二十一點、黒龍江省十二點、興安省四點、奉天省零の順位となつた、午後五時三十分より閉會式に移り、西山文教部總務司長より全選手に對し一場の訓示を與へ、優勝カップ、執政杯、國務總理杯、全權大使杯、その他滿洲國政府各部總長のカップ又は楯等の賞品授與式があり、一同滿洲國體育大會の萬歳を三唱し有意義な大會を終つた

明大勝つ 13―5
對帝大三回戰

【東京一日發國通】明帝三回戰は一日午後零時五分から神宮球場で藤田、森、齋藤、本郷四氏審判の下に明治の先攻にて開始十三對五で明治勝つ、閉戰二時八分

バッテリー、明大八十川、迫畑 帝大、梶原、古南

明大	260	103	100	＝13
帝大	001	010	021	＝5

早立戰けふ續行

【東京一日發國通】早立三回戰は一日午後二時五十分から森田、横澤、島、片桐四氏審判、早大先攻で開始、終始打撃戰を演じ、九回に及んだが日沒のため十一對九、立教リードのまゝ兩軍明日午後三時から續行する事となつた

伏見宮盃を大連一中軍獲得
全滿射擊大會成績

關東廳、滿鐵兩學務課、大連市民、射撃會共同主催、關東軍本社共同後援になる伏見宮博義王殿下御下賜優勝盃爭覇第七回全滿洲射擊大會は秋晴れの一日午後よりも引き續き大連春日池畔射場において續行午前中旅順體協優勢を示して居たが小崗子警察、大連第二分會以下續々と體協記錄を破つて躍進を續け更に第二部の大連一中第一班は百七十四點の最高記錄を示して堂々先輩陣を壓して團體觀射の最高位となり榮えある伏見宮盃を獲得し午後五時全競射を終了し岩井少將より團體優勝チーム一中一班に伏見宮盃を第一部勝者小崗子警察署に軍司令官賞を第二部勝者一中一班に滿鐵賞を第三部勝者工事二班に長官賞をその他個人入賞者に個人賞を授與し、岩井少將の講評後日下內務局長の發聲で萬歳を三唱し午後五時閉會したが、來賓の日下內務局長、野田工大校長、中西地方部長等も勇ましく銃を持つて射撃するなど時局柄非常なる盛會であつた

團體順位

◇第一部（軍人、警官）
△一等小崗子警察署一班一七〇點（田切四〇點、秋本二九點、河野三九點、關二三重三九點、平均得點三四點）
△二等大連第二分會一班一六六點（松野三一點、前田三一點、伊藤三〇點、榊三七點、松本三七點、平均得點三三點二）
△三等海友會一班一六六點（竹內三三點、岩城三九點、江頭四二點、船倉二四點、峰松二八點）
△四等準頭分會一班一六五點、五等旅順體育協會一五六點、六等滿鐵射擊部一班一四九點、七等大連警察署二班一四九點、八等沙河口警察署一班一四七點、九等金州分會一四七點、十等旅順要塞司令部一班一四六點

◇第二部（學生、生徒、青訓生）
△一等大連一中一班一七四點（杉田二七點、小泉三五點、近藤三四點、片山四〇點、太田三八點、平均得點三四點八）
△二等大連二中一班一五五點（城二三點、渡邊三八點、小澤四〇點、奈良三一點、吉田二四點、平均得點三一點）
△三等旅順工大一班一五三點（山本三三點、西野二二點、宮崎三二點、今福三一點、中村三五點、平均得點三〇點六）
△四等大廣場青訓一班一五三點、五等大連商業二班一五二點、六等沙河口青訓三班一四八點、七等大連商業一班一四二點、八等旅順中學一班一四一點、九等大連商業三班一三九點、十等旅順工大二班一三六點

◇第三部（一般）
一等 工事第二組 一一三點
二等 沙河口青訓同窓生 一一〇點
三等 滿電二班 六九點
四等 滿鐵射擊部二班 六八點

個人順位

◇一部 (1)山崎（旅體）四五點 (2)福岡（埠分）四二點 (3)江頭（海友）四一點 (4)內野（水警）四一點 (5)安藤（五分）四一點 (6)本間（電分）四一點 (7)梶村（海友）四〇點 (8)田切（小警）四〇點 (9)內田（滿射）三九點 (10)二重（小警）三九點 (11)多良（大廣分）三九點 (12)平田（大警）三九點 (13)中木（一分）三九點 (14)岩城（海友）三九點 (15)河野（小警）三九點

◇二部 (1)神谷（大高）四二點 (2)岩淵（工大）四一點 (3)竹田（一中）四〇點 (4)小澤（二中）四〇點 (5)片山（一中）四〇點 (6)百足（一中）三八點 (7)清國（大商）三八點 (8)眞木田（一中）三八點 (9)渡邊（二中）三八點 (10)太田（一中）三八點 (11)楠（旅中）三七點 (12)服田（工大）三七點 (13)那須（沙青）三六點 (14)緒方（大青）三六點 (15)原（大青）三六點

◇三部 (1)山下（沙河口青訓）三一點 (2)加藤（工事）三一點 (3)岡（工事）三〇點

◇來賓順位 一等野田工大學長二三點、二等中西滿鐵地方部長二〇點、三等日下內務局長一五點

西部大連軟式庭球戰成績

本社優勝旗優勝盃爭覇の第二回西部大連軟式庭球戰は一日午後より霞町倶樂部横テニスコートにおいて續行したが西部大連唯一の大會でありその上絶好のテニス日和とて觀衆多く各ゲームとも白熱戰を演じ觀衆熱狂したが結局霞町倶樂部の佐藤關山組は工場の米地森川組を一蹴して優勝し、本社優勝旗優勝盃を獲得した戰績左の如し

▲第二回戰
米地森川 4―2 杉山山田
佐藤關山 4―3 鈴木坂井
和田近藤 4―0 川端月輪
兩部丸山 4―2 橋本津川
湯目檜垣 4―0 山田大塚

▲第三回戰
橋本林 4―0 橋本生駒
米地森川 4―2 鶴田大津
佐藤關山 4―2 近藤和田
檜垣湯目 4―2 兩部丸山

▲準優勝戰
米地森川 4―1 橋本林
佐藤關山 4―1 檜垣湯目

▲優勝戰
佐藤關山 4―1 米地森川

世界、日本新記錄續出
神宮體育大會

【東京一日發國通】第七回明治神宮體育大會水上競技第二日における世界並に日本新記錄左の如し

▲五〇米自由型 A組一着竹村（早大）二十六秒、C組一着高橋（早大）二十六秒四（以上共に日本新記錄）
▲女子五百米平泳 一着前畑（椙山）八分三秒八（世界並に日本新記錄）
▲女子百米自由型 一着小島（椙山高女）一分一三秒四（日本新記錄）
▲女子五百米自由型 一着守岡（茨城）七分三五秒六（日本新記錄）
▲四百米自由型 A組石原田（明大）四分四七秒六（日本新記錄）B組牧野（早大）四分四六秒八（世界並日本新記錄）
▲四百米平泳 一着小池（慶應）五分五六秒八、二着葉室（修猷館）六分六（日本新記錄）

林總裁出發

【東京一日發國通】滯京中の林總裁は一日午後一時東京驛發歸任の途についた

人事

▲足立長三氏（鐵路總局旅客科長）一日午後四時二十分發列車にて歸任
▲相川岩吉氏（滿洲國事務官）同
▲緒方竹虎氏（東京朝日新聞編輯局長）一日午前七時四十分着急行で來連ヤマトホテルへ
▲白石幸三郎氏（東京朝日新聞經濟部長）同上
▲藤本廣次郎氏（醫學博士金澤醫科大學教授）一日午前八時着列車で來連遼東ホテルへ
▲佐伯秀一氏（醫學博士金澤醫科大學教授）同上
▲堤六三郎氏（ハイラル領事館員）同上

小觀大觀

米が餘る、作付制限、穀貯藏と苦心されるが、アルコール化してガソリン代用にし、又貯藏して軍需品にするのが良案であり、是非眞劍な研究を望む▲日支停戰協定以來、北支方面の對日態度は穩和になつた、上海南京でも抗日運動は抑へられてゐる▲然るに顧維鈞の國際聯盟における毒舌は何事ぞ▲南と北とが歩調異なり、本國と在歐米代表との行動相反するのは常の事ではあるが、不問には附し難い▲內部問題として不統一であらうが、日本から見れば不信と見る外はない▲廣田外相から抗議を持ち込んだのは當然であり、反省を求めたのは內部事情に同情する好意である▲外に働きかける爲には、先づ內を固めてかゝらねばならぬ、廣田外相は陸海相と懇談を遂げ、次で藏相に諒解を求む▲用意周到、外相先きに硬骨漢の評ありて、單なる硬骨漢ではないことを示す▲蔣、汪、宋の三巨頭辭表提出説がある、眞僞なほ不明であり、眞實であつても、體裁上又は駈引上の辭表といふことはよくある圖だ▲反蔣派に對する連袂面當てとも云ひ、蔣、汪の反目からとも云ふ

超非常時の襲來と皇國の使命（一）
文學博士 鹿子木員信

私は今夏、滿洲夏期大學の講義を終へてからまる二ケ月にわたつて南北滿洲各地、ホロンバイル熱河および北支を視察した、殊にホロンバイルにおいては深く奥地に入つて喇嘛寺を巡遊し具に蒙古人の社會生活を見、熱河においては王侯會議が開かれてゐる時だつたので、これに列席して彼等の日滿兩國に對する眞實の叫びを聞き、又北支においては朝野の支那や又蒙古人に會うてその所見を叩くことを得た、この結果私は三つの重大問題に當面した

× ×

第一の重大問題は對蒙古問題である、現在蒙古人は四分五裂の狀態にある、まづ外蒙の蒙古人はソウエートロシアの支配下にあり、ソウエートは「宗教は阿片なり」のレーニンの言葉によつて喇嘛教撲滅政策をとり、蒙古人の特色ある喇嘛教をしめつゝあり、又徹底的な花柳病撲滅政策を採用し、梅毒病院を設け患者を捜査して發見次第如何なる有力者といへども強制的に收容してゐる、こゝにロシアの蒙古政策が如何に徹底的なものであるかを見ることが出來る

ホロンバイルは從來外蒙と密接な連絡を持つてゐたが今は全然隔離され、蒙、漢、露三民族の混住地として深刻な民族闘爭が行はれてゐる、熱河もホロンバイルとあまり交通がなく一區域をなしてゐるが、こゝにおける蒙漢兩民族の抗爭は一層激烈である、蒙古人は久しく漢民族から政治的にも經濟的にも壓迫を受けて來たので五族協和の滿洲國に大なる希望をかけてゐるが、滿洲國の對熱河政策が中華民國時代のそれを踏襲せんとするかに見えるので多少の不平があるやうである、卽ち舊時代の驟治制度が維持されてゐることはその一つで、王侯會議の席上でも全員擧つて驟治よりの解放を叫んでゐた

チヤハルは外蒙を含む全蒙古の心臟の位置にありその住民は蒙古人中最も優秀なものだとせられてゐるが、現在では外蒙はもとより滿洲國の他部分とも連絡なく支那の力も及ばず全然孤立してゐる、成るほど地圖の上からは支那領土となつてゐるやうが、支那政府の勢力は張家口以北六縣にしか及ばずチヤハルの大部分は何人の手も及んでゐない、更に綏遠寧夏の蒙古人に至つては他のどこの重點にも引きつけられず游離してゐる有樣である

かく蒙古人は四分五裂して世界に各種の問題を投げ出して居るがその間に共通の問題は蒙古民族の獨立といふことである、日本留學生もさうであるが、現在モスクワに學んでゐる蒙古青年は歸國する時は悉く反露主義者となるとの事であるが、これは現在の蒙古人が「他に頼つてはならない自力で大同團結せねばならぬ」ことを痛感して來た結果だと思ふ、今や自覺して來た蒙古人久しく彼等の上に壓制を加へて來た漢民族を離れて日本人に信頼してゐる、日本人がかゝる大勢を洞察せず徒らに蒙古人の上に漢民族の文化を覆ひかぶせるがごときは、日本人自ら墓穴を掘るごときもので、決して賢明の策でないと信ずる

× ×

第二は屢々新京に赴き滿洲國統治の實際を見、又聞いて痛感したところで、それは日本と滿洲國との關係の問題である、滿洲は今憲法を制定すべく準備時代であるがまづ第一に當面する問題は主權を何處に置くかである、殊に滿洲國の據つて以て立つ哲學的主權ともいふべきものを何處に置くべきかは今まで論議することを避けて來たがこれからは國家の安寧を案さぬ限り十分論議せねばならぬと考へる

まづ滿洲國の成立したのは皇軍の力であり、又それが育ち榮えて行くのも一に皇軍の力であり歸するところ天皇の御稜威である、たゞ滿洲國は儼然たる獨立國で日本と對等の地位にあり決して屬國ではない、かゝる兩國の特殊的關係を法的に如何に規定するか、この際に戰前のドイツや現在のソウエートなどは多くの示唆を吾人に與ふるもので結局超國家的な大聯邦が出來、それを統べるものが「すめらみこと」であると私は考へてゐる

嫉妬に燃ゆる中薗が計畫的に青柳を殺害

遺書は夫人と中薗との合作　心中は狂言に過ぎぬ

【高野にて長谷部特派員一日發】血で彩つた愛慾地獄の終焉を靈地高野山の山中で清算せんとして捕へられた勝美夫人と中薗は、高野署に留置取調をうけた結果、怪奇に包まれてゐた事件は漸次明るみに曝け出され、もはや中薗が下手人であることは動かぬ事實となつたが、今なほ事件をめぐつて幾多の疑問符が渦巻き、いづれが眞なるか世人を惑はすものがある記者はこれ等の點を實地について調査すべく先づ高野署長につき取調べの内容を聞き、更に北室院について二人の動靜を調べた結果、大連における豫備知識とを綜合し大體疑問とする諸點を解決する事が出來た。即ち夫人が死の直前に書いたといはれる遺書の内容は全く中薗との合作になるもので、北室院の番僧の談にある如く、二十七日深更北室院に枕を並べて認めたものであるといふ新事實が判明した、從つて青柳が勝美夫人を脅迫し情を通じ、その後弱味につけこんで金をまき上げてゐたといふ說は全くリードして居り事件當夜の模樣も本紙既報の如く嫉妬に燃ゆる中薗がベロケになつた青柳をつれ出し、博士邸を訪れ殺害したものである、中薗は發作的に青柳を殺したものといつてゐるが、短刀は豫て用意してゐたものであり今日迄二三回にわたり青柳殺害を企て、失敗してゐる事實が判明してゐるので嫉妬の兇刄である事は確實となつた。かくの如く兇行動機たる三角關係を有利に遺書の中に認めてゐる點、及びアダリンは勝美常用のもので自殺用のものでなかつた點より推し、今回の情死は狂言と見られ、當局ではこの點を追究してゐる。なほ勝美夫人は大連の社交界をさながら淫蕩市場のやうに遺書に認め、係官にも云つてゐるが、自己の罪を蔽はんがため顧みて他を云つてゐる觀があり、又三輪子に對し「完全に復讐した」といつてゐるのは三輪子に青柳を寢取られた恨みと見られ、青柳の死を以つて三輪子に復讐したものと思はれる、勝美夫人が北室院の寺男に託し、三輪子に送つた手紙の中に「何の恨かわからないが、完全に復讐した、親友らしく裝つてこんなにまで苦しめなくてもよかつたでせう」とあるのを見てもこの間の事情がわかる、二人の身柄引取のため急行した大連刑事安部、上郡山兩刑事は一日午後八時大阪着直に高野に來る筈で、身柄は別々に押送される筈である

兇行當夜の博士は喪神し殆どロボット

情死は勝美夫人から迫つた

【高野にて長谷部特派員一日發】狂言自殺か、眞の情死か、多大の疑惑を以てみられてゐる勝美、中薗の高野山における行動につき高野署では一日二人の元氣恢復を待つて取調べの結果

狂言自殺　の點を否認してゐるが、勝美から持ちかけたもので中薗にその意思がなかつたことが判明した、勝美の告白によると情痴の戯れから事重大となり世間の手前、夫博士に對し、始めて相濟まぬといふ氣持が油然と起り、それに最早逃げ路も斷たれたのに覺悟し中薗に死んで異れと迫つたもので、中薗は「そんな氣狂いこさないふものでない」と最初のうちは取合はなかつたが、生きて恥を曝すよりはと懇々勝美に說かれた結果、遂に情死を同意したものであるが、中薗は少しも苦悶した樣子なく情死の意思は全くなかつたものとみられ、或は勝美一人を死なせて自分は

逃走する　考へであつたが途中不惑が加はり、勝美を介抱して北室院に歸つたものらしい、なほ中薗の着てゐるワイシャツに兒玉とあるのに不審を持たれ、取調べの結果、青柳殺害のとき、自分のワイシャツは鮮血に染まつたので博士からワイシャツを貰ひ着てゐたもので、下手人としての有力な證據物件となり押收された、博士に對する二人の氣持は依然として變らず、五日夜兇行の際、博士は呆然として喪神狀態であつて、中薗がまるで催眠術をかけるやうに痴呆狀態にあつた博士を指揮したものらしく、トランクに詰めるのも、情婦横山きみの宅へ死體を運ぶのも博士は

ロボット　のやうに動いたといふ、だから博士に共犯の意思、死體隱匿の犯意など殆どあり得べきでないとの點は二人の陳述が一致してゐる

勝美夫人遂に本音を吐く　博士の陳述裏書

【高野一日發國通】高野山に在る兒玉勝美と中薗秀雄は前日來の取調べに非常に疲勞してゐるが、一日も午前十時より椒谷高野署長の手で勝美のみ同署樓上で大連における博士の陳述と喰ひ違つてゐる點を取調べられた結果、遂に勝美も二十九日來の陳述を全然覆へし博士の言葉を裏書きし兇行の原因は中薗の義俠によるものでなく單に痴情關係によるものであると陳述した

不倫の戀結願の北室院を訪ふ

心中前の二人の行動

【高野にて長谷部特派員一日發】無軌道戀愛のヒロイン勝美夫人が遂に死を空しく憔悴の身を橫へた北室院の一室を訪れた、この部屋は院内でも奥まつた

靜な一室　で右手に高野の老樹がおひかぶさるが如く窓にそひ、部屋の隅の瀬戸火鉢から白湯のたぎる音だけが僅かにあたりの靜けさを破つてゐる、今は主なき部屋ながら博士夫人として又は往年大連社交界のクインとして誇りと享樂の限りを盡した勝美夫人が餘りにも急轉した運命を嘆ちながら中薗と最後の情痴の繪卷を繰りひろげたのも此處だらう、四十餘時間高野の山露にぬれそぼちながら生死の間をさまようた身を再び橫たへたのも此處であらう、記者(長谷部特派員)は夫人なき部屋ながら當時の

苦惱の跡　が無心の小兒にまで深く刻みこまれてゐるかの如く思はれた、北室院の役僧は情死をはかつた前の二人の樣子につき語る

二人は二十六日午後十時ごろ參りまして風呂にも入らず夕食も攝らず、この部屋で寢みましたが深更までヒソヒソ語りあひ何か盛んに書いてゐるやうでしたが、今にして思へばその時例の遺書を認めたのではないかと思ひます、翌朝七時に起き奥の院に參拜すると出て行き二十八日夜になつても歸らぬので心配してゐると、二十九日午前二時頃眞靑な顏して歸り、そのまゝ寢みましたが、寺では不思議に思ひ夜明けを待つて醫者と警察に屆けたのです

兇器はまだ發見せず

兇器の搜査に當つてゐた寺内刑事は第一回の失敗後、更に充分の準備をなし博士の陳述にもとづいて富士根橋下の流水部全面に亘つて嚴重なる搜査を行つたが、午後六時までに遂に發見することを得ず空しく終つた右兇器は本事件に對し、博士の立場を左右するものであるが既に昭和三年の大連に現れた說教强盗山中房雄事件の際にも馬欄河に投げられた兇器が三日に亘る搜査にもかかはらず發見されなかつた前例があり、必ずしも博士が虛僞の申し立てをしてゐるものとは思はれぬので、更に引つゞき搜査に努力が續けられる筈である

心中の現場

花筒の水で毒をのむ

【高野にて長谷部特派員一日發】邪戀の破局を血で彩つた近來の獵奇、博士邸殺人事件の主犯中薗と狂戀の勝美夫人が愛慾遊戲の終焉の地として選んだ紀州高野奥の院を訪ふべく、記者は三十日空路福岡着、特急にて大阪に到り一日朝旅裝を解く間もなく南海電車で

一路高野　に向つて急行した、先づ彼らが泊つた北室院に辿りついたのが、午前十時、阪神從秋の靈場高野山の朝風は肌につめたく清々しい、先づ北室院に來意を告げ番僧の案内で二人の最期場所である奥の院「カクバンドウ」に辿りついた、此處は奥の院入口から舊本道を約一町進んだ道の左側にある墓地の後方十米の小さいお堂で堂の入口には二人が最後の水を汲み乾した竹の筒が秋草の上にころがつてゐるのが一入哀れを唆る、觀音開きの扉をあけると中は二疊敷位のホノ暗い板の間だ、僅に雨露を凌ぐ位のお堂の周圍には無數の墓石が並び老樹の影が晝なほ薄暗く蔽ひかゝつてゐる

抱き合つ　て死を待つた二十七日夜この靜寂のなかに二人の當時の有樣がマザマザと想像される、即ち二人はお堂附近の花筒を拔きさつてお手洗の水を汲入れお堂内で花筒の水でアダリン五十錠を飲み廿九日午前零時まで昏睡し續けてゐたが中薗より目を覺し手拭に水をしませて勝美を介抱したので附近には今なほ手拭が殘つてゐる、なほ現場には濡手拭三筋、風呂敷二枚、ハンカチ一枚、新しい雨傘、チリガミなど雜然とちらばつてゐたといはれてゐる、傘は

廿七日朝　降り出した秋雨のなかを二人相合傘で此處まで辿りついたものと想像される

高井檢察官談

取調一段落と共に歸宅する事となつた高井檢察官を法院廊下でつかまへる

僕の口から何もいへない、君達に教へてやりたいのは山々だがあきらめてくれ、遺書に就いてだつて?あれは無いものと思つた方が好い、明日引つゞき博士を取調べるかつて?解らないと質問の矢をさけながら午後八時十五前頃自動車で自宅に向つた

取調べを受けた兒玉博士

昨夜八時頃まで兒玉博士を訊問

法院の物々しい警戒

博士邸における怪奇を極めた殺人事件はいよいよ法の鋭いメスによつて裁かれる事となり、こゝもさ正に本舞臺に入つた形である、大連檢察局高井檢査官は法院三階法院長室において一日午後一時過ぎより樂梨、川上兩書記を從へ兒玉博士につき

事實訊問　を行つた、折柄改めて取調べが行はれたもので、博士は入室後一回も廊下に顏を出さず神妙な態度で高井檢察官の取調べに對し事件の全貌につき諄々として自供するところあつた、時折高井檢察官の力强い言葉、低い博士の答辯がドアーの外に洩れて「高等淫賣の橫山……」「馬車で中薗と運んだ……」そんな言葉が漏り進捗したものらしく午後七時四十五分頃、ホッとしたやうな面持で高井檢察官が折鞄と調書らしいものを持つて出てくる、そして兒玉博士を沙河口署に連れ出す方法につき法院守衛に指示した上法院自動車で歸宅する一方、兒玉博士連れ戻しには相當苦心し新聞社の寫眞班を顧る警戒して全電燈を消

サイドカー疾走中胡藤に激突顚覆

一名卽死、一名重傷

市内但馬町十六番地松下ナツ方に下宿して瓦房店機關區より鐵道教習所に入所中の田中武二(二五)は、豫て自動車練習所で顏見知りの市内聖德街四丁目中村久吉の長女、滿鐵總務課文書係勤務タイピスト久代(二一)並びに次男照夫(一三)の兩人を誘つて一日午前十時半サイドカーを運轉龍王塘にドライヴし、記念撮影などなし樂しく遊んで午後零時半頃歸途につき黑石礁近くの白波橋に差しかゝつた際カーブを切り損なつて直徑三寸のアカシヤに衝突し勢ひ餘つてアカシヤを折つて二十尺の橋下に轉落、久代は欄干に衝突頭部を粉碎して卽死し、田中と照夫の兩人は橋下にサイドカーと共に落ち田中は瀕死の重傷を受け、照夫は幸ひにも擦過傷で人事不省に陷つてゐるのを通りがゝりの滿洲人が發見、直に星ケ浦派出所に急報したので沙河口署より係員が現場に急行し同滿病院に收容、應急手當の上負傷者は大連醫院に移したが、田中は生命危篤である(寫眞上より久代孃、田中君、照夫少年)

變な家宅侵入眞相

不良靑年のいたづら等の噂と舞込み搜査に疲れた署員を賣つてゐるが、中に一つ生氣の毒な話がある、眞金町滿電監査係中居氏(假名)は六月以來奥地に出張中であるが最近歸連し、圖らずも妻……(假名)より中居氏が留守中……聖德街……石川縣金澤市現在……九居住民政署勤務柿本二郎……夜中無斷で忍び込み、熟睡……るたか子に怪しげな振舞ひ……

臨時競馬

第五日目成績

發動機船顚覆慘事

四十名行方不明

早川巳之利氏

はこの機關車脫線

謹告

(九月中就職決定者)

英邦文タイプライター科卒　滿鐵本社總務部文書課採用　森脇
英邦文タイプライター科卒　大連稅關附採用　立川
英邦文タイプ及邦文速記科卒　赤峰日本帝國領事館附採用　龍山
英邦文タイプライター科卒　大連稅關附タイピストに採用　松井
同科卒　日滿電信電話會社文書課附採用　澤
同科卒　滿洲國吉會線鐵路局附採用　茶木
同科卒　大連稅關附採用　刀根
英文タイプライター科卒　日滿電信電話會社附採用　高木
英邦文タイプライター科卒　インターナショナル・トレーヂングコンパニー附採用　本田
同科卒　國際運輸會社齊々哈爾支社附採用　加藤
同科卒　大連稅關附採用　荒川
同科卒　日滿電信電話會社文書課附採用　石丸

滿日各地版

小學校教員と ダンサーの爛れた戀 女の夫から說諭願

【奉天】なすな戀、踊るなダンス 奉天にもダンス故にもたらした悲しき情痴の沙汰がある、男は元奉天某小學校教員池田初市(三五)女は某ダンスホールのダンサー井上豐子(二三)=假名=である、池田は去る九月七日それが起因して自らその

職を辭して 浪速通りの某カフエーの帳場として働く身となつた、豐子はダンサーを止め男と同じカフエーに女給として働く事となつた、然るに三十日その女の夫である今村晴男(現在ハルビン居住)より奉天領事館警察へ妻の亂行に對する說諭願より戀の破綻は訪れて醜き情痴の沙汰を暴露した、卽ち女には二人の女兒あるが夫が二、三ケ月前よりハルビンへ赴いた不在中に市內某ダンスホールに働く事になり、愛兒はその前に故鄕の夫の母の許へ返し再び來奉して働く中、知り合つたのが池田である、而して池田の同情で彼女は更生への道へでも出たかの如く子供あり、夫あり、そして

義母ある 身を忘れて彼女は美貌の池田へと走つたのだつた彼女の夫はハルビンにてこの由を聞き興奮する氣持を抑へてたゞ母にさうした妻の不行跡を許して子供の許へ歸るべく三十日奉天領事館警察へ妻の說諭願を出した譯だが、たゞれ切つた二人の戀は死んでも離れじとしてゐるといふ

市民講演會が午前十時より正午迄行はれ午後一時より三時迄教育館……七時より八時迄……て幻燈講演宣傳其の他諸種の催し物をして秋晴れの一日を盛大有意義に濟ました尚滿洲側各官廳は廿八九の兩日を休暇として此の日を記念した

航空廠の代用官舍上棟式

【奉天】關東軍野戰航空廠代用官舍二百戶及その他新築工事上棟祭が現地において三十日午後四時三十分關係者及び多數知名士參列の上盛大に擧行された

吉海線へ慰安列車

【奉天】道路總局では沿線各地の住民を慰安のため瀋海奉山、敦圖吉敦の各線に亘り順次慰安列車を運轉してゐるが三十日、一日附吉海線の磐石驛まで訪問し終了後は吉長、呼海兩線を訪問一先づ今年度の慰問列車を解體するが來春は洮昂齊克四洮の各線に亘つて行ふ筈である

炭都に舞踊場 近く出現の運び 保安係の粹な裁きに モガ、モボ連大喜び

【撫順】一昨年ダンス教習所が現れ、さゝやかなホールにメロデーとステップを躍らせ山の手の有閑マダムや街のモボ、モガ連を嬉しがらせてゐたが、街のロートル達から抗議が出た上このホールをめぐつて權利爭ひが捲き起り何時かこのホールは閉鎖されてしまつたロートル連の安堵に引替へモガ、モボたちは憂鬱になつた、ところへ突如この街に本格的な大ダンスホールが出現することになつた經營者は現在奉天でダンス教習所を開いてゐる白石龍二といふ人、資本金一萬圓で撫順目拔きの千金大街に建坪百坪の大ホールを建てやうといふのである、一部は從來の建物を改造するが更に大增築を加へ建築はモダンに豪華な照明が施される、ダンサーはさし當つて二十名、男舞踏手二名、樂手十名といふ陣容である

この許可申請を受けた撫順署保安係ではさて許したものかどうかと過般來研究中であつたがダンスの弊害は認める、しかし時代の潮には勝てないといふことに意見が一致し近く正式に認可を下すことになつた、撫順の街に再びジャズとステップの物狂はしい交錯が惱ましく行人の胸をかきむしることだらう。

墜落機搜查打切 凡ゆる努力も水泡に歸す 十月三日、旅順水交社で 葬儀執行さる

【旅順】九月十五日午前八時過ぎ旅順港外栢嵐子沖にて遭難墜落した特務艦能登呂搭載偵察機發見に就ては事故勃發と共に能登呂を始め關東州水產組合旅順支部所屬トロール船其他に依り極力搜査に努めてゐたが、遂に發見するに至らず搭乘の今井大尉、功刀三等航空兵曹も殉職と認定され、本三日を以て今は悲しくも旅順水交社にて葬儀を執行する事となつた

殉職者略歷

今井今吉大尉 性來豪膽機敏スポーツは大尉の最も愛好得意とする處で柔道は二段、水泳は本艦の選手であり野球、庭球の如きは立派な技倆を有してゐる、原籍は新潟縣古志郡栃尾町甲九九にて留守宅には兩親の他實兄二、妹さんが一名ある、昭和二年三月兵學校卒業少尉候補生として軍艦磐手に乘組同年十二月衣笠、翌年三月霞ケ浦航空隊にて講習を受け十月少尉に任官され、昭和四年軍艦陸奧同年十一月第十五驅逐隊、昭和五年の特別海軍大演習に參加十二月中尉に進級館山航空隊へ轉補、七年神威に乘艦、能登呂へは本年の一月この間砲術、水雷學校に學び前途有爲の青年將校で氏が昭和六年十二月から遭難の日迄の航空時間を通算すると實に八百時間を示してゐる

功刀兵曹 性溫厚、綿密で研究心に富み非常な讀書家、柔道一級、山梨縣中巨摩郡花輪村西花輪一一二二で鄕里には兩親の外實兄一名あり、昭和五年橫須賀海兵團へ機關兵として入營、同年十月軍艦靑葉、翌六年霞ケ浦航空隊、十二月二等機關兵、七年三月二等航空兵として館山航空隊、同年十一月一等航空兵に進級、本年一月能登呂乘組を命ぜられた、今回の遭難迄の航空時間は實に六百時間を有してゐる

能登呂艦長 桑原大佐談

遭難以來各方面殊に當地水產會には全く感謝に堪へない本艦もあれ以來今日迄あらゆる方法を講じ搜査しつゝあるが未だ發見出來ないのは甚だ遺憾である、フロートの如きは機體より二倍の浮揚力を以てゐるから普通であれば今日迄の搜査で多少の效果はある筈であると想はれるが、若し岩と岩の間に海中深く突入してゐるとすれば、一寸困難であらう、今井大尉、功刀兵曹も八百乃至六百時間の航空記錄を有する者は現在として中堅處の者で實に殘念に堪へない、這般行はれた海軍大演習にも參加し猛烈果敢實に貴重な體驗を得た丈に殊更遺憾の點が多い、今日の航空は絕對に墜落の如き點は懸念されないと云ふ時代で、但し演習中における危險のみが殘されてゐるので今回の遭難も他の場合であつたら又あきらめもつくが、本人は勿論自分としても諦められない遺族の方々へも心中切に御察しする遠方から態々來られるので御氣の毒に思つてゐるが兎に角今迄起居を共にしてゐた戰友並にその土地で葬儀を行はれる事は殉職者の靈を慰むる最上の途であると思ふ

吉林の孔子祭

【吉林】二十八日の孔子秋祭に對する當地の催し物は孔子廟に於て盛大なる仲秋上丁祭が擧行されたが此の日民衆教育館主催協和會市政籌備處其の他各機關合同の孔子

兵器廠員の目ざましい活躍 廠長鈴木大佐語る

【奉天】第一線に立つ皇軍銃後のため滿洲事變來武器彈藥の補給に修理一切を引受けて最前線の各部隊の活動に少しの支障も來さなかつた努力の結晶である關東軍○○兵器廠の活躍は眞に涙ぐましいものがある、二十九日兵器廠第一期新築工事の落成式を盛大に擧行した後で廠長鈴木大佐は語る

第一線の下の力もちといふ言葉が實社會にあるならば我々の職務である第一線の將兵が後顧の憂ひなく思ふ存分の働きが出來るのは兵器廠員の獻身的な努力の賜である、日曜、祭日においても僕は廠員を休めてやらうと心に思ふてゐると部下は「廠長第一線の將兵が一生懸命で戰つてゐるのです、私どもは休みがあつてはならないのです」と一日として休暇をせないといふ有樣で事變來廠員は全力をあげ武器彈藥の補給に當つて來たのである今後は日本軍及滿洲國軍の國防のために銃後の人として大いに働くといふ決心であるが、馬賊の討伐などは問題でない、吾等國民として且つ軍人として最も愼重に世界の大勢を熟視し國防上の缺陷あらしめてはならないのである、熱河の聖戰、東邊道から北滿の各部の轉戰に非常に役立つた自動車隊の如き自動車の活動も目ざましいそれらの修理から製作についても第一線の部隊が安心して戰鬪のできるやう計畫を立て、置かればならぬ、幸ひ廠員一同は異身同體で晝夜兼行で働いてゐる

城大軍再び敗る 對滿洲醫大柔道試合

【奉天】過日奉天で擧行された醫大對京城帝大の競技大會で敗れた城大柔道部選手は雪辱のため三十日來奉、同日午後三時から健武館において醫大と柔道試合を擧行し火花の出る大接戰を續け更に城大軍力戰したが及ばず醫大軍不戰三名を殘し城大軍再び敗れた、午後四時半閉會したその成績左の如し(○印勝×印分け)

醫大軍	城大軍
×○○島	辰川
×大野	武居
×山野	×金野
×○○佐藤	×松村
○阿部	×清水
菱沼	星野
○川畑	玉田
○山根	×羽熊
不戰 松澤	江田
同 串田	○○末田
同 林	○福島

潛行運動の 鷄冠山地委戰

【鷄冠山】十月三日の投票日も目睫に迫り無風帶鷄冠山もさすがに地下運動が行はれ始めた模樣である、當地の立候補者は用意周到にも先づ心あたり運動を開始して名乘りをあげず直前に至りて疾風的に立候補を宣するものと見られ、未だ豫想がつかず、滿鐵側も五名ほど立候補するらしく全部が當選さすため市中側へも地盤獲得のため猛運動を開始した

先づ豫想を述ぶれば市中側では現地委の元老株たる吉竹篤次郎氏の出馬は確實で市中の地盤と滿人一部に依り選出される見込み、次に御家繁昌旭日昇天の上田豐作氏は今年新顏として立候補し警察關係の地盤で猛運動をなしてゐる、この間に日和見の小笠原滿電氏と地方事務所及び學校、滿人一部の後援の少壯鬪士小杉輝男氏がある、滿鐵側では機關區の大御所鈴木主任、乘務員會を背景の貞包良一氏、新顏にしては地盤確實で鼻息荒く前祝をしても良い方、驛方面は木村驛長、今井助役と共同戰線を張つて保線及貨物關係方面と市中に必死の喰ひ込み運動らしく、人數の潤澤ならざる驛としては運動も自然廣範圍にわたるも止むを得ない、異彩を放つは鬪志滿々たる保安區會……氏の立候補で事變以來激增した保安區員の地盤を持つ氏としては今一歩保線にでも昔の緣で運動をすれば、これ又樂觀を許さぬ好試合だらう、かく定員六名を漸く越ゆる程度であるが各候補とも是非とも當選の榮を擔ふべく今や潛行運動白熱化し信望を超越したる實力の戰ひが展開されてゐる、滿人候補は例年の如く商務會長謝梓沈氏の出馬で當選も確實であらう

奇しき緣 戰死將校の石碑 行軍中發見さる 撫順青年團再建を決意

【撫順】過般撫順に宿營した○○部隊が奉撫新設道路を行軍中計らずも過ぎし日露役に名譽の戰死を遂げた某工兵中佐の碑を發見し、この程同部隊より撫順青年團に宛て右の碑は奉撫道路の中間「小仁屯」部落の山頂にあり、現在石碑は二つに折れ、上部の工兵中佐の氏名は判るが、下部は土に埋もれて判然せない旨通知し來つたので撫順青年團は近く現地を視察した上でその墓碑を修理し勇士の英靈を慰むると

念の入つた自轉車泥棒

【奉天】二十九日午後一時頃浪速通四十番地小野洗布所の自轉車が八幡町圖書館前で盜難にかゝつたので心當りを搜査中、同日午後四時頃小野洗布所に一邦人が自轉車を持ち來りこの自轉車を七圓で買ふから買はぬかとのことで、小野方でも餘りに安價であるので不審を抱いてゐると千代田通り二十五番地山田商店々員武藤から「自分は二十九日午後一時正隆銀行前で自轉車を盜まれたがあなたの所の自轉車が正隆銀行前に放置してあります」との電話があつて更に不審を抱き武藤を呼んで取調べて見ると八幡町圖書館前で小野洗布所の自轉車を岩手縣生れ住所不定無職小原武夫(二〇)が盜み、その自轉車を正隆銀行前に持ち行き前記武藤の自轉車ととりかへ自轉車盜難にかゝつてゐる小野洗布所の持參し早速これを賣り飛ばさんとした事が判り、直に小野洗布所の店員に逮捕され本署に突き出された、目下嚴重取調中であるが彼はこの前も自轉車を窃取し奉天署の留置場にブチ込まれ二十八日「全く改心しました今後は決して惡いことはしません」と涙ながらに係官に誓つて出て行つたものでその翌日この訓戒もケロリと忘れたかの如くこの始末に及んだのである、尚取調べ終了と共に身柄は領事館警察署に送られた

北部國境調查隊 消息漸く判明す

【滿洲里】滿洲里稅關北部國境調查隊は八月二十九日滿洲里を出發し、その後約二十日間を經過すれども何等の消息なきところ、七月二十五日蘇泌より調查隊出發以後始めての消息に接した、その通信の概略を記せば次の如し

第七日目卽ち九月六日午前十一時頃カイラスツイー部落を通過す、第九日目ボブチ部落に入らんとしたとき蘇聯監視兵現れ調查隊に云ふには

「現在國境調查隊の通つて居るところはアルグン河の支流であつて卽ち蘇聯內である、本流迄は約二十粁ばかり有る」それで一行は纜で舟を引き流れに逆行して四粁ばかり進んだが一向本流らしきものを見ず見えない筈である、ソ聯監視兵の云ふ本流とは只形あるだけで、水は流れて居らず一見誰が見ても本流とは思はれない、アルグン河の本流が蘇滿國境を分けて居る以上、この種の問題は將來國際問題として當然重大化するものではないかと思考される、かくして一行は九月十七日七卡に到着し蘇泌に始めて通信するを得た

なほ一行が航行中特に感じたことはソ聯部落の人家にはほとんど燈の上るを見ず、滿洲國のそれとの比較して非常に落寞たるもの有りと一行の航行狀態及調查完了後の收穫は時節柄各方面より非常に注目されて居る

蘇家屯小學校運動會

【奉天】奉天、蘇家屯各小學校聯合陸上競技大會は三十日午前八時から奉天國際運動場において擧行された、參加校は春日、加茂、千代田、彌生、敷島、蘇家屯の各小學校それに普通學校兒童四千餘名で絕好の運動日和に惠まれ尋常一年生から高等科生に至るまで體操會で妙技を演じてゐたが、午後はセンターボール、ハンドボール等

橫領店員自首

【奉天】惡事を働き良心の苛責に堪へず遂に奉天署に自首した邦人──山口市米屋町生れ住所不定無職岡本正義(二三)は本年八月松島町十三番地の小柳印刷店に外交員として雇はれて居た所同月二十二日主人の命で滿洲國警備司令部に集金に赴き三十圓九十錢を受取りそれから城內野戰兵器廠に注文に行つた、そこで待つて居る暇に同廠入口にあるカフエーで三圓の飲食をなし乘つて來た自轉車を附近の邦人宅に預け朝鮮料理で五圓を消費し金平に一泊して廿四日滿洲國教導隊に行き小柳の名義で領收證を作り七千餘圓を受取りそれから各所を轉々しカフエー料理店で所持金全部を消費し姿をくらまして居たが一日も安心して寢られないといふので「今後は改心致しますから何卒よろしく御願ひします」と奉天署に自首して出たものである

吉林の寒さ 零度となる

【吉林】當地では早くも冷風吹き亘りて松花江の河幅も急激に狹くなり二十六日夕刻より急激低下せし溫度は二十七日早朝になりて零度になり各家庭では冬物の衣類を取出すやら大騷ぎであつた

鐵嶺遼陽兩地 登記事務

【奉天】鐵嶺、遼陽兩領事館閉鎖後の一般事務は奉天總領事館に併合され登記事務のみは奉天より毎月一日十五日の二回司法領事が同地に出張し登記事務を取扱つて居たが、大谷副領事の本省歸朝後手不足となつたので十月一日より遼陽鐵嶺兩地方の登記事務は一切奉天に於て取扱ふ事となつた

橫山理財課長

【安東】橫山關東廳理財課長は二日來安三日午後四時から公會堂で關係方面及び一般有志のため外國爲替管理法に關する說明講演を行ふ筈である

遼陽片々

▲鞍山守備隊上等兵太田四郎平君は遼陽衞戍病院で二十九日夜戰病死三十日午後三時半から同院で告別式が執行された▲菱刈關東長官は三十日はさで過遼北行した時局委員其の他官民の主なる向が停車場に送迎した▲地方事務所社宅係藤山貞四郎氏は大連本社總務部調查課へ三十日附榮轉の旨發表された▲滿鐵地方課主催の滿洲國人慰安映畫は三十日午後七時から小學校々庭で催された▲哈爾濱で開催の第十七回全滿商議聯合會に實業會からも代表者出席の筈であつたが種々差支があつたので今回は見合せたと▲地方委員選擧も期日切迫迄定員に滿たぬ靜かさであつたが前日になつて萩岡彌次郎、西茂、松田德次郎の三君が立候補したので遂鹿界は俄然緊張結局八名當選二名豫備員と云ふ事になつた

旅順放送

▲在朝陽赤峰衞戍病院長として該地へ赴任した矢澤一等軍醫正は去る二十一日無事着任せるを以て三十日在旅各方面へ挨拶狀を寄せて來た▲永年第一小學校訓導をしてゐた伊藤儀右衞門氏は病氣の爲め今回退職專ら靜養に努むる由▲歸旅中であつた關東軍囑託、鮮銀赤峰派遣員山川康德氏は豫定を早め三十日一番列車にて再び出發した▲二十八日午後零時五十分頃二〇三高地と赤阪山中間の西斜面中腹中から發火約二千坪にある二年生黑松一千本、五、七年生松樹一千本を燒失し部落民の消火に依り同一時半鎭火した原因は同日戰跡見學者の煙草吸殼から損害取調べ中▲柳町一九ノ一吉里眞恒氏方では十三日二男眞樹君が出生▲佐倉町三ノ四〇警務局高等課勤務吉本龜助(五〇)氏は胃癌にて入院中二十八日死亡二十九日新市街佛教會館に於て葬儀が執行された▲東鄕町椋尾靜枝(九)二十九日腸チフスと診斷▲常盤町大河內氏方油井英二(一八)同日赤痢▲伊地知町二二伊藤滋(一八)同上▲高千穗町橋本ユク(五一)三十日腸チフス

大連 JQAK 十月二日

▲午前六時 ラヂオ體操第一▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二▲午前十一時 相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)▲午後零時十分 相場(錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場値段)ニュース▲午後三時三十分 相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)ニュース▲午後六時 ニュース▲午後六時三十分 獨逸語講座「テキスト第八十三課」大連語學校講師荻榮▲午後七時 セロ獨奏(イ)小夜樂チヤイコウスキー作品第二十五(ロ)セレナーデ(シエニール作)(ハ)秋の薔薇(ペッケル作)シレフ、ピアノ伴奏メデウ・エフ夫人▲午後七時二十分 落語(東京より)「長者番付」柳家小さん▲午後七時五十分 新日本音樂(東京より)未定▲午後八時三十一分 職業紹介事項ニュース、氣象通報

東京 JOAK 十月二日

▲午後六時三十分產業ニュース▲午後七時管絃樂(新交響樂團練習所より中繼)日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット(一)ハンガリア狂詩曲第二番(リスト作曲)(二)スペイン狂詩曲(シヤブリエ作曲)

滿洲日報
十月一日發行

蘇聯の進出に對抗し 舊東北軍を新疆移駐
南京政府の一石二鳥策

【上海特電一日發】ソウエートの新疆省經略は着々進捗し最近共產黨的色彩を有する華僑約二萬を集めてこれを新疆省塔城方面に移植する計畫を立てた、これに對して當地の回教徒は不安を抱き國民政府に對してその對抗策を請願して來たので政府は協議の結果、舊東北軍が既に結束力を失ひ中央に反抗する氣力なきに乘じてこれを新疆省に移駐して邊防に當らしめ、併せてソウエートを牽制する策を取るに決した、しかし十萬餘の大兵であつて輸送も容易でないと見られるが、政府はこの機會に一擧に舊東北軍處理を斷行する決心である

菱刈關東長官

【新京電話】關東廳政務監督の爲旅大方面に旅行中であつた菱刈關東長官は三十日午後七時五十分巽參謀、鶴原、鶴見兩秘書官、今關副官を從へ新京に歸任した

日印新條約締結討議
日印條約一ケ月延長協定成立

【シムラ三十日發國通】三十日の日印會商で日印條約一ケ月延長の暫定協定成立したので討議は新條約締結の本質的問題に入り、我方より綿糸布關稅引下の提案をなし輸出統制の用意あることを表明した之に對し印度は考慮する事を約し本日は散會したが、印棉ボイコット問題には觸れなかつた模樣だ

【シムラ三十日發國通】三十日の第三次日印會商は午前十一時より開會、愈々本格的討議に入るので會議双方代表頗る緊張した面持で會議に臨んだが、殊に本日より印度政廳側首席代表ボア商務長官も始めて出席し双方代表の顏觸れが揃つたので極めて實の入つた討議が行はれた、會議劈頭議に日本側より提議した現行條約延期問題が議に上つたが、右に關しては既にロンドンにおいて松平大使と英外務當局の交渉により一ケ月延長し、右期間內に纏まらない時には更に延長するを得との諒解が成立したので右諒解通りにする事に決した、次いで我代表より綿製品に對する七割五分の關稅は高きに失するを以て之を五割に引下げられたしとの提案を爲し、それに就いて日本側は輸出統制の用意ある事を表示した、之に對し印度側は即答を與へず愼重考慮すべき事を約して正午散會、次回は十月三日再開の筈

きのふの第三次會商
コムミユニケ

【シムラ三十日發國通】三十日の第三次日印會商後、左の如きコムミユニケを發表さる
本日の日印會商は日印新條約に關する審議を行ひ、期間中現行條約を存續する可能性に關するものであつた、而して現行條約廢棄通告は期限滿了の十月十日以前に最終決定に到達する如きことはあるまいといふのが双方の認むるところであつた
更に印度側から
一、現行條約は十月十日より向ふ一ケ月有效とす
二、其後延長か否かは交渉進展の程度に照らし考慮さるべしとの提案あり、日本代表はこの提案を受諾する用意ある旨言明した、從つてこの協定は外交文書の交換によつて效力發生する筈、更に日本代表は綿製品に關する或種の提案をなし印度は考慮中である

佛投資團の希望と 滿鐵の態度愼重
昨日重役會議に附議

フランス投資團代表ドリヴイエ氏はその後引つゞき大連ヤマトホテルに滯在、屢々山崎滿鐵理事と會見して交渉を進めてゐたが、二十八日は飛行機にて奉天に赴き駐奉フランス領事と打合せをなして二十九日再び飛行機にて歸連、三十日は午前中滿鐵本社に折柄北滿地方視察の途より歸任した八田副總裁を訪れて會談少時にして引揚げた、この結果に基き滿鐵では同日午後二時より重役會議を開き本問題につき種々討議するところがあつたが、本問題は副總裁が北滿視察に上る前にフランス側より具體的提議あり、これに對し滿鐵では新京方面とも打合せ又山崎理事が專門委員格で下協議を行つてゐるので滿鐵側より

諾否回答

をなす順になつて居りそれだけに愼重な態度を持してゐる模樣である、なほフランス側の提案及びこれを中心としての下協議の內容は極秘に附せられてゐるが、大體フランス側は同國の有力な經濟團體たる海外發展協會が母體となつてフランス側の法律による一個の對滿投資會社をつくり、これが滿鐵と共同投資の形式によつて滿洲國の法律による企業會社を設立する計畫らしく、卽ちフランスより資本と人とを持つて來て事業を營みそれによつて利潤を得んとするにある、しかして傳へられるところによれば滿洲國および特務部では本計畫に對し門戶開放の見地より好意を有し右企業會社に對して相當纏まつた事業を轉貸はしむる內意を傳へて居るといはれ

第一着手

の工事としてはハルビンの水道工事があげられてゐるが、投資團側では引續き各種の事業に關與したき希望を有してゐると、なほ新企業會社はフランスと滿鐵との資本より成るが、大部分はフランス側が出すべく、滿鐵は比較的少額の出資をなすにとゞまり主として事業の手引き、調查、連絡等の任務に當るべく、滿洲國としては建國以來最初の外資流入であり滿鐵としても前例ない事業なのでその成否は興味をもつて見られてゐる

諧謔小說『青空ホテル』
近日から本紙朝刊連載

本紙朝刊八面に目下連載中の畑耕一氏作「颱風圈內」は好評のうちに愈々完結するので次は新進諧謔小說家として鋭才を現して來た近江帆三氏の力作「青空ホテル」を近日から掲載いたします、挿繪は吉邨二郎氏に委囑し兩者相俟つて紙面に朗かなユーモアを横溢さすことにしましたから御愛讀下さい。（寫眞は近江氏凹版は吉邨氏）

作者の言葉

「青空ホテル」といつても別段ルンペンの生活を描くわけではない。
われ／＼は青空の圓蓋の下の、大きなホテルの居住者である。このホテルの中では、さまざまの居住者がさまざまの生活をやつてゐる。その生活の中から、ユーモラスな場面を失敬して來て、こつそりと讀者の皆樣に提供して、お勤めの疲れ、お仕事の疲れを慰めようとするのが私の心願である。どれほどの話題を提供することが出來るか、ちよつと心配であるが、男一匹、腕によりかけて笑の爆彈をせつせと製造しようと思ふ。
どうか、横にでもなりながら、お樂にお讀み下さい。

電報料引下要望と 拓務、遞信當局態度
櫻內陳情代表歸來談

滿洲電信電話會社の電信料引下げ運動のため在滿實業家を代表して中央に陳情中であつた大連五品理事長櫻內辰郎氏は一日入港のほんこん丸にて歸連したが船中語る
十九日東京着以來二十日日本商議役員會に出席、電信料問題につき協議の結果、日本商議では電信料の引上げは日滿貿易の發達を阻害すること大なりとして電信料引下陳情をなすことを決議、各省に陳情致しました、一方私は二十一日永井拓相に陳情しましたが拓務省では影響の意外に大なるに驚き料金還元に極力努力するやう言明致しました遞信省では然し先方より新料金制定の事情を詳細說明し今暫く會社の業績が擧がるまで待つてくれるやう懇談を受けました、然し今日私は此等の事情を詳しく聽取すればする程今回の料金の引上は穩當でないと云ふことを痛感致しました、內地の民間では大阪、神戶、名古屋の各商議始め大阪日滿經濟協會、神戶におけるラシヤ商組合、鐵工組合、ゴム工業組合、海陸產物組合、輸出絹織物組合、貿易組合、呼輪業組合等は擧つて滿洲側に應じて起ち料金引下げの運動を起しました

駐波公使後任
伊藤述史氏決定

【東京一日發國通】河合公使の逝去によりポーランド公使後任につき國際聯盟帝國事務局次長伊藤述史氏を任命するに決定し、アグレマン到着を待つて發令することゝなつた、事務局次長の事務は當分ベルギー大使館參事官橫山正幸氏をして代行せしめる

米露最近の態度
日本人の宣傳は線香煙花式
頭本元貞氏來連談

滿洲に關する歐米人の認識を是正すべく事變以來十數種に亘つてパンフレットを編纂、新興滿洲國の爲に大いに盡すところある我國英文學界の耆宿頭本元貞氏は一日入港の香港丸で來連した、船中語る
事變後毎年來てゐる、昨年は一月に來たがまだ建國匆々で混亂を極めてゐた、今度の來滿こそ何かしつかりした收獲がある樣な氣がする、全く個人の資格で來たもので發達過程の滿洲をよく見た上引つゞき書きたいと思ふ、日本人はどうも宣傳と云ふものについても線香花火式で、一度宣傳をしたり演說をしたりして事足れりとする惡習があるが、宣傳なんてものは手を緩めずに次から次へグン／＼押して行かねばいけない、その意味から私も滿洲國の動きにつれて宣傳したいと思ふ、新京、ハルビン邊りまで行くが出來たら熱河へも行きたいと思つてゐる、歐米における對滿認識は最近大分好くなつて來た、アメリカの如きは雜誌新聞なその論調も大分變つて例のスチムソンの如きも小非道くやられてゐる、廣田外相には會つてゐないが、聲明されたところによると飽までアメリカと協調して行く方針らしいが、非常に好いことだと思ふ、上海事件に際し皇軍が手際の好い引揚げ方をしたのもたしかに效果的だつた、恐らくキウバへはアメリカの軍隊が上陸するやうになると思ふが、その時こそ日本が滿洲でやつた行爲が判然と理解出來ると思ふ、外蒙を手に收めたロシアがどこまで手を伸ばして行くか疑問だがロシアがおつかなびつくりしてゐる有樣はよくわかる

新京地方委員選擧

【新京電話】首都新京としての最初の意義ある地方委員選擧は愈々一日午前八時より新京室町小學校講堂において投票を開始されたが今回は定員十六名に對し立候補者二十六名あり且つ候補者中前任者は三名、元委員一名の外は全部新顏で本年有權者確定數二千八百八十四名の投票をより多く獲得の爲過去一ケ月間新京始まつて以來の猛烈なる選擧戰が演ぜられその結果は非常に興味を以て見られてゐるが一日は快晴に惠まれ且つ日曜日のこととて投票者の出足も頗る好調で、午前中に投票せる者既に半數を超えたが午後五時締切直後直に開票のはず

市政記念の祝典
けふ民政署貴賓室で擧行
十年勤續者を表彰

大連市政第十七回記念祝典は十月一日午前十一時半より民政署貴賓室にて開催、小川市長始め市理事者および市吏員、大內市會議長始め市會議員、各區長ら約二百名、御影池民政署長、同各課長も臨席し十年勤續者たる衛生課巡視の布施源次郎氏に表彰狀を授與し、小川市長より被表彰者に一場の訓示を與へて被表彰者より答辭あり、右表彰式終つて直に市會議場にて市政記念祝宴を開き小川市長の挨拶ありたるのち大內市會議長の發聲にて大連市の萬歲を三唱し十二時撤宴した

うすりい丸船客

【門司特電一日發】三日大連入港豫定うすりい丸主なる船客諸氏
北大教授理學博士鈴木醇、東京外語校長戶澤正保、滿洲電信上野虎藏、日滿觀光會社佐野茂、司法保護事業幹事長齋藤仙太郎、橋本基、寫眞業佐野濱次郎、會社員上戶野孝、三菱井上毅、野上彥市、硝子業清水基二、中原茂敏、長谷川吉次、吉田親數、阿部鷹之助

村田博士講演

滿洲學會例會は二日午後四時半大連圖書館に於て開催、左記の講演あり一般の來聽を希望すと
「熱河省の古建築物に就て」工學博士村田治郎

▲太田久作氏（鐵路總局次長）日午前九時發はとにて歸任
▲都築一郎氏（新潟港務局）一日午前十一時出帆の大連丸にて上海へ
▲佐藤庄四郎氏（外務省官）日午前十時出帆はるびん丸にて離連
▲中川四朗氏（滿鐵鐵道部調査係主任）同上
▲エイ・ダヴリウ・アールラー氏（大連駐在英國副領）同上
▲宮崎正義氏（滿鐵經調第查）同上
▲沼田多稼藏中佐（關東軍）同上
▲內藤太郎氏（陸軍省經理局）同上
▲日本女子青年團一行十八名日午前十一時半入港の吉
▲藤井元一氏（上海中公司）
▲米內山庸夫氏（新任海拉事）初子夫人同伴一日午
▲頭本元貞氏（ヘラルド・オ主幹）同上
▲山田浩通氏（東亞印刷會務）同上
▲牧野豐助氏（住友合資顧問）上歸連
▲櫻內辰郎氏（大連五品取引事長）同上
▲安藤榮城氏（旅順要港部佐）同上
▲鈴木勝三郎氏（三井物產）同上
▲橋爪克爾氏（セール・ブス社員）同上
▲安田千松氏（米子商議理事）

黑龍江上流を觀る
スンガリーよりアムールへ
（下の二）
駐滿海軍部司令部 海軍一等水兵　板津芳一手記

黑河第三旅司令部に男三名、女三名捕はれて居た、その女の一人は二十歲位で兩親は蘇支戰爭前に滿洲國內に逃れて居る、彼女は「ソウエート」聯邦では「マッチ」工場で强制勞働に服して居た月給五〇留で朝夕の食事は政府より支給するものを食つて居たが、晝食は自分持で工場內で二留で食べれるが、月に節約しても一〇留だけ不足する、日用品、着物などを買ふと思へば、晝食を廢めなくてはならぬ、或日夕食に受けた「パン」一片を洗濯中であつたため、食はずに棚に上げて置いて洗濯後取りに行つたらば、もう無くなつて居たと云ふことである。
彼の女はこんなに働いても充分に喰へない國に居るより隣の滿洲國に行けば懷しい父母も居るし、食べるだけでも食べられると思つて前後の考へも無く岸邊にあつた木片によつて流れて來たと言つて居た。

……◇……

次の事は黑河對岸「ブラゴエシチエンスク」にあつた事である、「ブラゴエシチエンスク」の[illegible]長格の家族の誰かが、食料支給の傳票樣の切符其の日一度受け取つたものを書き直して食料配給所に持つて行つたが、配給所に於て發見し取り上げて主人に來る樣申し渡した、主人は家族の言にてそれを知り困却の末三日間食はずに居たが遂に一家全部自殺したと云ふ
尙同人は「ソウエート」聯邦內に於ても有數の共產黨主義者であつた、月給五〇〇留を受けて居たが家族が多く物價が高いため月五〇〇留では家族が滿足するだけ充分に食を與へる事が出來ないため斯る悲慘な事が起きたのである。

……◇……

今一つは國境脫出の喜劇である
十月の終り頃には黑龍江は結氷し始める、この結氷期間河の中央深所の氷に穴をあけて兩國の住民が汲みに來る、住民は大きな水槽を馬車に積んで居て水槽に水を取つて居る、或る時水槽の中へ妻子をつめ込んで自分は馬の口をとつて「ゲ、ペ、ウ」の目をくらましまんまと滿洲國に逃れたと云ふ、其の後數回これをまれたが「ゲ、ペ、ウ」に發見されて捕へられたり、射殺されたりして、不成功に終つたと云ふことである、これ等の事を考へても共產黨主義が如何に惡いかは想像がつく。

……◇……

途中各寄港地では皆上陸し日章旗を立て、驛艦、商農會等を訪問した、八月十二日黑河に到着した、同江、漠河の間では一番立派な都で日本の特務機關や日本人經營の旅館もある支那式浴場劇場など相當の設けも備へてある、小林司令官は滿洲國騎兵第三旅司令部を訪問された、棧橋より同司令部に行く道筋約六支里の間公安局の巡捕同司令部より出した兵士によつて櫛の齒のやうに並んで蟻一匹も漏さぬ嚴重な警戒であつた私達は同司令部の好意で滯在中同司令部に宿泊することになり、小林司令官と幕僚一名の方は當日飛行機で新京に歸られた、私達は船の疲れを休める心算で早く床に入つた、夜中に南京蟲の襲擊に遇ひ之には一寸私達も閉口した、十五日佐々木少佐一行と私達三名は更に離船「紹興」に乘つて滿洲國最北端漠河まで溯江することゝなつた
黑河は黑河の奧地、漠河、吉拉林方面より產する砂金の集散地であつて每月三十貫匁以上の砂金をハルビン方面に移出して居る、風俗も一定して居るのではなく支那風、ロシア風種々あつて面白い眺めである、支那特有の浴場へ私達は見學旁々入浴に行き浴場の二階へ上つて驚いた、數十人のものが一糸まとはぬ赤裸體で湯氣のもう／＼と立つ中に寢て居る者、湯に入つて居るもの、茶を飮んで居る者、阿片を吸つて居る者、甚だしいのは男女ふざけ散らして居るものは文明國の浴場では見られない光景である、昔から「黑龍江を步めば草鞋に砂金がつく」と云ふ事を聞いて居たが眞實其の通りである（八月二十四日漠河縣城江岸における視察團一行）

虹

博士邸殺人事件にまつはるクロスワード。
◇兒玉博士＝勝美夫人。
◇勝美夫人＝博士、某牧師、青柳、中園。
◇中園＝勝美夫人、橫山キ、ンサー孃、みわ子。
◇みわ子＝中園、田村某、氏、青柳。
◇姫御前の仇なくも

東天紅（215）
田中純　林一三畫

貞操の危機（三）

「まア、わたし、飛んだおしやべりをしちやつたわ」
それから十五分ばかりも話すと晶子はさう言つて、急に立ち上つた。
「まア好いぢやありませんか」
相良は、もつと詳しく神田家の[illegible]に就て聞きたかつたので、彼女を引き止めたが、晶子は
「いえ、わたし、今日はさうゆつくりして居られないの。これから實は、そのことで少し用事があるのだから。——いづれ、そのうちに、詳しくあなたに話す時があると思ふけど、今日はたゞ、神田さんが困つてゐらつしやることだけを、あなたに話さうと思つて寄つて見たの」
彼女はさう言つて、そそくさと出て行つた。
しかし、晶子が歸つて行つて、ただ一人になると、相良は、神田家のことが、氣にかかつて仕方が

[illegible]

鮎子に電話をかけて見ることにした。
「ああ、相良さん？どうなすつて？」
電話が通じると、鮎子はすぐにそんな風に聲をかけた。
「ああ、鮎子さんですね。僕、實は、今日の午後、ちよつと用事が出來たので、御約束のラグビイに行けなくなつたのですが」
「あら。つまんないわれ。一體、どうなすつたのよ。急に御用事が出來るなんて……」
相良はよつぽど、鎌倉に行くのだと言つてしまはうかと思つたが、鎌倉に行くと言へば、彼女も屹度一緒に行かうと言ふに違ひない。一緒に行かれては、詳しい話しを聞くわけに行かない——さう思つたので
「いや、ちよつと、會社の方に急用が出來たと言つて、今、呼び出しの電話がかゝつたものですから」
「まア。會社なんて、隨分橫暴ね。そんな呼び出しになんぞ、應

善鬼惡鬼 (215)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの骸 (五)

女郎屋へ二人が着いた時はすつかり朝になつてゐたのだが、夜の遲い遊女屋は、まだ夜中同然だつた。

併し、金太郎は勝手を知つてゐる。

裏口へまはつて、寢ず番の爺やを起して、おはまの部屋の前へ案内さした。

おはまはいつもの通り、離れに一人で寢てゐた。

「御新造さん〳〵」

外から聲をかけると

「誰だい」とすぐに返事があつた。

「私でございます」

「傳右衞門かえ」

おはまは、傳右衞門が、かへつて來たのかと思つたらしい。金太郎が何ともいはない中に、雨戸を開けた。

寢まき姿のなまめかしさで、ぬれ緣にすらりと立つて

「早かつたねえ」と云つた。

「お早うございます」

さういつて、庭先で腰をかゞめてゐる金太郎を見ると

「何だい、金太か」と苦笑ひをした。

「早朝からおさわがせしまして相濟みません。御新造さまが、小梅へお出かけになられえ中と思ひまして、お伺ひしたんでございますが、とんだ御迷惑を——」

しきりに詫び入つてゐる金太をおはまはニコ〳〵して見下してゐる。

「急用といふのは何だえ」

「實は鐵五郎親分と、傳右衞門さんが二人づれで、けさ、渡し場までおいでなさいましたので」

「まア、氣の利かない。お前さんのうちへ行つたのかい」

「へイ、女郎屋を夜明けに起しちや、都合のわるい事がおありだらうで——」

「ちや、その事を知らせに來たの」

「いゝえ、御新造さんをお出迎ひに上りました。千住の岸へ舟を着けて御座います。御都合がよろしかつたら、すぐにお乘んなすつて下さいまし」

おはまは一寸首をかしげた。

「私が行く事はないだらう。どうせこつちへ戻つて來る人たちだ——」

「へイ、それがその、こちらへお見えになる前に、内々の御都合がおありのやうで」

金太は、相手の機嫌を損なはないやうにと、おど〳〵しながら、一生懸命にお世辭をつかつた。

「私や、まだ眠たいわ。こつちで待つてゐるから、お前さん、すぐに引かへして、二人を連れて來ておくれ」

「へイ、それがその、さういふわけにいかれえと仰しやつて—」

金太は泣き聲を出して、おはまを引出さうとした。金太がベソをかけばかくほど、おはまは面白がつて

「好いから、二人をつれておいでよ」

云ひ離すと、離れの中へ入つて了つて、雨戸を引よせた。

尤も、引よせつぱなしの雨戸だから、二三寸は隙間を殘してはあつた。中には、龕行燈がなまめかしくついてゐて、まだ夜の景色であつた。

「御新造さん、御迷惑でござんせうが、親方に叱られますので—」

「私や、もう少し眠たいんだよ」

「へイ——」

中では、何かもの音がしてゐる。もう一度床へ入つたのかと、金太郎は思つた。

「困つたなア」

金太郎は、途方にくれて立ちすくんだ。

と、突然、中から

「金太」と、よぶ。

「へイ」

「一寸ここへ入つておくれ」

「へイ」

「かまはないからお入りつたら」

「へイ」そつと雨戸をあけると、起きてゐると思つたおはまは、寢て、着物を着てゐるのだつた。

「お前の力で、この帶をしめておくれ」

左程厚い帶でもないのに、金太に手傳はせて、ああでもないかうでもないと、いぢりまはしながら果は金太の手に自分の手を持合せながら

「さあ、かうして、きゆつとしめておくれ」と云つた。

「おきんさんはいくつにおなりだつけれ」とも云つた。そして、金太郎の顏毛先を指先でなほしてやりながら

「お前が迎ひに來たんだから行つてあげるんだよ」とにツこり笑つた。

(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一ヶ月金一圓二十錢　一部金五錢
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢　場所指定二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武鑑

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

戰債支拂問題中心に英米の外交戰を展開
英使節けふ着米と共に

【東京特電一日發】紐育來電によれば戰債問題について英國の使節フレデリックレイスロス氏が二日アメリカ着の上、この問題を中心に英米外交戰が展開する、英國は四十六億弗の戰債の内一割だけを現金で拂ふさいふ、その理由はローザンヌ會議でドイツ賠償金すら九割を切捨たのだから戰債もその通りにまけろ、英國はフランスよりも高利を拂ひ而も一九三二年には九千五百萬ドル、この六月は一千萬ドルを拂つて居るから、我慢してもよからう、殊にアメリカは英國に對して輸出超過ではないかさいふ、これに對し米國は賠償と戰債とは別問題だ、利子は高くない、戰債利子はアメリカ政府が民間から借りた公債よりも低利ださ反對して居るので、一致は困難だが、英國の償還金が十億内外に落つき利子も多少負けて貰ふ事にならうさの觀測もある

米穀を液化し軍需品として貯藏
愈よ具體的に研究

【東京一日發國通】米穀對策の一さして米穀をアルコール化してガソリン代用に使用し、或は之を軍需品さして貯藏する案は既に永井拓相が過般の閣議において主張した所だが、更に米穀調査委員會顧問朝鮮殖産銀行頭取有賀光豐氏は目下開催中の米穀顧問會議において之が具體化を力説した結果、多數の贊成を得、米穀幹事會において具體的に研究する事になり、來る三日の顧問會には再び論議される事さなつた、これに對し拓務省さしては若し合理的に實施の途が立てば來年度から直に實施してもよいさの贊意を表し又陸海軍當局も國家的見地から同計畫の具體化に多大の期待を懸けてゐる模樣であるから、これが成行については各方面から重視せらるゝに至つた有賀氏の説は大體左の通りである

一、米一石よりはアルコール三斗強生産され一斗の市價は六圓乃至七圓なるを以て米さ殆んど同價格である
一、アルコールはガソリン代用さなるからガソリンの不足を補ふことが出來る
一、米及び籾の貯藏には巨大なる倉庫を要するもアルコールには差したる大規模のタンクを必要さしない
一、此等のアルコールの燃料化さ共に軍需品さして陸海軍に貯藏を依頼する事は國策さしても重要な事である

滿洲へ自衛移民三千名を送る
拓務省明年度の計畫

【東京一日發國通】拓務省では自衛移民の成功に鑑み明年度は一躍三倍の三千二百戸約三千名を送る計畫を立て、既に右に伴ふ豫算を大藏省に提出了解を求めつゝあるが、右に關し移民地の中心地帶たる佳木斯附近に大規模の收容所を新設するに決定し豫算二十萬圓を評上追加要求をなした、なほ第一、二次移民が内地で準備訓練を受けて現地に赴き結果不良なりしに鑑み如上の新計畫を進むるに至つたものである

不戰區内の掃匪準備

【天津三十日發國通】于學忠は楊村第百八師より改編し不戰區内に派遣した特殊保安隊一千餘名が灤縣において通過を阻止された爲め別に塘沽駐屯部隊より五百名を便衣にして昌黎に第百九師改編の鐵血救導團を豐潤に派し掃匪に協力すべしさ命令し、楊村駐屯部隊中より特務隊を組織し豫備保安隊さして待機せしめてゐる

廣東軍の空軍擴充計畫

【東京一日發國通】海軍省着電によるさ、廣東軍は最近空軍の擴充を企圖し一年計畫で現有飛行機百機の倍加運動を起しこれには多數の英米人顧問が招聘されてゐる、なほ支那人飛行家養成のため九龍慶徳飛行場に飛行學校を建設するがそのため英國の航空元帥ヒギンズ卿が二十九日九龍に到着した

日滿文化協力委員

【東京特電一日發】日滿兩國の文化協力促進に關する日滿兩國委員は左の如く決定した

▲日本側
文學博士　服部宇之吉
工學博士　關野貞
文學博士　池内宏
同上　濱田耕作
同上　羽田亨
帝室博物館美術課長　溝口貞治

▲滿洲側
鄭孝胥、羅振玉、寶熙、熙洽、臧式毅、袁金鎧、榮厚、許徐棻

牧野大佐赴任

【奉天電話】滿洲國陸軍中央訓練處幹事牧野大佐は今回吉林警備司令部附さなり、一日午後三時半井上守備隊司令官、二藤堂特務機關長始めその他日滿官民多數の見送りを受け赴任した

米の海軍擴張は已むを得ぬ
日米戰爭説は痴人の夢
米海軍長官ス氏語る

【ホノルル三十日發國通】米國海軍長官スワンソン氏を乘せた軍艦インデアン・アポリス號は三十日朝ホノルルに入港した、ス長官は語る

余はロンドン海軍條約の最大限度迄米國の海軍力を擴張される事を信ずるものである、勿論列強が縮小を行へば米國も敢て擴張を行はないが現下の情勢では擴張は已むを得ないところである、日米關係は最近頗る好轉して居り兩國間の戰爭説は痴人の夢に等しい、余が今度ハワイを訪問したのは軍事視察で政治的の意味はない（寫眞はスワンソン長官）

躍進するわが貿易近來の記録を破る
第三、四半期末の成績

【東京一日發國通】九月下旬を以て終つた第三、第四半期末までの我對外貿易は

輸出	十三億五千百萬圓
輸入	十四億二千萬圓
合計	二十七億七千百萬圓

で入超累計六千九百萬圓さなつてゐるが、前年同期入超一億一千四百萬圓に比較するに實に四千五百萬圓の大減少で、尚これを本年上半期入超最高記録五月中旬の二億一千百萬圓に比するさ實に一億四千二百萬圓も縮めるに至つたので五月下旬出超に轉じて以來の輸出進展は驚くべきものがある、殊に下半期に入つてからの七、八、九月の第三、四半期における貿易は輸出入共に左の如き進展振りを示し近來のレコードを破るに至つた昨年度のそれを遙かに突破し輸出において三十四％輸入において七十％の増加を示すに至つた

（單位千圓）

▲七年度	
輸出	三八八、二一八
輸入	二三七、二八八
出超	一五〇、九三〇
▲八年度	
輸出	五二一、一五二
輸入	四〇四、四三八
出超	一一六、七一四

顧代表の言動に反省を求む
廣田外相、南京政府に

【東京一日發國通】聯盟における日支紛爭は帝國政府の聯盟脱退さ共に聯盟理事總會に附議されてゐるのであるから聯盟では目下開會の理事會及び通常總會には同問題は取扱はざる方針さなつてゐるが、二十九日の理事會席上顧維鈞代表は又も同問題を持出してゐるので廣田外相は次の如き見地から有吉公使を通じて南京政府へ抗議さ反省を求むべく三十日訓令を發した

一、現在日支關係は停戰協定成立以來極めて友好關係にあり、殊に支那政府は日に親日を標榜し居るに拘はらず裏面において正反對の態度をさるさ思惟せらるゝことは日本政府の遺憾さするところである
一、現在の友好的日支關係を惡化せしむる如き顧維鈞の態度を若し南京政府の默認するところなる度を超えるものであるさ看做してゐるやうである

廣田外相に竢つ對蘇關係の調整
(三)
新村龍二

次にソウエート聯邦さの關係はどうか。此處にはまだ領土を繞る問題はないが、國境における紛爭は絶えない。そして北鐵交渉はその開始以來三ケ月にもなるが、なほ目鼻がつかぬのみか、蘇滿双方の立場は益々硬化してゐる。それはかりか、モスクワよりの新聞電報は北鐵管理局長權限問題と關聯してモスクワ政府は北鐵賣買交渉を打切る用意を有する旨を暗示したささへ報じた。かゝる報道に對して我々は少しもハラ〳〵する必要はない。だがかくの如くソウエート聯邦政府の態度が硬化したことにはそこに種々の理由がある。それは最近ソウエート聯邦の國際的位置が著しく非孤立化したことである。フランス及びフランス系統諸國との接近、スペインとの國交回復、イタリーとの通商條約改訂及び不侵略條約締結、アメリカ政府のソ聯邦承認態度確定等々ソ聯邦は逐次國際連繋狀態に進みつゝある。

何故にこのやうな成功を收めつゝあるか。それに就てはソ聯邦が一國社會主義建設に精進し始めたこと、平和政策を持續してゐること、軍備を充實したことなどが擧げられてゐる。だが是等理由のうちで一國社會主義建設の問題は大した理由とはなつてゐないやうに思はれる。抑々ソウエート聯邦が一國社會主義の建設に精進し始めたのは一九二四年レーニンの死後間もなくスターリンが一國社會主義建設可能の理論を展開した時からの事で、何も最近のことではないからである。されはソ聯外交成功の原因はその平和政策さ國防の充實にあるさ考へられる。元來孰れの國も平和政策を口にしなかつたり戰爭政策を說いたりするものはない。從つて平和政策はその國の行動實踐がそれに伴はなければ何人もこれを信ずるものはない。さころでソウエート聯邦は今の處ヨーロッパ及び西亞諸國に對してその平和政策を實行してゐる。だが如何に平和政策を執つても、その國の軍備が脆弱であれば、何人も敢てこれさ親善關係を結ぶ必要を感じないだらう。この意味においてこそ國が國際關係において孤立化するも、反對にまた非孤立化するも、武力の躍進に依存するさころが多いさいはなければならない。

廣田外相は先に擧げた就任當日の聲明において

世界全般から見れば國際聯盟だけが平和維持の機關であるさは考へられぬ。米國、ソウエート聯邦の如き大國は國際聯盟の外にあり、しかも是等の國は初めから聯盟に加入してゐないが國家は隆々さ發展しつゝある

さソ聯邦の國力を高く評價してゐる。

ソウエート聯邦の軍備に就てはこれを買ひ被る要はないが、されはさて多寡を括つてはならないさ思ふ。殊にその空軍は近年迅速に充實されつゝある。ソ聯陸海軍人民委員長ヴォロシーロフは「よりよき空軍を持つものは空中に於てより強いのだ。この事はサモワールの如く明白である。而して空中に於て強い者は現在は全般に強いのだ」と言つてゐる。以てソ聯軍事當局が如何に航空工業及び空軍の充實に全力を傾倒してゐるかを知るべしである。實際ソ聯今日の空軍は大戰當時の空軍ではない。去る八月二十日ソ聯邦に於ては全國重要都市に於て航空デー及びオソアヴィアヒム十周年記念祭を擧行したが、モスクワにおける航空實演は單に各種航空機の存在を示したのみならず、その編隊飛行さいひ、高等飛行さいひ、その食料投下技術さいひ、大なる實力を有することを展示した。殊にアント十四號機より約三十人のパラシューターが見事に飛降りたる如き、その技術の凡ならざるを示すものである。それさ共に、周知の如く、ソウエート聯邦にはモスクワ＝中央アジア線、モスクワ＝極東線の如き航空本線があり、前者はアフガニスタンさへ連絡してゐる。而も空軍充實の裏には過去十年の歷史さ數百萬人の構成を有するオソアヴィアヒム（國防飛行化學建設協會）や過去二年の歷史さ五百萬の構成を有するシエフ（空軍後援協會）さが眼覺しき活動を續け居り、空軍發展の促進を圖る民間青年分子の動員は遙かに列國を凌駕するものがある。

かゝる際に其筋への情報さして新聞に掲載されたニュースに依るさ、最近ソウエート聯邦は戰時編成の約十箇師團に近き裝備優秀なる軍隊を北滿國境より沿海州にかけて配置し且つ二十數臺の超爆擊機を含む空軍を要所々々に配備したさいふ。而してわが當局はこれを度を超えるものであるさ看做してゐるやうである。

これソウエート聯邦が日本の對滿工作に對する必要以上の警戒から出でたものであるかも知れないが、また近時は世界各國實力の配備を以て外交々渉を牽制するのが流行であるから、ソ聯邦も北鐵交渉にこの流儀を應用してゐるのかとも察ぜられる。若し然りさすれば、即ち後者であるさすれば、それは徒らに日本の對抗警戒を强化せしむるのみである。

孰れにせよ、蘇滿國境を挾んで接觸する日ソ關係は急速な整備を要求してゐる。この複雜な關係を整備するには明白な頭腦と優れた手腕を要する。廣田外相はこの日ソ關係に處して〃眞實の國際主義さ國家主義さを如何に調和させるか？〃我々の外相に對する期待は甚大である。（九・二五）

國民政府部内動搖の根源
米棉處分收入の爭奪

【上海特電一日發】國民政府部内最近の動搖の根源は米棉處分による收入處分の爭奪で、これに伴ひ財政の實權を握る宋子文に對する非難が蔫然さして起り、宋は孤立狀態に陷らうさしてゐる、三十日宋は孫科、孔祥熙などの要人さ密議をなし、汪精衞は黃郛さ會見するなど要人の往來頻繁である汪精衞は頻に政局不安の防しに奔走してゐるが、このまゝでは内部崩壞の一途を辿る外なく結局對日協調主義に急轉回して部内の關心を外交に向ける外策はないらしい

ろにおいては帝國政府もこれに對する斷乎たる處斷をさる用意を有す
一、日本政府が親善増進に努力しつゝあるに拘らず、前述の態度を南京政府がさるにおいては進行中の棉花購入問題を始め停戰協定履行其他諸問題に帝國政府は再考慮の止むなきに至るべし
一、この際南京政府においては日支友好關係増進極東平和の爲、かゝる反日的態度を嚴重愼まるるやう反省を求む

林業統制權問題
吉林當業者反對運動

【新京電話】大倉組、王子製紙及び吉林共榮株式會社は吉敦沿線の三縣に亘つて林業の採伐權を所有してゐたが、滿洲國の成立後これが採伐の權利を拋棄して日滿合辦の大同林業公司を設立し王子製紙二百萬圓、鐵路總局二百萬圓、一般公募百萬圓の株式組織を計畫中であるが、滿洲國實業部では同會社に林業の生産及び販賣の統制權を附與するの諒解を與へたことから先づ吉林の材木組合が反對運動を起し組合長赤沼八百作氏外九名が二十八日來京、實業部及び關東軍特務部などを訪問陳情しつゝあつたが、運動效果の面白からざるところから三十日吉林に歸り同日居留民大會を開催して統制權附與の反對決議を行つたもの丶如く更に五日には新京において全滿材木商組合聯合大會を開催、反對氣勢を揚げる計畫だといふ、因に吉林材木商組合では大同林業公司の設立に對しては反對でなく同會社に對し生産及び販賣の統制權附與に對して反對をもつて進んでゐるのでその成行は注目されてゐる

日印暫定協定案
四日樞府會議に上程

【東京一日發國通】シムラ會商中日印條約延長に關する日印暫定協定案は既に外務省より二十一日樞府議長の手に廻附し下審査を求めたが二日持廻り閣議又は三日の定例閣議に附議し正式決定次第直に樞府御諮詢を奏請する手筈さなつてゐる、依つて樞府は同案の御下げ渡しを俟ち來る四日定例本會議に緊急上程即決可決される模樣であるので、上奏御裁可を仰げば廣田外相は松平駐英大使に訓電を發し直にサイモン外相さの間に正式調印を行ひ同時に効力を發生せしむる事さなる筈である

特産市價統制と貨物吸收に提携
公主嶺の日滿特産商

【奉天電話】公主嶺に於ける特産物出廻りは吉海瀋海兩鐵道開通、匪賊の跳梁其他の理由により近年著るしく減少したため、毎年出廻り期には特産商間に猛烈な集貨競爭が演ぜられ、この無謀な競走は農家より乘ぜられる結果さなり競爭者相互に不利なるを以て、市價を統制しこの弊害を防止するため該地、附屬地内外の滿人側糧棧は四年前より毎月一回商務會に會合の上その日の馬車卸價格を決定し纏めて之に依る事に協定して今日迄實行して來た

然るに日本人側糧棧は之に參加して居らず依然充分なる效果を擧げ得ない狀態であつたから滿人側はこれを遺憾さして過般來邦人さ種々折衝した結果、本年は兩者協調して農家に對し專ら該地發展のため、各自の利益を度外視する迄の覺悟を以て今後特産物吸收に努力する事を申合せた

該地滿人側糧棧は從來より集貨業さして特産物を搬出し來た農民を院内に宿泊せしめ食事を賄ふ慣習があつた、今回集貨上兩者の地位を對等ならしむるため邦人側は其の代償さして大豆高粱は一斗（日本の一斗八升三合）に付き二錢、雜穀は一斗に付き五錢を當日の市價に加算する事に協定し實行する事さなつた

奉天地委選擧

【奉天電話】奉天地方委員の最後を決定する選擧當日の一日は秋晴に人出も多く各候補は何れも早くから投票をかき集める爲自動車を雇ひ切りで活動を開始し選擧場たる春日小學校門前は通行止を行ひ候補の假事務所の設けられた通から選擧場に至る各沿道は名札の立看板が林立しさすがに選擧氣分を出してゐる定員廿名に對し候補者廿三名であるから結局三名の落選者が出るわけで四千八百餘の總投票數の中正午までの投票數二千八十一票で成績良好である

米内山領事來連

新設される海拉爾帝國領事館の初代領事さして赴任する米内山庸夫氏は初子夫人同伴一日午前七時三十分入港のほんこん丸にて着連した、米内山新領事は廣東、濟南始め南北支部には十五六年滯在したが滿洲は始めてゞある

ソ政府の抗議的聲明
我外務省不問

【東京一日發國通】二十九日ソウエート政府が二十八日の廣田、ユレニエフ會見の内容に抗議的聲明を附し發表せる事に對し、外務省では左の通り一笑に附して居る

ソウエート側北鐵幹部逮捕問題は滿洲國の司法權發動で、ソウエート政府の英國ビッカース社員逮捕事件さ同性質だ、日本が北鐵に關する蘇滿交渉を決裂させ、北鐵を奪取せんさするなどは全く偏見だ

錦州農事試驗場開場式

【錦州特電一日發】錦縣小華子農事試驗場の開場式は一日午前十時より開催されたが、來賓さして徐奉天省實業廳長、馮鐵縣知事、佐伯主計長、横田少佐ら始め日滿要人約七十名で式は先づ徐廳長の訓示に始まり臧奉天省長、馮知事、林滿鐵總裁の祝辭及び祝電披露あつて後祝宴に移つたが近來の盛會であつた

鳴る非常時の鐘に先づ生活を改善
滿鐵獨身宿舍が提携

【奉天電話】各地滿鐵獨身宿舍は從來各地毎に幹事會が中心さなつて事務を斡旋してゐたが、近時の時局に鑑み獨身者は一層國家的社會的使命を痛感すると共に各個人の生活改善に相互協力する外、日常の生活問題を話合ふ所の全滿の滿鐵獨身宿舍聯合會が必要だとの議論起り一日午前十時からヤマトホテルで各地代表者約六十名參集これが創立に關する打合會を開いたが、午前中は各地の[illegible]及び規約の協議あり午後は[illegible]移つた

滿洲機械實演博開會式（三十日奉天で）

輝やく武勳を樹て、坂本將軍凱旋の途に

きのふ思出の錦州出發

【錦州特電一日發】昨年十二月大命を拜し滿洲に出動以來土匪の討伐並びに熱河の聖戰に幾多の作戰記錄を殘し赫々たる武勳を戰史上に輝かした第六師團長坂本中將は佐々木參謀長、池田副官以下幕僚を隨へ一日午前十一時四十五分發列車で思ひ出多き錦州を出發凱旋の途についた、是より先驛頭には平田○團長、辻飛行○隊長、堀兵站部支部長、後藤領事、松木警察署長、濱口民會長、滿洲國側から湯知事、宮警務局長を始め要人多數の見送りあり數萬の日滿市民驛頭を埋め空には二臺の飛行機歡送飛行をなし萬歳の聲ホームを壓して頗る盛んであつた

銃後の後援を更めて深く感謝す

きのふ錦州出發凱旋に際して 坂本將軍の感想談

【錦州特電一日發】昨冬以來吉林敦化、東邊道の土匪討伐を始め熱河聖戰、河北作戰に參加し南征北伐に寧日なかつた第六師團は赫々たる武勳を殘して内地に凱旋することになり既に先發隊は出發したが師團司令部は一日午前十一時四十五分發列車で殘留部隊は二、三、四の三日間に亘つて各思ひ出多い滿洲を引揚げて出發凱旋することになつた、凱旋に際し坂本師團長は三十日記者團に對し左の如く感想談を試みた

在滿中は日滿兩國官民より絶大なる御同情、御鞭撻を蒙りお蔭を以て何等後顧の憂なく今日に至りたるは將兵一同感激に堪へない、今次師團の歸還に當り、第一回の輸送部隊は既に當地を出發したが、途中到る處盛大なる歡迎を受けた由誠に

感謝に堪　へず、且つ光榮至極に存ずる次第である、多勢の事であり、定めし御迷惑であつたらうと思ふ、玆に第六師團將兵一同を代表し謹みて御禮を申上げる、これも目下入院加療中の傷病者並に陣歿犧牲者のお蔭であるが今日凱旋に當りこの光榮を共にし得ざる犧牲者、就中陣歿者を偲びその遺族の心情を思ふとき、徒らに凱旋氣分に陶醉することは出來ない、實に斷腸の念に耐へないものである、顧れば出動の間部下の將兵は聖諭を奉じ全力を致してよく軍人たるの本分を竭してくれた、只師團長の統率宜しきを得なかつた爲め多數の犧牲者を出したがこれは何とも申しわけなく恐懼する次第である、今や時局は愈々重大となり

擧國一致　してその使命に邁進せねばならない危急の秋である、我等師團の將兵はこの際更に覺悟を新にし油斷なく明日の御備へを整へることが、今日の御同情に酬い御期待に副ふ所以の途であり、又亡き戰友の靈を慰むるせめてもの手向けであると信ずるものである、將來益々鞭撻を加へられ軍民一致の實を擧ぐることにお力添へを願ふと同時に重ねて從來の御同情に對し厚く感謝の意を表す、貴紙を通じて宜しく御傳へを乞ふ（寫眞は坂本將軍）

實業軍打擊振ひ滿鐵軍敗る

第一回實滿軟式野球

本社主催の第一回大連滿鐵對大連實業の實滿對抗軟式野球試合第一回戰は、一日午後二時四十分より滿倶球場にて二神（球審）吉田、兒玉（壘審）三氏審判、伊藤滿鐵社員會幹事長始球式後實業先攻の下に開始したが、實業劈頭二點を先取して好調を示したるに反し、滿鐵各打者とも振はず實業軍は更に六回徳永の三壘打をきつかけとして攻擊振ひ一擧四點をあげて大勢を決し、八回また三點を加へ計九點を擧げたるに反し滿鐵僅かに八回裏一點を得て辛く零敗をまぬかれ、九對一で實業大勝した閉戰四時四十分

實業	2	0	0	0	0	4	0	3	0	9
滿鐵	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

◇一回　實業齋藤平田ともに四球徳永二飛後齋藤平田の重盜なり久甫四球で一死滿壘續く圓城寺の遊擊右拔く單打で齋藤平田還り久甫二進し、松島左線寄り單打で再び一死滿壘となり津村投ゴロで久甫本壘封殺、圓城寺松島それ〴〵進んだが覚左飛▼滿鐵宗正右前單打中野四球と續いたが神部の三飛に宗正神部重殺を喫し、川井田二飛

◇二回　實業驚見四球齋藤左飛平田二飛後驚見三盜して刺される▼滿鐵藤田中前單打に出でたが二盜に刺され、藤原三飛惡投に生きたがこれまた二盜して刺され高下右前單打重松投ゴロ

◇三回　實業徳永久甫ともに遊ゴロ圓城寺三飛▼滿鐵左右田三振宗正四球中野投飛に宗正二進神部三振

◇四回　實業松島中飛津村三飛覚もまた三飛▼滿鐵川井田三遊間單打に出でたが藤田の遊飛で二壘封殺藤原遊飛高下の三飛で藤原二壘封殺

◇五回　實業驚見投飛齋藤投飛平田三飛▼滿鐵重松一邪飛左右田遊飛宗正四球中野三飛

◇六回　實業徳永左越三壘打久甫牽制球に三本間に挾まれたが、捕手惡投に還り圓城寺打者のとき徳永投手落球に出で、二盜、松島津村と連續四球で一死滿壘となり覚の左前單打で圓城寺還り津村三進（この時滿鐵高下退き野間投手となり川井田一壘に藤原二壘に交代）驚見投飛に松島本壘に封殺されたが齋藤の中前單打に津村覚と還り平田三飛▼滿鐵神部遊飛川井田投邪飛藤田一飛

◇七回　實業（滿鐵重松退き入江捕手となる）徳永捕邪飛久甫二飛圓城寺四球松島二飛▼滿鐵藤原左飛野間投飛入江右飛

◇八回　實業（滿鐵右翼高橋に代る）津村三越單打に出て二盜覚の三飛で驚見三飛一失で津村三進、驚見二盜後齋藤三振したが平田の代打益田一壘左拔く單打で津村驚見ともに還り、益田二盜の際捕手惡投で三進徳永の左前單打に益田還り久甫遊飛で漸く止む▼滿鐵（實業久甫左翼に益田右翼となる）高橋宗正中野と連續四球で無死滿壘、神部三振に高橋本壘封殺されたが川井田の三飛で宗正還り中野神部それ〴〵進壘藤田二飛滿鐵絶好のチヤンスも僅かに一點

◇九回　實業圓城寺投邪飛松島投飛津村の代打杉本三邪飛▼滿鐵（實業松島退き井上投手となる）藤原三振野間四球入江遊飛高橋一飛

（實業）	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
6 齋藤	4	1	1	0	1	1	1	3	2	0
7 平田	3	1	0	0	1	0	1	1	0	0
9 (益田)	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
8 徳永	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0
97 久甫	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0
3 圓城寺	4	1	1	0	1	0	1	10	1	0
1 松島	4	0	1	0	0	0	1	1	3	0
1 (井上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 津村	3	2	1	0	1	0	1	3	2	0
2 (杉本)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
4 覚	4	1	1	0	0	0	0	6	1	0
5 驚見	3	1	0	0	1	0	1	1	5	1
計	36	9	8	0	6	1	7	27	14	1

▲三壘打―徳永▲併殺―實業1（驚見―圓城寺）▲試合時間二時間

（滿鐵）	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
7 宗正	1	1	1	0	0	0	4	2	0	0
8 中野	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0
6 神部	4	0	0	0	0	1	0	0	3	0
13 川井田	4	0	1	0	0	0	0	6	3	0
5 藤田	4	0	1	0	0	0	0	1	6	0
34 藤原	4	0	0	0	0	1	0	10	1	1
4 高下	3	0	1	0	0	0	1	3	0	0
1 (野間)	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
2 重松	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1
2 (入江)	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1
9 左右田	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9 (高橋)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	29	1	4	0	0	3	8	27	16	3

滿洲國體育大會

―各種競技の成績―

【新京電話】第二回滿洲國體育大會第三日目の蹴球戰は一日午前九時から新京特別市對北滿特別區の一戰から新京西公園グラウンドにて開催された、成績左の如し

▲北滿特別區3―0新京特別市

北滿特區3（前半0―0、後半3―0）0新京特別市

▲關東州5―1吉林省

關東州5（前半3―1、後半2―0）1吉林省

なほ列車事故の爲競技不參加となつた北滿特區選出選手の參考記錄の競技を行つたが、北滿特區の任允華は女子六十米で七秒五の記錄を出し大會第一日目の記錄を破つた

【新京電話】第二回滿洲國體育大會第三日目關東州對北滿特區蹴球戰は一日午後二時半から西公園運動場にて開催されたが三對零で關東州勝つ、成績左の如し

關東州3（前半1―0、後半2―0）0北滿特區

【新京電話】第二回滿洲國體育大會は關東州對北滿特別區の蹴球戰終了に次いで滿洲國對オール奉天のエキジビション、ラグビー、蹴球戰を以て午後五時二十分全競技を盛會裡に終了したが、本大會における成績は關東州軍が陸上競技、籠球、蹴球の三競技に優勝し、北滿特別區は排球に、吉林は女子排球に優勝した、全種目を通じた成績では吉林二十八點を擧げて他軍を拔いて優勝し、次位は北滿特別區で二十三、五點、第三位は新京で二十一、五點、關東州二十一點、黑龍江省十二點、興安省四點、奉天省零の順位となつた、午後五時三十分より閉會式に移り、西山文教部總務司長より全選手に對し一場の訓示を與へ、優勝カップ、執政杯、國務總理杯、全權大使杯、その他滿洲國政府各部總長のカップ又は楯等の賞品授與式があり、一同滿洲國體育大會の萬歳を三唱し有意義な大會を終つた

ヴエタラン硬球庭球試合

滿日優勝盃　實業軍の手に

第四回實滿庭球戰

一日午前中三對一の後を承けた滿日優勝盃爭霸硬式庭球戰は引續き彌生町物産コートで行はれたが、滿鐵佃奮闘してシングル三對三と漕ぎつけたがダブルスで全敗を喫し、結局實業六、滿鐵三で實業の優勝成り二勝二敗の同率となり、本社優勝盃は實業軍の頭上に燦いた、戰績左の如し

實業　滿鐵

シングルス

×木本（三井）五―七、六―三、六―一　阿部（鐵道）◎

×渡邊（三井）三―六、七―五、六―三　三浦（商事）◎

×藤田（東棉）五―七、一―六　百田（商事）◎

◎長田（三井）六―三、六―三　田中（鐵道）×

◎稻坂（東電）六―二、六―〇　江口（總務）×

◎小笠原（國際）六―〇、八―六　山田（總務）×

ダブルス

◎木本・渡邊（三井）六―一、六―四　阿部・三浦（鐵道・商事）×

◎藤田・稻坂（東棉・東電）六―四、六―〇　百田・田中（商事・鐵道）×

◎長田・龜本（三井）六―一、六―一　江口・山田（總務）×

日本海橫斷の福岡大尉機

一日舞鶴から羅津へ

【羅津特電一日發】一日午前七時三十五分舞鶴を出發した福岡大尉の操縱する五一號機は午後二時羅津灣頭遙か向ふの上空に機影を現し、羅津の上空を一巡したる後引續き雄基、豆滿江方面を飛翔し午後二時四十二分着水した、五一、五二の二機とも二日午前七時舞鶴に向ひ歸還の豫定

日本海上に一時着水

福岡大尉語る

【羅津特電一日發】福岡大尉は語る

今朝七時三十五分出發した、出發當時は五メートル乃至十メートルの向ひ風を受け約六十浬の速力で飛んでゐたところ、出發一時間後隱岐島附近で發動機のスロットルデバーに故障を起し日本海上に約三十分間不時着水した、その後舞鶴、羅津の中間邊りで追風に乘じ時速百十五浬の實速で飛んで來ました

林總裁出發

【東京一日發國通】滯京中の林總裁は一日午後一時東京驛發歸任の途についた

人事

▲足立長三氏（鐵路總局旅客科長）一日午後四時二十分發列車にて歸任▲相川岩吉氏（滿洲國事務官）同▲緒方竹虎氏（東京朝日新聞編輯局長）一日午前七時四十分着急行で來連ヤマトホテルへ▲白石幸三郎氏（東京朝日新聞經濟部長）同上▲藤本廣次郎氏（醫學博士金澤醫科大學教授）一日午前八時着列車で來連遼東ホテルへ▲佐伯秀一氏（醫學博士金澤醫科大學教授）同上▲堤六三郎氏（ハイラル領事館員）同上

大觀

米が餘る、作付制限、糧貯藏と苦心されるが、アルコール化してガソリン代用にし、又貯藏して軍需品にする案が出た▲出來るなら誠に良案である、是非眞劍な研究を望む▲日支停戰協定以來、北支方面の對日態度は穩和になつた、上海南京でも抗日運動は抑へられてゐる▲然るに聯盟の國際聯盟における番舌は何事ぞ▲南と北とが歩調異なり、本國と在歐米代表との行動相反するのは常の事ではあるが、不問には附し難い▲内部問題としては不統一であらうが、日本から見れば不信と見る外はない▲廣田外相から抗議を持ち込んだのは當然であり、反省を求めたのは内部事情に同情する好意である▲外に働きかける爲には、先づ内を固めてかゝらねばならぬ、廣田外相先きに陸海相と懇談を遂げ、次で藏相の諒解を求む▲用意周到、外相硬骨漢の評ありて、單なる硬骨漢ではないことを示す▲蔣、汪、宋の三巨頭辭表提出說がある、眞僞は不明であり、眞實であつても、體裁上又は駈引上の辭表といふことはよくある圖だ▲反蔣派に對する連袂面當てとも云ひ、蔣、汪の反目からとも云ふ

超非常時の襲來と皇國の使命（一）

文學博士　鹿子木員信

私は今夏、滿洲夏期大學の講義を終へてからまる二ケ月にわたつて南北滿洲各地、ホロンバイル熱河および北支を視察した、殊にホロンバイルにおいては深く奥地に入つて喇嘛寺を巡遊し具に蒙古人の社會生活を見、熱河においては王侯會議が開かれてゐる時だつたので、これに列席して彼等の日滿兩國に對する眞實の叫びを聞き、又北支においては朝野の支那や又蒙古人に會うてその所見を叩くことを得た、この結果私は三つの重大問題に當面した

×　×

第一の重大問題は對蒙古問題である、現在蒙古人は四分五裂の狀態にある、まづ外蒙の蒙古人はソウエートロシアの支配下にあり、ソウエートは「宗教は阿片なり」のレーニンの言葉によつて喇嘛教彈壓政策をとり、蒙古人の特色を破壞しつゝあり、又徹底的な花柳病撲滅政策を採用し、梅毒病院を設け患者を搜査して發見次第如何なる有力者といへども強制的に收容してゐる、こゝにロシアの蒙古政策が如何に徹底的なものであるかを見ることが出來る

ホロンバイルは從來外蒙と密接な連絡を持つてゐたが今は全然隔離され、蒙、漢、露三民族の混住地として深刻な民族鬪爭が行はれてゐる、熱河もホロンバイルとあまり交通がなく一區域をなしてゐるが、こゝにおける蒙漢兩民族の抗爭は一層激烈である、蒙古人は久しく漢民族から政治的にも經濟的にも壓迫を受けて來たので五族協和の滿洲國に大なる希望をかけてゐるが、滿洲國の對熱河政策が中華民國時代のそれを踏襲せんとするかに見えるので多少の不平があるやうである、即ち舊時代の驟治制度が維持されてゐることはその一つで、王侯會議の席上でも全員擧つて驟治よりの解放を叫んでゐた

チャハルは外蒙を含む全蒙古の心臟の位置にありその住民は蒙古人中最も優秀なものだとせられてゐるが、現在では外蒙はもとより滿洲國の他部分とも連絡なく支那の力も及ばず全然孤立してゐる、成るほど地圖の上からは支那領土となつてゐやうが、支那政府の勢力は張家口以北六縣にしか及ばずチャハルの大部分は何人の手も及んでゐない、更に綏遠青海の蒙古人に至つては他のどこの重點にも引きつけられず游離してゐる有樣である

かく蒙古人は四分五裂して世界に各種の問題を投げ出して居るがその間に共通の問題は蒙古民族の獨立といふことである、日本留學生もさうであるが、現在モスクワに學んでゐる蒙古青年は歸國する時は悉く反露主義者となるとの事であるが、これは現在の蒙古人が「他に賴つてはならない自力で大同團結せねばならぬ」ことを痛感して來た結果だと思ふ、今や自覺して來た蒙古人久しく彼等の上に驟制を加へて來た漢民族を離れて日本人に信賴してゐる、日本人がかゝる大勢を洞察せず徒らに蒙古人の上に漢民族の文化を覆ひかぶせるがごときは、日本人自ら墓穴を掘るごときもので、決して賢明の策でないと信ずる

×　×

第二は屢々新京に赴き滿洲國統治の實際を見、又聞いて痛感したところで、それは日本と滿洲國との關係の問題である、滿洲は今憲法を制定すべく準備時代であるがまづ第一に當面する問題は主權を何處に置くかである、殊に滿洲國の據つて以て立つ哲學的主權ともいふべきものを何處に置くべきかは今まで論議することを避けて來たがこれからは國家の安寧を紊さぬ限り十分論議せねばならぬと考へる

まづ滿洲國の成立したのは皇軍の力であり、又それが育ち榮えて行くのも一に皇軍の力であり歸するところ天皇の御稜威である、たゞ滿洲國は儼然たる獨立國で日本と對等の地位にあり決して屬國ではない、かゝる兩國の特殊的關係を法的に如何に規定するか、この際に戰前のドイツや現在のソウエートなどは多くの示唆を吾人に與ふるもので結局超國家的な大聯邦が出來、それを統べるものが「すめらみこと」であると私は考へてゐる

八相

投書歡迎　五十行以内

アパートと愛犬家

衞生家

◇アパート生活者にとつて、同じ家屋内に愛犬家のあるのは、實に迷惑至極に思ひます、世の中には犬好きの方も多數ありますが、反面犬の嫌ひな人も澤山あります、又迷惑と思ふ人も隨分あります、中には蛇程に嫌ふ人もある筈です。

◇犬好きの私は犬によろこばれ纏つかれて着物の裾を汚したりかみきられたり位は左程に思ひませんが、來客は脅えられて不快な感じを抱いて歸りますし、又幼兒は安心して遊ばして置けぬのに困ります。

◇又誰を見ても吠えるので幼兒のある家の迷惑は一層に思ひます、家の構造にもよりますが、狹い通路に長々と寢てゐる犬の姿は實に通行妨害の甚だしいものです。又、犬の遊び場所に共同使用のベランダ又はルーフの物干場の獨占等は言語道斷ですし、二疋も三疋も遊ばれてはたまりません。

◇又犬も生物で大小便をするため昨今どこもかしこも臭氣紛々として蠅をよびよせてゐますが衞生上實に迷惑至極です、犬も可愛いでせうが人間も何卒一層愛して下さい、外觀丈の掃除は何にもなりません。

◇とにかくアパート内での畜犬は無理です、只一疋の小犬と御考へでせうが迷惑する人は多數ですから少しは此點に自己を還元して下さい、犬が飼ひたくばアパートでなしに一軒建の家で三疋でも四疋でもお好きな犬を飼はれたがよいでせう。

問題の問題

不安生

◇不倫極まる某博士夫人に對する彌生高女校長細萱氏の御批判を二十九日の本紙を通じて熟讀拜聽して私は不可解と不安を生じました。

◇同校長は道學者的な批判として夫人が不義による子供を宿した責任ありとし、夫たる博士に重大な責任に對し、且つ又夫人の「行爲は惡いが環境を見てやる必要あり」と申されて居る。

◇道學者に非ざる私としては此の御意見とは全く異り夫たる博士の「行爲は惡いが環境を見てやる必要あり」といひたい。

◇夫人にして夫なり家庭の環境に多少でも理解し得るだけの理智を有してゐたなれば、恐らく斯かる行爲は斷じて生ぜざるものと信ず、勿論信ずるが故に私の子弟には斯く教訓してゐる。

◇第二の家庭を持つべき子弟を有する吾人はこの事件この女學校長としての細萱氏の御批判は大いに考ふべき問題であると共に私としては寒心に堪へないものがある。

中薗(單獨)と夫人(共謀)の供述に俄然喰ひ違ひ
博士の陳述とも漸次隔たり
高野署に當分留置

【大阪特電三十日發】捕はれの第一夜を高野警察署に送つた博士邸殺人事件の主犯中薗秀雄と自ら共犯と名乘る勝美の取調べは和歌山縣警察部山田刑事課長、板谷高野署長等の手で二十九日午後九時四十分勝美を署樓上に引致してから俄然緊張した、中薗に對する訊問は三十日午前十時一先づ打切り、勝美の訊問は、アダリンの中毒症狀が全く消え失せ豫想外に元氣で十數日の逃避行に意識は半ば惑亂の狀態になつてゐる中薗に比してはるかに頭腦明晰なので、三十日朝七時まで續けられたが、その間二人の供述は漸く齟齬を來し中薗の供述は既報の勝美の手記の內容とも晝間の自己の供述とも次第に喰ひ違ひの溝を深めてきた、この喰ひ違ひの焦點は中薗は單獨犯行を主張して常に勝美を有利な立場に置かんとし勝美は共謀を主張してあくまで彼にゆがんだ心中立てを押通さんとする點、中薗が最初否認してゐた勝美との關係を漸く肯定するやうな言葉を述べたが勝美は頑として汚れざる戀の道行きと突張り、さうした汚れた魂を包む身體で靈場に死場所を選ぶやうな不所存は致しませんといつてゐる外、二人の陳述と大連の兒玉博士の言との間にも幾多の辻褄の合はぬ點がある、その間午前八時過ぎ勝美の親戚京都市松原御幸町丸山義男氏は同署を訪れ勝美に武術道場で對面して慰めの言葉を殘して下山したなほ二人の身柄は三十日和歌山へ護送の筈であつたが　この供述齟齬の點　その他があるので、大連側の身柄受取りの一行が到着するまで高野署に留置することにほゞ決まつた

夫人の遺書到着
檢察局あての遺書と一緒に
大連の知人の宅へ

問題となつてゐた勝美夫人が大連檢察局に宛てた遺書の行方については何等か事件の眞相を物語るものとして沙河口署が檢察局と連絡夫人その他關係者の交友關係について嚴重に手配、搜査中であつたが三十日午後四時頃市內櫻花臺一七番地上野倫氏方へ同夫人園生さん宛に該遺書が舞込んだ、上野氏は市內山縣通五五番地に綿糸布貿易を營んでゐる人であるが、遺書到着と同時に上野氏は自動車で沙河口署を訪れ、谷川主任に遺書を手交した、遺書は和歌山二十七日八時—九時の消印あり表面に「南滿洲大連市櫻花臺一七上野園生樣親展」と、鉛筆で宛名をしたゝめた角大白封筒に三錢切手二枚を貼り、中には葉書に鉛筆でしたゝめた上野夫人宛遺書と、薄藤色の婦人用封筒に同じく鉛筆で「大連地方法院檢事局檢事御中秘親展」と宛名し三錢切手を貼り、全然發信者の名を秘した問題の夫人の遺書の別封一通とが收められてゐた、右檢察局宛遺書は沙河口署より、密封のまゝ高井檢察官の手に廻送される筈である、なほ上野夫人宛の葉書にしたゝめられた遺書の內容は左の如し

色々きいて驚ひたことが澤山あります、でももうおそいです、然し日頃の御氣象を知る私こんなおねがひは出來ぬ筈ですが事件明瞭にさせるために書きました、同封の手紙汚らしいと御思ひでしやうがまげて表記に御發送下さいませ、こちらから直接ではとうてい駄目（身の處分のつかぬ內に）と思ひますので永い間親身も及ばぬ交際身にしみ覺えました、厚くお禮申上げます、どうぞ幾久しく御家お榮を祈ります（原文のまゝ）

なほ裏面には宛名も住所も記さず斷篇的に

では心いそぎます故これで失禮します、御機嫌宜敷く
……
完全に間違ひました、然しうらみは果しました、喜こんで行きます
……
もしよかつたら御開封下さつても結構です、必ず御送り下さるやう伏して願ひ上げます

（寫眞は到着した遺書）

計畫的に青柳を殺害
遺書は夫人と中薗との合作
心中は狂言に過ぎぬ

【高野にて長谷部特派員一日發】血で彩つた愛慾地獄の終焉を靈地高野山の山中で演舞せんとして捕へられた勝美夫人と中薗は、高野署に留置取調をうけた結果、極秘に包まれてゐた事件は漸次明るみに曝け出され、もはや中薗が下手人であることは動かぬ事實となつたが、今なほ事件をめぐつて幾多の疑問符が渦巻き、いづれが眞なるか世人を惑はすものがある記者はこれ等の點を實地について調査すべく先づ高野署長につき取調べの內容を聽き、更に北室院について二人の動靜を調べた結果、大連における豫備知識とを綜合し大體疑問とする諸點を解決する事が出來た、卽ち夫人が死の直前に書いたといはれる遺書の內容は全く中薗との合作になるもので、北室院の番僧の談にある如く、二十七日深更北室院に枕を並べて認めたものであるといふ新事實が判明した、從つて青柳が勝美夫人を脅迫し情を通じ、その後弱味につけこんで金をまき上げてゐたといふ說は全くの出鱈目で、むしろ夫人がリードして居り事件當夜の模樣も本紙既報の如く嫉妬に燃ゆる中薗がベロヽケになつた青柳をつれ出し、博士邸を訪れ殺害したものである、中薗は發作的に青柳を殺したものといつてゐるが、短刀は豫てより用意してゐたものであり今日迄二三回にわたり青柳殺害を企て、失敗してゐる事實が判明してゐるので嫉妬の兇刄である事は確實となつた。かくの如く兇行動機たる三角關係を有利に遺書の中に認めてゐる點、及びアダリンは勝美常用のもので自殺用のものでなかつた點より推し、今回の情死は狂言と見られ、當局ではこの點を追究してゐる。なほ勝美夫人は大連の社交界をさながら淫蕩市場のやうに遺書に認め、係官にも云つてゐるが、自己の罪を蔽はんがため顧みて他を云つてゐる觀がある、又三輪子に對し「完全に復讐した」といつてゐるのは三輪子に青柳を奪取られた恨みと見られ、青柳の死を以つて三輪子に復讐したものと思はれる、勝美夫人が北室院の寺男に託し、三輪子に送つた手紙の中に「何の恨かわからないが、完全に復讐した、親友らしく裝つてこんなにまで苦しめなくてもよかつたでせう」とあるのを見てもこの間の事情がわかる、二人の身柄引取のため急行した大連刑事安部、上郡山兩刑事は一日午後八時大阪着直に高野に來る筈で、身柄は別々に押送される筈である

疑惑視さる山田辯護士
大內氏は語る

その行動を疑惑視されてゐる山田辯護士は昨春四月ごろ大內辯護士への有力な紹介狀を攜へて來連、奉天、新京方面へも職を求めたがおもはしくなかつたので昨年八月大內法律事務所で月給を得つゝ法律事務に從事した、然るにその事件取扱振りは大內氏の意に滿たぬ點が多々あつたので獨立開業することになり、その後一應內地に赴いたが本年一月より榮町の現事務所で開業し來つたものである、右について大內辯護士は語る

山田君は自分の恩人の紹介狀を持つて來たので及ばずながら御世話した、然しその仕事つぷりは自分が贊同し難いやうなことがあり、しつくり行かなかつたのは事實だ、自分が兒玉博士の辯護を引受けるといふのか、直接聞いたのではないが金井章次氏が自分に賴んだらといつてゐたといふことを耳にした、或はさうなるかも知れぬ（寫眞は山田辯護士）

不倫の戀結願の北室院を訪ふ
心中前の二人の行動

【高野にて長谷部特派員一日發】無軌道戀愛のヒロイン勝美夫人が遂に死を空しく憔悴の身を横へた北室院の一室を訪れた、この部屋は院內でも奥まつた**靜な一室**で右手に高野の老樹がおひかぶさるが如く窓にそひ、部屋の隅の瀬戶火鉢から白湯のたぎる音だけが僅かにあたりの靜けさを破つてゐる、今は主なき部屋ながら博士夫人として又は往年大連社交界のクインとして誇りと享樂の限りを盡した勝美夫人が餘りにも急轉した運命を呪ひながら中薗と最後の憔悴の繪卷を繰りひろげたのも此處だらう、四十餘時間高野の山露にぬれそぼちながら生死の間をさまよふた身を再び横たへたのも此處であらう、記者（長谷部特派員）は夫人なき部屋ながら當時の**苦惱の跡**が無心の小兒にまで深く嬲みこまれてゐるかの如く思はれた、北室院の役僧は情死をはかつた前の二人の樣子につき語る

二人は二十六日午後十時ごろ參りまして風呂にも入らず夕食も攝らず、この部屋で寢みましたが深更までヒソヽヽ語りあひ何か盛んに書いてゐるやうでしたが、今にして思へばその時例の遺書を認めたのではないかと思ひます、翌朝七時に起き奥の院に參拜するとて出て行き二十八日夜になつても歸らぬので心配してゐると、二十九日午前二時頃眞青な顏して歸り、そのまゝ寢みましたが、寺では不思議に思ひ夜明けを待つて醫者と警察に屆けたのです

心中の現場
墓石並ぶ老樹の蔭
花筒の水で毒をのむ

【高野にて長谷部特派員一日發】邪戀の破局を血で彩つた近來の獵奇、博士邸殺人事件の主犯中薗と狂戀の勝美夫人が愛慾遊戲の終焉の地として選んだ紀州高野奥の院を訪ふべく、記者は三十日空路福岡着、特急にて大阪に到り一日朝旅裝を解く間もなく南海電車で**一路高野**に向つて急行した、先づ彼らが泊つた北室院に辿りついたのが、午前十時、阪神秘の靈場高野山の朝風は肌につめたく清々しい、先づ北室院に來意を告げ番僧の案內で二人の最期の場所である奥の院「カクバンドウ」に辿りついた、此處は奥の院入口から蓊本道を約一町進んだ道の左側にある墓地の後方十米の小さいお堂で堂の入口には二人が最後の水を汲み乾した竹の筒が秋草の上にころがつてゐるのが一入哀れを唆る、觀音開きの扉をあけると中は二疊敷位のホノ暗い板の間だ、僅に雨露を凌ぐ位のお堂の周圍には無數の墓石が並び老樹の鬱蒼は晝なほ薄暗く蔽ひかゝつてゐる二十七日夜この靜寂のなかに**抱き合つて**死を待つた二人の當時の有樣がマザヽヽと想像される、卽ち二人はお堂附近の花筒を拔きさつてお手洗の水を汲入れお堂內で花筒の水でアダリン五十錠を飲み廿九日午前零時まで昏睡し續けてゐたが中薗より目を覺し手拭に水をしませて勝美を介抱したので附近には今なほ手拭が殘つてゐる、なほ現場には濡手拭三筋、風呂敷二枚、ハンカチ一枚、新しい雨傘、チリガミなど雜然とちらばつてゐたといはれてゐる、**廿七日朝**降り出した秋雨のなかを二人相合傘で此處まで辿りついたものと想像される

冷い家庭生活
勝美さんが屢々訴へた事柄
上野園生夫人の話

遺書が發送されて來た上野園生夫人は五年前大連に友の會が設けられた當時から勝美夫人と知り合つたもので勝美夫人は今日まで親身の姉のやうに眠んでゐた、勝美夫人が十三日うすりい丸で出發した場合も埠頭に送つてゐたほどで二年前より園生夫人は勝美夫人より**屢々**博士との冷たい家庭生活に就いて訴へられ、また博士は園生夫人の忠告に對して、今の研究が後十年經てば完成するから我慢してくれと答へてゐた、また勝美夫人の訴ふるところによれば過度な研究の結果殆ど生理的不能力者に近い程で最近數年來夫婦生活は殆どなかつたといふ、右に就いて園生夫人は語る

勝美夫人とは友の會以來五年程からのお交際で前は始終私の宅にもお出でになりましたが一昨年の秋ごろから私の宅が遠くなつた關係かあまりお見えになりませんでした、博士夫妻にお子さんもありませんし私も妹か娘のやうに思つて夫人におつき合ひしてゐましたが、二年前頃から勝美夫人は屢々博士との家庭生活の**冷さ**を訴へられたのです、こんなことをいふのは何ですが始終顯微鏡を覗いて眼を使はれる博士は殆ど夫婦の生活もなさらなかつたやうにいつてをられました博士にほかに女があるといふやうな話が傳へられてゐますが夫人はその當時からそれは否定してゐられました、私どもは鬼に角かうした不幸をなくするには博士の家庭生活を溫かくするに限ると思ひまして色々申上げてみましたが博士は當時から「もう十年經てば今の研究が成功するからそして醫學博士の學位をとるのだから待つてくれ」といつてをられました、その後一昨年秋頃からピアノ教師の御嬶さんとは益々親しくなつて御嬶さんは博士邸に**泊り**込んだりして勝美夫人を遊びに連れ歩いてゐたやうです私共も御嬶さんとは餘り深入りなさらないやうに幾度か御忠告申し上げました私どもは前から博士夫妻に早くお子さんがお出來になればよいと思つてゐましたところ本年二月末勝美夫人からこの頃身體に變調があるといはれそれはきつとお芽出たよと喜んでゐたのです、その後暫くお會ひせず本年六月常盤橋で偶然會つた時勝美夫人のお腹の大きいのを知つたのでお芽出たうと申上げたところ夫人は否定なさいました、十三日親戚に不幸があるといつて夫人は內地にお立ちになりました時**私も**送つてゆきましたがその時中薗といふ人らしい男が船の中を歩いてゐるのを見ました、さういへば夫人が大連醫院に入院してゐらつしやる時病院で二、三度その人に會ひましたが紹介していたゞきませんから知りませんでした、然し勝美夫人は私どもから見れば眞面目な純情の方で今度この事件が解決して夫人の寄りつくところもなければお世話申し上げやうと主人とも話し合つてゐた程です

の酒器はたくさんあつたのだがその內この爵は最も著名なものである、古傳によると雀と同事で雀の形も取つたもので考古學上より見ると角の盃から導きかけたものでこれに三脚がついたものである、夏殷の時代は宗廟に祀る所の禮樂の器となつて甚だ重器とされてゐたもので周時代は諸大名が天子に謁見した時爵を賜はると非常な光榮で御盃を頂戴する意味となり、何々國の大名に奉ぜられた證據となつてゐたものだ、古い文獻によると角或は木によつて作られてあり、今日我國に於て使用されてゐる公、侯、伯、子、男の爵位も周時代によつたものである、大きさは中味約一升と規定されてあり二升、三升のものもある

が僞物とされてゐる、つまり現在ではその當時の一升は一合に當るものである事が發見されたかくの如く周の武王殷に勝ちて庚叔を衛に封ずるや鋪を分ち魯の桓公は大鼎を大廟に納めた虢公には爵位を與へてゐる（寫眞は爵）

サイドカー衝突
一名卽死、二名傷つく

市內但馬町十六番地松下ナツ方に下宿して瓦房店機關區より鐵道教習所に入所中の田中武二（二五）は、豫て自動車練習所で顏見知りの市內聖德街四丁目中村久吉の長女、滿鐵總務課文書係勤務タイピスト久代（二一）並びに次男照夫（一三）の兩人を誘つて一日午前十時半サイドカーを運轉龍王塘にドライヴし、記念撮影などをなし樂しく遊んで午後零時半頃歸途につき黑石礁近くの白波橋に差しかゝつた際カーブを切り損なつて直徑三寸のアカシヤに衝突し、勢ひ餘つてアカシヤを折つて二十尺の橋下に轉落、久代は欄干に衝突頭部を粉碎して卽死し、田中と照夫の兩人は橋下にサイドカーと共に落ち田中は瀕死の重傷を受け、照夫は幸ひにも擦過傷で人事不省に陷つてゐるのを通りがゝりの滿洲人が發見、直に星ヶ浦派出所に急報したので沙河口署より係員が現場に急行し同病院に收容、應急手當の上負傷者は大連醫院に移したが、田中は生命危篤である

變な家宅侵入眞相

博士邸殺人事件發覺以來、沙河口署には有閑マダムの桃色行狀記や不良青年のいたづら等の噂が續々と舞込み搜査に疲れた署員の苦笑を買つてゐるが、中に一つ非常に氣の毒な話がある、聖德街居住の滿鐵々道部中居氏（假名）は去る三月以來奥地に出張中であつたが最近歸連し、圖らずも妻たか子（假名）より中居氏が留守中、原籍石川縣金澤市現在聖德街一五ノ九居住民政署勤務柿本二郎（三二）が夜中無斷で忍び込み、熟睡してゐるたか子に怪しげな振舞ひに及ばんとしたため極力抵抗し、大聲をあげたので目的を果さず逃走した由を聞き、更に最近たか子が健康を害してゐるので或は當夜の柿本の行爲のためではあるまいかと心配し、兒玉夫人の問題がやかましく論じられる折柄前記事實が表沙汰になることをおそれて、夫妻打ちつれ二十五日夜沙河口署に到り事情を述べたので、他に桃色の蔭に潜む盜難事件もあり、沙河口署では三十日夜柿本を一應本署に連行取調べるところがあつたが、同家では妻女の病氣が姙娠云々と誇張されとんだ迷惑を受けてゐる

南坟北方に匪賊襲來
人質三名を拉致

【奉天電話】三十日午前十時頃安奉線南坟驛北方五支里の金坑部落に頭目不詳の匪賊約二十名來襲し同地自警團と交戰し自警團側負傷者二名を出し人質三名を拉致された、急報により守備隊から〇〇名、公安隊から〇〇名これが討伐に出動した

明大勝つ 13—5
對帝大三回戰

【東京一日發國通】明帝三回戰は一日午後零時五分から神宮球場で藤田、森、齋藤、本鄕四氏審判の下に明治の先攻にて開始十三對五で明治勝つ、閉戰二時八分

バッテリー、明大八十川、迫畑　帝大、梶原、古南

明大 260 103 100＝13
帝大 001 010 021＝5

蘇聯探檢氣球
新記錄を作る

【モスクワ三十日發國通】三十日午前八時四十一分上昇を開始したソウエート成層圏探檢氣球SSSL號は午後零時十三分に一萬八千四百米の高度に達し一九三二年八月ベルギーのピカール教授が作つた一萬六千二百米の記錄を二千米以上も破り同零時五十分下降を開始した

●電氣協會の見學●　滿洲電氣協會では十月三日（火）午後一時より滿鐵中央試驗所、沙河口研究所、大西山貯水池の見學をなす事になつた、申込は十月一日迄に同會事務所へ、往復はバスの用意あると

早川巳之利氏

滿洲公論社長として多年我言論界に活躍した早川巳之利氏は約三年前から病氣のため隱退療養に努めてゐたが一日午後一時三十五分遂に逝去した、享年四十、葬儀は三日午後四時本願寺で執行すると

安樂椅子

多倫特務機關の今岡特務曹長が二十九日夜半、奉天より歸來して重要書類入りのトランクを赤帽に託したところ何時の間にか赤帽が行方不明となり、いくら探しても判らず、警察でも嚴重搜査を開始するといつた工合で大騷ぎになつた……◇……ところが大馬路の大同旅館からヒョッコリ警察に持參したので調べてみると何の事はない、例の赤帽は早呑み込みで大同旅館の客引に渡し、客引はまた今岡特務曹長が宿るものと早合點して一足先に宿に歸つたのだつた（錦州）

謹告
（九月中就職決定者）

英邦文タイプライター科卒　森脇　梅野
滿鐵本社總務部文書課採用
英邦文タイプライター科卒　立川　久美
大連稅關附採用
英邦文タイプライター科卒　龍山　敏子
赤峰日本帝國領事館附採用
英邦文タイプ及邦文速記科卒　松井　愛子
大連稅關附タイピストに採用
英邦文タイプライター科卒　澤　文子
日滿電信電話會社文書課附採用
同　科　卒　茶木　笑子
滿洲國吉會線鐵路局附採用
同　科　卒　刀根　はつよ
大連稅關附採用
同　科　卒　高木　ふじゑ
日滿電信電話會社附採用
英文タイプライター科卒　本田　貞子
インターナショナル・トレーヂング　コンパニー附採用
英邦文タイプライター科卒　加藤　須美子
大連稅關附採用
同　科　卒　荒川　百笑
國際運輸會社齊々哈爾支社附採用
同　科　卒　石丸　きく
大連稅關附採用
同　科　卒　澤　文子
日滿電信電話會社文書課附採用
同　科　卒　高木　ふじゑ
日滿電信電話會社文書課採用

右同窓會諸君に謹告仕候間書面の往復は各部署宛被成下度候

昭和八年十月二日
大連市西廣場　英學會　電四三〇八

弊社出版ジャパンマンチユコー年鑑廣告及購讀に關しては滿洲國に代表者派遣不致候若し弊社員と稱して訪問する者あり共弊社と關係無之爲念右公告致置候

昭和八年九月二十六日
東京市麴町區內山下町　東洋ビル五〇八
ジャパン　マンチユコー年鑑社

滿日各地版

小學校教員と ダンサーの爛れた戀 女の夫から說諭願

【奉天】なすな戀、踊るなダンス 奉天にもダンス故にもたらした悲しき情痴の沙汰がある、男は元奉天某小學校教員池田初市(二五)女は某ダンスホールのダンサー井上豐子(二三)=假名=である、池田は去る九月七日それが起因して自らその

職を辭し て浪速通りの某カフエーの帳場として働く身となつた、豐子はダンサーを止め男と同じカフエーに女給として働く事となつた、然るに三十日その女の夫である今村晴男(現在ハルピン居住)より奉天領事館警察へ妻の亂行に對する說諭願より戀の破綻は訪れて醜き情痴の沙汰を暴露した、卽ち女には二人の女兒あるが夫が二、三ケ月前よりハルピンへ赴いた不在中に市內某ダンスホールに働く事になり、愛兒はその前に故鄕の夫の母の許へ返し再び來奉して働く中、知り合つたのが池田である、而して池田の同情で彼女は更生への道へでも出たかの如く子供あり、夫あり、そして

義母ある 身を忘れて彼女は美貌の池田へと走つたのだつた 彼女の夫はハルピンにてこの由を聞き興奮する氣持を抑へてたゞ母を、そして二人仲に出來た子の爲にさうした妻の不行跡を許して子供の許へ歸るべく三十日奉天領事館警察へ妻の說諭願を出した譯だが、たゞれ切つた二人の戀は死んでも離れじとしてゐるといふ

市民講演會が午前十時より正午迄行はれ午後一時より三時迄教育館七時より八時迄體育場にて幻燈講演宣傳其の他諸種の催し物をなして秋晴れの一日を盛大有意義に濟ました尙滿洲國各官廳は廿八九の兩日を休暇として此の日を記念した

航空廠の代用 官舍上棟式

【奉天】關東軍野戰航空廠代用官舍二百戶及その他新築工事上棟祭が現地において三十日午後四時三十分關係者及び多數知名士參列の上盛大に擧行された

吉海線へ慰安列車

【奉天】道路總局では沿線各地の住民を慰安のため瀋海奉山、敦圖吉敦の各線に亘り順次慰安列車を運轉してゐるが三十日、一日附吉海線の磐石驛まで訪問し終了後は吉長、呼海兩線を訪問一先づ今年度の慰問列車を解體するが來春は洮昂齊克四洮の各線に亘つて行ふ筈である

墜落機捜査打切 凡ゆる努力も水泡に歸す
十月三日、旅順水交社で 葬儀執行さる

【旅順】九月十五日午前八時過ぎ旅順港外柏嵐子沖にて遭難墜落した特務艦能登呂搭載偵察機搜索發見に就ては事故勃發と共に能登呂を始め關東州水產組合旅順支部所屬トロール船其他に依り極力搜査に努めてゐたが、遂に發見するに至らず搭乘の今井大尉、功刀三等航空兵曹も殉職と認定され、本三日を以て今は悲しくも旅順水交社にて葬儀を執行する事となつた

殉職者略歷

今井今吉大尉 性來豪膽機敏スポーツは大尉の最も愛好得意とする處で柔道は二段、水泳は本艦の選手であり野球、庭球の如きは立派な技倆を有してゐる、原籍は新潟縣古志郡栃尾町甲九九にて留守宅には兩親の他實兄二、妹さんが一名ある、昭和二年三月兵學校卒業少尉候補生として軍艦磐手に乘組同年十二月衣笠、翌年三月霞ケ浦航空隊にて講習を受け十月少尉に任官され、昭和四年軍艦陸奧同年十一月第十五驅逐隊、昭和五年の特別海軍大演習に參加十二月中尉に進級館山航空隊へ轉補、七年神威に乘艦、能登呂へは本年の一月この間砲術、水雷學校に學び前途有爲の青年將校で氏が昭和六年十二月から遭難の日迄の航空時間を通算すると實に八百時間を示してゐる

功刀兵曹 性溫厚、綿密で研究心に富み非常な讀書家、柔道一級、山梨縣中巨摩郡花輪村西花輪一二二で鄕里には兩親の外實兄一名あり、昭和五年橫須賀海兵團へ機關兵として入營、同年十月軍艦靑葉、翌六年霞ケ浦航空隊、十二月二等機關兵、七年三月二等航空兵として館山航空隊、同年十一月一等航空兵に進級、本年一月能登呂乘組を命ぜられた、今回の遭難迄の航空時間は實に六百時間を有してゐる

能登呂艦長 桑原大佐談

遭難以來各方面殊に當地水產會には全く感謝に堪へない本艦もあれ以來今日迄あらゆる方法を講じ搜查しつゝあるが未だ發見出來ないのは甚だ遺憾である、フロートの如きは機體より二倍の浮揚力を以てゐるから普通であれば今日迄の搜査で多少の効果はある筈であると想はれるが、若し岩と岩の間に海中深く突入してゐるとすれば、一寸困難であらう、今井大尉、功刀兵曹も八百乃至六百時間の航空記錄を有する者は現在として中堅處の者で實に幾念に堪へない、這般行はれた海軍大演習にも參加し猛烈果敢實に貴重な體驗を得た丈に殊更遺憾の點が多い、今日の航空は絕對に墜落の如き點は懸念されないと云ふ時代で、但し演習中における危險のみが殘されてゐるので今回の遭難も他の場合であつたら又あきらめもつくが、本人は勿論自分としても諦められない遺族の方々へも心中切に御察しする遠方から態々來られるので御氣の毒に思つてゐるが兎に角今迄起居を共にしてゐた戰友並にその土地で葬儀を行はれる事は殉職者の靈を慰むる最上の途であると思ふ

吉林の孔子祭

【吉林】二十八日の孔子秋祭に對する當地の催し物は孔子廟に於て盛大なる仲秋上丁祭が擧行されたが此の日民衆教育館主催協和會市政籌備處其の他各機關合同の孔子

兵器廠員の目ざましい活躍
廠長鈴木大佐語る

【奉天】第一線に立つ皇軍銃後のため滿洲事變來武器彈藥の補給に修理一切を引受けて最前線の各部隊の活動に少しの支障も來さなかつた努力の結晶である關東軍〇〇兵器廠の活躍は眞に涙ぐましいものがある、二十九日兵器廠第一期新築工事の落成式を盛大に擧行した後で廠長鈴木大佐は語る

緣の下の力もちといふ言葉が實社會にあるならば我々の職務である第一線の將兵が後顧の憂ひなく思ふ存分の働きが出來るのは兵器廠員の獻身的な努力の賜である、日曜、祭日においても僕は廠員を休めてやらうと心に思ふてゐるが部下は「廠長第一線の將兵が一生懸命で戰つてゐるのです、私どもは休みがあつてはならないのです」と一日として休暇をせないといふ有樣で事變來廠員は全力をあげ武器彈藥の補給に當つて來たのである今後は日本軍及滿洲國軍の國防のために銃後の人として大いに働くといふ決心であるが、馬賊の討伐などは問題でない、吾等國民として且つ軍人として最も愼重に世界の大勢を熱視し國防上の缺陷あらしめてはならないのである、熱河の聖戰、東邊道から北滿の各部の轉戰に非常に役立つた自動車隊の如き自動車の活動も目ざましいそれらの修理から製作についても第一線の部隊が安心して戰鬪のできるやう計畫を立て、置かればならぬ、幸ひ廠員一同は異身同體で晝夜兼行で働いてゐる

炭都に舞踊場 近く出現の運び
保安係の粹な裁きに モガ、モボ連大喜び

【撫順】一昨年ダンス教習所が現れ、ささやかなホールにメロデーとステップを躍らせ山の手の有閑マダムや街のモボ、モガ連を嬉しがらせてゐたが、街のロートル達から抗議が出た上このホールをめぐつて權利爭ひが捲き起り何時かこのホールは閉鎖されてしまつたロートル連の安堵に引替へモガ、モボたちは憂鬱になつた、そこころへ突如この街に本格的な大ダンスホールが出現することになつた經營者は現在奉天でダンス教習所を開いてゐる白石龍二といふ人、資本金一萬圓で撫順目抜きの千金大街に建坪百坪の大ホールを建てやうといふのである、一部は從來の建物を改造するが更に大增築を加へ建築はモダンに豪華な照明が施される、ダンサーはさし當つて二十名、男舞踏手二名、樂手十名といふ陣容である この許可申請を受けた撫順署保安係ではさて許したものかどうかと過般來研究中であつたがダンスの繁榮は認める、しかし時代の潮には勝てないといふことに意見が一致し近く正式に認可を下すことになつた、撫順の街に再びジャズとステップの物狂はしい交錯が惱ましく行人の胸をかきむしることだらう。

城大軍再び敗る
對滿洲醫大柔道試合

【奉天】過日奉天で擧行された醫大對京城帝大の競技大會で敗れた城大柔道部選手は雪辱のため三十日來奉、同日午後三時から健武館において醫大と柔道試合を擧行し火花の出る大接戰を續け更に城大軍力戰したが及ばず醫大軍不戰三名を殘し城大軍再び敗れた、午後四時半閉會したその成績左の如し(〇印勝×印分け)

醫大軍	城大軍
×〇〇島	辰川
×大野	武居
×山野	×金野
×〇〇佐藤	×松村
〇阿部	×清水
菱沼	星野
〇川畑	玉田
〇山根	×羽熊
不戰 松澤	江田
同 串田	〇〇末田
同 林	〇福島

潜行運動の 鷄冠山地委戰

【鷄冠山】十月三日の投票日も目睫に迫り無風帶鷄冠山もさすがに地下運動が行はれ始めた模樣である、當地の立候補者は用意周到にも先づ心あたり運動を開始して名乘りをあげず直前に至りて疾風的に立候補を宣するものと見られ未だ豫想がつかず、滿鐵側も五名ほど立候補するらしく全部を當選さすため市中側へも地盤獲得のため猛運動を開始した

先づ豫想を述ぶれば市中側では現地委の元老株たる吉竹爲次郎氏の出馬は確實で市中の地盤と滿人一部に依り選出される見込み、次に御家繁昌旭日昇天の上田豐作氏は今年新顏として立候補し警察關係の地盤で猛運動をなしてゐる、この間に日和見の小笠原滿電氏と地方事務所及び學校、滿人一部の後援の少壯鬪士小杉輝男氏がある、滿鐵側では機關區の大御所鈴木主任、乘務員會を背景の貝包良一氏、新顏にしては地盤確實で鼻息荒く前祝をしても良い方、驛方面は木村驛長、今井助役と共同戰線を張つて保線及貨物關係の滿人方面と市中に必死の喰ひ込み運動らしく、人數の潤澤ならざる驛としては運動も自然廣範圍にわたるも止むを得ない、異彩を放つは鬪志滿々たる保安區齋藤氏の立候補で事變以來激增した保安區員の地盤を持つ氏としては今一步保線にでも昔の緣で運……好試合だらう、かくて員六名なる程度で、が各候補漸く越ゆる程度で、是非とも當選の榮を擔ふべく今や潛行運動白熱化し信望なれてゐる、滿人候補は例年の如く商務會長謝梓沈氏の出馬で當選も確實であらう

北部國境調査隊 消息漸く判明す

【滿洲里】滿洲里稅關北部國境調査隊は八月二十九日滿洲里を出發し、その後約二十日間を經過すれども何等の消息なきところ、七月二十五日蘇泌より調查隊出發以後始めての消息に接した、その通信の概略を記せば次の如し

第七日目卽ち九月六日午前十一時頃カイラスツイー部落を通過す、第九日目ボブチ部落に入らんとしたとき蘇聯監視兵現れ調查隊に云ふには

「現在國境調査隊の通つて居るところはアルグン河の支流であつて卽ち蘇聯內である、本流迄は約二十粁ばかり有る」それで一行は艀で舟を引き流れに逆行して四粁ばかり進んだが一向本流らしきものを見ず見えない筈である、ソ聯監視兵の云ふ本流とは只形あるだけで、水は流れて居らず一見誰が見ても本流とは思はれない、アルグン河の本流が蘇滿國境を分けて居る以上、この種の問題は將來國際問題として當然重大化するものではないかと思考される、かくして一行は九月十七日七卡に到着し蘇泌に始めて通信するを得た

なほ一行が航行中特に感じたことはソ聯部落の人家にはほとんど煙突の上るを見ず、滿洲國のれさの比較して非常に落寞たるもの有りと一行の航行狀態及調査完了後の收穫は時節柄各方面より非常に注目期待されて居る

念の入った自轉車泥棒

【奉天】二十九日午後一時頃浪速通四十番地小野洗布所の自轉車が八幡町圖書館前で盜難にかゝつたので心當りを捜査中、同日午後四時頃小野洗布所に一邦人が自轉車を持ち來りこの自轉車を七圓で買るから買はぬかとのことで、小野方でも餘りに安價であるので不審を抱いてゐると千代田通り二十五番地山田商店々員武藤から「自分は二十九日午後一時正隆銀行前で自轉車を盜まれたがあなたの所の自轉車が正隆銀行前に放置してあります」との電話があつて更に不審を抱き武藤を呼んで取調べて見ると八幡町圖書館前で小野洗布所の自轉車を岩手縣生れ住所不定無職小原武夫(二七)が盜み、その自轉車を正隆銀行前に持ち行き前記武藤の自轉車とさりかへ自轉車盜難にかゝつてゐる小野洗布所の持參し早速これを賣り飛ばさんとした事が判り、直に小野洗布所の店員に逮捕され本署に突き出された、目下嚴重取調中であるが彼はこの前も自轉車を竊取し奉天署の留置場にブチ込まれ二十八日「全く改心しました今後は決して惡いことはしません」と涙ながらに係官に誓つて出て行つたものでその翌日この訓戒もケロリと忘れたかの如くこの始末に及んだのである、尙取調べ終了と共に身柄は領事館警察署に送られた

奇しき緣 戰死將校の石碑 行軍中發見さる
撫順青年團再建を決意

【撫順】過般撫順に宿營した〇〇部隊が奉撫新設道路を行軍中計らずも過ぎし日露役に名譽の戰死を遂げた某工兵中佐の碑を發見し、この程同部隊より撫順青年團に宛て右の碑は奉撫道路の中間「小仁屯」部落の山頂にあり、現在石碑は二つに折れ、上部の工兵中佐の氏名は判るが、下部は土に埋もれて判然せない旨通知し來つたので撫順青年團は近く現地を視察した上でその墓碑を修理し勇士の英靈を慰むると

蘇家屯小學校運動會

【奉天】奉天、蘇家屯各小學校聯合陸上競技大會は三十日午前八時から奉天國際運動場において開催された、參加校は春日、加茂、千代田、彌生、敷島、蘇家屯の各小學校それに普通學校兒童四千餘名で絕好の運動日和に惠まれ尋常一年生から高等科生に至るまで體操會で妙技を演じてゐたが、午後はセンターボール、ハンドボール等の球技會が行はれ午後三時頃盛大裡に散會した

橫領店員自首

【奉天】惡事を働き良心の苛責に堪へず遂に奉天署に自首して出た邦人——山口市米屋町生れ住所不定無職岡本正義(二〇)は本年八月松島町十三番地の小柳印刷店に外交員として雇はれて居た所同月二十二日主人の命で滿洲國警備司令部に集金に赴き三十圓九十錢を受取りそれから城內野戰兵器廠に注文に行つた、そこで待つて居る暇に同廠入口にあるカフヱーで三圓の飮食をなし乘つて來た自轉車を附近の邦人宅に預け朝鮮料理で五圓を消費し金平に一泊して廿四日滿洲國教導隊に行き小柳の名義で領收證を作り七千餘圓を受取りそれから各所を轉々しカフエー料理店で所持金全部を消費し姿をくらまして居たが一日も安心して寢られないといふので「今後は改心致します何卒よろしく御願ひします」と奉天署に自首して出たものである

吉林の寒さ 零度となる

【吉林】當地では早くも冷風吹き亘りて松花江の河幅も急激に狹くなり二十六日夕刻より急激低下せし溫度は二十七日早朝になりて零度になり各家庭では冬物の衣類を取出すやら大騷ぎであつた

鐵嶺遼陽兩地 登記事務

【奉天】鐵嶺、遼陽兩領事館閉鎖後の一般事務は奉天總領事館に併合され登記事務のみは奉天より每月一日十五日の二回司法領事が同地に出張し登記事務を取扱つて居たが、大谷副領事の本省歸朝後手……陽鐵嶺兩地方の登記事務は一切奉天に於て取扱ふ事となつた

橫山理財課長

【安東】橫山關東廳理財課長は二日來安三日午後四時から公會堂で關係方面及び一般有志のため外國爲替管理法に關する說明講演を行ふ筈である

遼陽片々

▲鞍山守備隊上等兵太田四郎平君は遼陽衛戍病院で二十九日夜戰病死三十日午後三時半から同院で告別式が執行された▲菱刈關東長官は三十日はさて過遼北行した時局委員其の他官民の主なる向が停車場に送迎した▲地方事務所社宅係藤山貞四郎氏は大連本社總務部調查課へ三十日附榮轉の旨發表された▲滿鐵地方課主催の滿洲國人慰安映畫は三十日午後七時から小學校々庭で催された▲哈爾濱で開催の第十七回全滿商議聯合會に實業會からも代表者出席の筈であつたが種々差支があつたので今回は見合せたと▲地方委員選擧も期日切迫迄定員に滿たぬ靜かさであつたが前日になつて森岡彌次郎、西村茂、松田德次郎の三君が立候補したので逐鹿界は俄然緊張結局八名當選二名豫備員と云ふ事になつた

旅順放送

▲在朝陽赤峰衛戍病院長として該地へ赴任した矢澤一等軍醫正は去る二十一日無事着任せるを以て三十日在旅各方面へ挨拶狀を寄せて來た▲永年第一小學校訓導をしてゐた伊藤儀右衛門氏は病氣の爲め今回退職專ら靜養に努むる由▲歸旅中であつた關東軍囑託、鮮銀赤峰派遣員山川康德氏は豫定を早め三十日一番列車にて再び出發した▲二十八日午後零時五十分頃二〇三高地と赤阪山中間の西斜面中腹中から發火約二千坪にある二年生黑松一千本、五、七年生松樹一千本を燒失し部落民の消火に依り同一時半鎭火した原因は同日戰跡見學者の煙草吸殼から損害取調べ中▲柳町一九ノ一吉里眞恒氏方では十三日二男眞樹君が出生▲佐倉町三ノ四〇警務局高等課勤務吉本龜助(五〇)氏は胃癌にて入院中二十八日死亡二十九日新市街佛教會館に於て葬儀が執行された▲東鄕町椋尾靜枝(九)二十九日腸チフスと診斷▲常盤町大河內氏方油井英二(一八)同日赤痢▲伊地知町二二伊藤滋(一八)同上▲高千穗町橋本ユク(五二)三十日腸チフス

大連 JQAK 十月二日

▲午前六時 ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分 ラヂオ體操第一
▲午前十一時 相場(錢鈔、特産株式、各地相場)
▲午後零時十分 相場(錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段)ニュース
▲午後三時三十分 相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)ニュース
▲午後六時 ニュース
▲午後六時三十分 獨逸語講座「テキスト第八十三課」大連語學校講師荻桑
▲午後七時 セロ獨奏(イ)小夜樂チヤイコウスキー作品第二十五(ロ)セレナーデ(シエニール作)(ハ)秋の薔薇(ベッケル作)シピレフ、ピアノ伴奏メデウ・エデフ夫人
▲午後七時二十分 落語(東京より)「長者番付」柳家小さん
▲午後七時五十分 新日本音樂(東京より)未定
▲午後八時三十一分 職業紹介事項ニュース、氣象通報

東京 JOAK 十月二日

▲午後六時三十分產業ニュース
▲午後七時管絃樂(新交響樂團練習所より中繼)日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット(一)ハンガリア狂詩曲第二番(リスト作曲)(二)スペイン狂詩曲(シヤブリエ作曲)